

## 第7 維持管理のポイント

業務の公共的使命、社会的重要性について、運転者各自が十分認識、理解し、施設の適正管理と安全で円滑な運転を維持することに、最大限の努力をする。維持管理をするにあたり、次の事項を遵守すること。

1. 溶融炉及び前処理設備等の維持管理は、安全第一とする。
2. 統括責任者を含む業務管理者は、常に業務に従事する作業者の安全に留意するとともに、連絡、合図、確認、報告の重要性について、理解と認識が得られる教育を徹底する。
3. 作業者は、常に安全な作業に心がけ、設備、機器の目的、機能を熟知し無知な行動は厳禁とする。
4. 日常の点検整備は、別途定める保守点検リストにもとずいて、実施すること。
5. 現場での安全装置の取外しは、原則として厳禁とする。  
作業の性質上、やむを得ず取り外す場合は、責任者の立会いのもと行ない、作業終了後は、元に戻す。(作業終了後の確認は、作業責任者が確認すること)
6. 現場での定常又は非定常作業開始前には、必ずKYKを実施し、始業前点検、作業責任者の選任、安全注意事項の確認を行なう。
7. 緊急時は、別途定める対応マニュアルに沿って、迅速かつ安全に対応すること
8. 業務の引継ぎは、責任者の立会いのもと、迅速かつ正確に行なうこと。  
また、引継ぎ事項は必ず記録すること。

## 維持管理員の業務範囲

1) 業務範囲は、以下の業務場所での業務に適用する。

業務場所(所在地): 香川県香川郡直島町三菱マテリアル(株)直島製錬所内  
香川県直島環境センター

2) 業務範囲は、廃棄物の計量からスラグヤードへの貯留及び飛灰の搬出までとし、次のとおりとする。

なお、業務遂行にあたっての費用分担は、別途定めるものとする。

- (1) 廃棄物の計量、監視、車両管制・指導業務
- (2) プラットホームでの廃棄物の受入業務(ストックヤードより大型廃棄物破砕機への投入作業含む)
- (3) 溶融施設の運転及び保守点検業務
- (4) 飛灰、鉄、不適物の搬出車両への積載業務及び必要に応じて、スラグ搬出時の監視業務
- (5) 分析業務
- (6) 消耗品、予備品、薬剤、燃料等の在庫管理業務  
(資材の発注業務は除く)
- (7) プラント施設内の清掃業務(見学者通路等は除く)
- (8) 門扉及び玄関等の施錠及び開錠

3) 上記業務を遂行するにあたっての、次の業務も含む。

- (1) 月間作業計画の提出
- (2) 保守点検(整備については、別途協議の上決定する)
- (3) 小修理、造作等(日常の点検・整備で発見した不良箇所や故障発生箇所に対する修理、造作とする)
- (5) 連絡調整(定期的ミーティング)
- (6) 業務報告
- (7) その他別途協議の上、決定した業務

## 具体的業務内容例

本業務に係る機器および装置について共通する作業は、次のとおりとする。

### (1) 日常点検作業

- ・異常音、振動の有無と各部温度の確認
- ・冷却水、潤滑油、作動油等の量、温度、汚れ等の確認
- ・機器及び配管・弁各部の油、水、蒸気、ガス、空気、その他の漏洩の有無の確認
- ・Vベルト、チェーン、コンベア類の磨耗、張りの確認
- ・破碎機等の消耗部品の確認
- ・異物の除去、処理
- ・各計器の確認と表示ランプの点灯の確認
- ・ボルトの不良、ゆるみ、又は各部変形の有無の確認
- ・始業点検と運転終了時の清掃
- ・運転に係る油類、薬品類及びその他の消耗品の充填及び在庫確認
- ・各箇所へのドレン抜き状況及びスチームトラップの作動状況の確認
- ・チャート紙、印字インク及びインクリボン等の有無の確認
- ・腐食及びスケールの有無の確認
- ・ボイラーについては、点検要領書にもとづく点検
- ・その他の点検、日報等による点検

### (2) 機器等の整備作業

- ・駆動部、減速機、摺動部、油槽、軸受及びその他必要箇所の注油。  
また、必要に応じて油脂類(作業油を含む)の交換。
- ・軽微な腐食部の錆落とし、塗装及びスケールの除去。
- ・機器及び配管(弁、フランジ等を含む)の油、水、蒸気、ガス、空気及びその他漏洩箇所の増締を行なうとともに、必要に応じてパッキン、シール部類、ボルト及びその他消耗品の確認。
- ・駆動部(ベルト、チェーン)の調整及び交換。
- ・各機器冷却水量の調整
- ・必要箇所のドレン抜き
- ・グリスニップル類、不良ボルト、ナット類の交換。
- ・圧力計、液面計、温度計、各計器類の整備と交換

- ・噴霧ノズル、フィルター、ストレーナ類の清掃交換。
- ・軽微な変形修正とボルト、ナット類の増締。
- ・チャート紙、インクリボン、ランプ類の交換及びインクの補充。
- ・その他軽微な清掃

- (3) 機器、装置、現場盤及び装置廻り床、各水槽、排水溝等の清掃。
- (4) 定期及び故障時における負荷の切り替え作業。
- (5) 停止期間中の日常点検整備、清掃及び保安装置の確認試験作業。
- (6) 異常時における適正な処置。
- (7) その他、施設運転のために必要な作業。
- (8) 業務の遂行に必要な図書類の作成と報告業務。
  - ・作業予定表
  - ・運転記録
  - ・その他協議の上、決定した図書類

## 維持管理体制の確立

当施設の請負者が実施する維持管理体制は、次のとおりとする。

統括責任者のもと、有資格者を含み、常駐配置人員35名をもって、業務を遂行する。

### 1) 運転維持管理体制

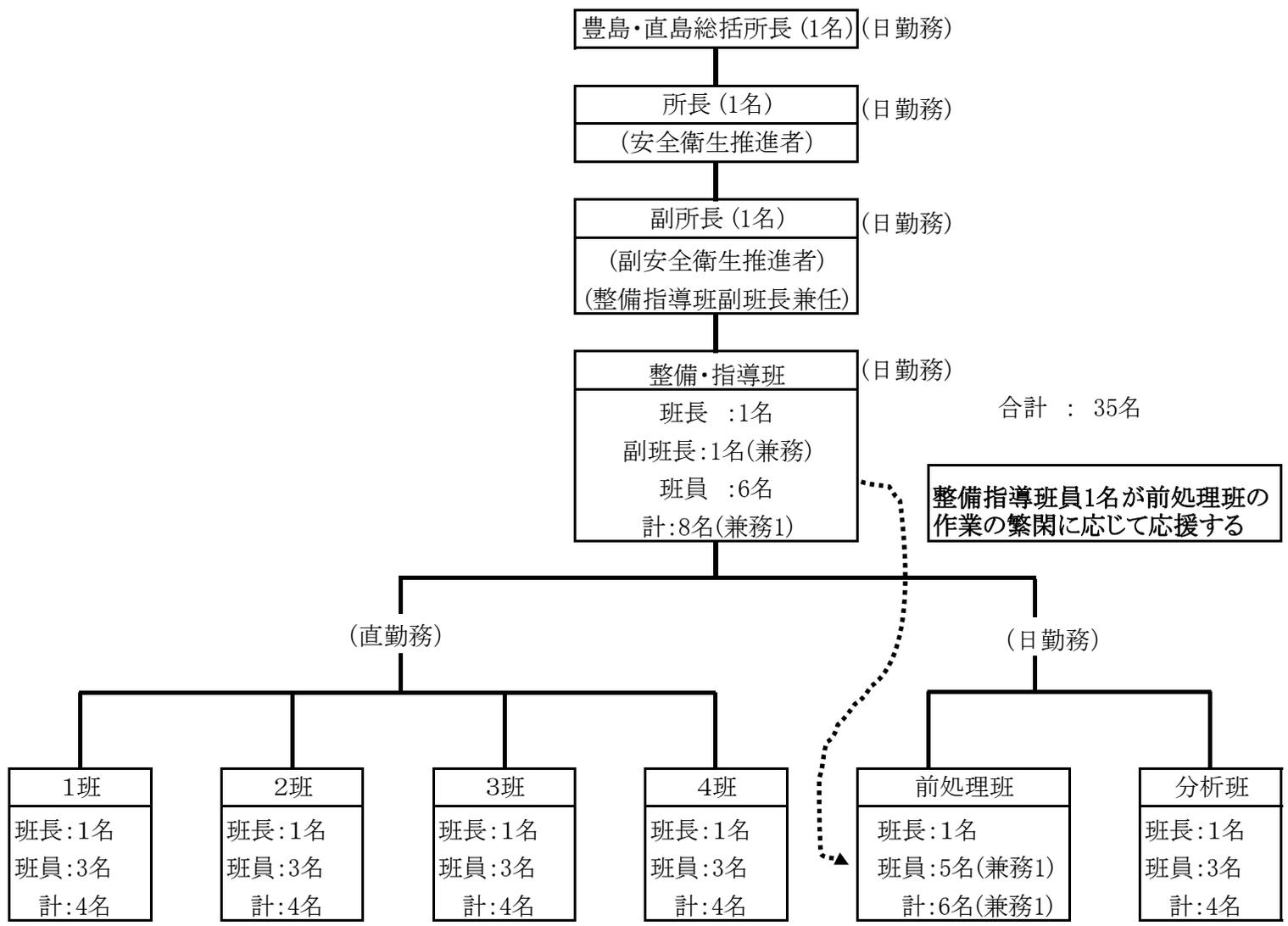
体制は、

- (1) 統括責任者
- (2) 副統括責任者
- (3) 班長
- (4) 班員(技術員、作業員)

で構成し、詳細の運転維持管理体制は、別紙-1による。

2) 人員の職種、職務は、別途協議の上、決定する。

3) 有資格者の配置についても、別途協議の上、決定する。





## 特別注意事項

維持管理上の特別注意事項とは、通常の維持管理の注意事項を逸脱し、かつ、人体に大きく影響を与える可能性のある次項で別紙1に示すような事態及び具体例を指す。

上記の事態が発生した場合は、「異常時・緊急時対応マニュアル」に基づき、連絡対応を行うこと。

## 別紙－１ 非定常作業と安全管理

非 定 常 作 業			非 定 常 作 業		
作業内容	どんな危険が潜んでいるか	私たちはこうする	作業内容	どんな危険が潜んでいるか	私たちはこうする
塔槽類の内部点検 レベルスイッチの確認 内部の清掃 詰まり除去	酸欠 有毒ガスの吸引 槽内への転落、墜落	作業主任者の任命 酸素、CO、硫化水素他濃度計の使用 一人作業の厳禁 連絡合図の徹底（中央と現場） トランシーブなど通信機器の携帯 開口部の養生（ガードの設置） 安全保護具の使用 （ヘルメット、防塵・防毒マスク、手袋、 ゴータグ、安全带） 昇降設備の確保 作業終了後のマホール閉の確認 警告ラベルの確認	コンベヤ、供給装置など 回転機器の内部点検 ・清掃	ガスの吸引 巻き込み、挟まれ	作業責任者の任命 一人作業の厳禁 連絡合図の徹底（中央と現場） トランシーブなど通信機器の携帯 主電源のOFF（ブレーカOFF） 現場盤での操作場所の切替え （COSで現場選択） 回転機器への手、器具の挿入厳禁 安全保護具の使用 （ヘルメット、防塵・防毒マスク、手袋、 ゴータグ、安全带） 警告ラベルの確認
高所機器・計器の点検 及び検針	転落、墜落 巻き込み、挟まれ	作業責任者の任命 一人作業の厳禁 連絡合図の徹底（中央と現場） トランシーブなど通信機器の携帯 安全保護具の使用 （ヘルメット、安全带） 昇降設備の確保（脚立の使用厳禁） 警告ラベルの確認	ごみ・灰などクレーンの ワイヤ、バケット交換	誤操作による作業員との接触 高所からの墜落、転落	有資格者による運転、作業の実施 一人作業の厳禁 連絡合図の徹底 （クレーン運転手との連絡合図） トランシーブなど通信機器の携帯 周囲の安全確認 立入禁止の措置 安全保護具の使用 （ヘルメット、防塵・防毒マスク、手袋、 ゴータグ、安全带） 警告ラベルの確認
検電チェック	感電	作業責任者の任命 連絡合図の徹底（中央と現場） トランシーブなど通信機器の携帯 安全保護具の使用 （ヘルメット、手袋） 対象外の端子カバーの取外し 結線図での事前確認 検電後の端子カバーの取付け 警告ラベルの確認	炉内の点検、清掃	ガスの吸引 転落、墜落 落下物による被災 搬出物による被災 つまずき、転倒	作業責任者の任命 酸素、CO、硫化水素他濃度計の使用 一人作業の厳禁 連絡合図の徹底（中央と現場） トランシーブなど通信機器の携帯 使用機器、器具の適正使用の確認 エアラインマスクなど清浄空気の供給装置の確保 エアシャワーの使用 主電源のOFF（ブレーカOFF） 現場盤での操作場所の切替え （COSで現場選択） 安全保護具の使用 （ヘルメット、防塵・防毒マスク、手袋、 ゴータグ、安全带、タイベックス） 関係者以外の立入禁止措置 昇降設備の設置 照明設備の確保 手元、足元、頭上注意の徹底 警告ラベルの確認

## 安全(全般)及び機器の取り扱いの注意点

維持管理者や作業等が作業環境の安全性を維持するための留意事項であり、別途運転解説書 2-2「安全(全般)及び機器の取り扱い注意事項」に準じますので、熟読の上実施すること。

設備名	受入供給設備	
装置名	トラックスケール	1 / 2

整備・点検リスト	1 / 2
----------	-------

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
1	機構部	1	◎	積載台：異物を取り除き台上を清掃		○										積載台とピットとの間に異物をはさんでいないか
		2	◎	振れ止め装置：振れ止めボルトを調整				○								振れ止めにゆるみがないか
		3	◎	各部のボルト：スパナにてボルト固定								○				ガーター・横桁等を固定しているボルトにゆるみがないか
		4	◎	発錆：錆を落とし、部分補修塗装				○								機構部に錆が発生していないか
2	DI-750	1	○	各操作：操作要領書に基づき動作検査		○										テンキー操作により正しく動作しているか
		2	○	表示器：操作時に点検		○										総ての表示器が正常に点灯しているか
		3	◎	盤内：きれいなウエースにて清掃								○				ほこり、ごみがたまっていないか
3	操作ポスト	1	◎	外観：錆を落とし、部分補修塗装				○								発錆、塗装のはがれはないか
		2	◎	内部：部品の固定、コネクタの接続				○								各部品、コネクタのゆるみはないか
		3	○	磁気カード：データ確認		○										磁気カードデータと結果があっているか
4	信号灯	1	◎	外観：錆を落とし、部分補修塗装				○								発錆、塗装のはがれはないか
		2	○	表示：操作時に点検		○										正常に点灯しているか
5	データ処理装置	1	◎	パソコン本体：付属のクリーニングディスク使用				○								フロッピーディスクユニットのクリーニング
		2	○	プリンター：打ち出された用紙（集計表）を確認する				○								プリントの写りが薄くなっていないか

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	受入供給設備	
装置名	トラックスケール	2 / 2

整備・点検リスト	2 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準		
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年	
6	伝票発行プリンタ	1	◎	印字テープ：朝一番に準備		○									一日分の計量枚数があるか
		2	○	印字写り：打ち出された用紙（計量票等）を確認する		○									印字テープにプリントした際、写りが薄くなっていないか
7	磁気カードリーダー/ライター	1	○	磁気カード：データ確認		○									磁気カードデータと結果があっているか

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	受入供給設備	
装置名	受入ピット投入扉	1 / 2

整備・点検リスト	1 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
1	投入扉	1	◎	シールゴム、ゴムシールが破損していないか		○							◎			破れたり、ヘタリがひどい時		
		2	◎	各ボルト・ナット類の緩み、欠落がないか		○							◎			緩みがある時		
		3	○	作動に対して異常（異音・キズ）がないか			○										初期の音に比べて大きい異音をする時	
		4	○	可動部にゴミの溜まりがないか		○											ゴミが溜まっている時除去	
		5																
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	受入供給設備	
装置名	受入ピット投入扉	2 / 2

整備・点検リスト	2 / 2
----------	-------

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
2	モートルシリンダ  型式：DGN2T-5J 台数：4台	1	○	作動時に異音（音、振動）がないか		○										初期の安定状態より大きくないこと	
		2	○	各部のボルトビス類にゆるみはないか		○											ゆるみ発生の場合増し締めのこと
		3	○	停止位置に変化はないか（リミットスイッチのセット位置の狂いはないか）		○											セットボルトに緩みがある時増し締めのこと
		4	○	電流値は正常かどうか		○											銘板記載の電流値以内のこと
		5	○	ストローク部に振れが発生していないか		○											振れ発生の場合、部品破損の可能性有り
		6	○	電気品絶縁抵抗が1MΩ以上あるか				○									1MΩ以上のこと
		7	○	ジャバラに破損は無いかどうか				○									破損の場合早めに交換のこと
		8	○	ピストンロッドに横荷重がかかって無いかどうか				○									キズ曲りがある場合、芯出し調整のこと
		9	○	ピストンロッドにキズ曲りが無いかどうか				○									ピストンロッド修正又は交換のこと
		10	◎	ネジ軸の潤滑状態													取説及び潤滑油リストを参照のこと
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	受入供給設備	
装置名	投入クレーン	1 / 3

整備・点検リスト	1 / 3
----------	-------

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル									点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
1	走行レール関係	1	○	走行範囲内の障害物の確認		○												
		2	○	レールの曲がり、変形の有無				○										スパン±4mm
		3	○	ストッパの変形、取付ボルトの緩みの有無				○										
		4	○	レールの異常摩耗、傷、損傷の有無				○										
2	ワイヤロープ関係	1	○	素線の断線、キンクの有無		○												1よりの間の素線の断線数10%
		2	○	吊り上げ可動範囲内の障害物の有無		○												
		3	○	ロープエンドの異常の有無				○										
		4	○	グリースの塗布の確認				○										
		5	○	著しい形くずれ、腐食の有無				○										
		6	○	摩耗状況				○										
3	ガード及び、サドル関係	1	○	ガードとサドルの取付ボルトの緩みの確認						○								
		2	○	ギヤ歯車及び車輪の給油状況の良否				○										
		3	○	走行車輪の踏み面、フランジの異常摩耗、傷の有無						○								
		4	○	サドルバッファの固定状況						○								

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	受入供給設備	
装置名	投入クレーン	2 / 3

整備・点検リスト	2 / 3
----------	-------

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル									点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
		5	○	走行電動機、減速機取付ボルトの緩みの有無							○						
		6	○	構造部材の亀裂、損傷								○					
4	巻上機械装置関係	1	○	カップリングの亀裂、損傷、軸芯の通りの確認								○					
		2	○	ブレーキライニングの摩耗、表面の傷の有無								○					厚さが3mmまで又は、原寸厚さの70%まで
		3	○	ブレーキディスクの異常摩耗、損傷の有無								○					原寸の10%
		4	○	減速機の油漏れ、油の汚れ								○					
		5	○	減速機の発熱、異音								○					
		6	○	巻上ドラム溶接部の亀裂								○					
		7	○	巻上ドラム溝部の摩耗								○					
5	油圧バケット関係	1	◎	各軸受部グリスニップル清掃後給脂		○											
		2	○	異常音の有無		○											
		3	○	作動油量の確認		○											
		4	○	吊り具の変形の有無		○											
		5	○	ケーブルの損傷の有無		○											

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	受入供給設備	
装置名	投入クレーン	3 / 3

整備・点検リスト	3 / 3
----------	-------

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル									点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
		6	○	フレーム、シェルの変形、亀裂の有無							○						
		7	○	油圧ホース、継手類の亀裂							○						
		8	○	シリンダーの油漏れ							○						
		9	○	ボルトの緩み				○									
		10	○	爪の変形				○									
6	操作関係	1	○	コントローラの動作確認		○											
		2	○	各ブレーキ、リミットスイッチ類の動作確認		○											
7	電動機、電気品、その他	1	○	電動機軸受のグリースの状態								○					
		2	○	配電盤類の確認								○					接点の摩耗状況 締め付けネジの緩み
		3	○	警報装置、照明装置の確認								○					
		4	○	絶縁状態の確認								○					1 MΩ以上

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	受入供給設備	
装置名	第1活性炭脱臭装置	1/2

整備・点検リスト	1/2
----------	-----

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル										点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準		
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年			
	第1活性炭脱臭装置	1	○	活性炭部の差圧測定 (U字管マノメータ読み)			○									初期測定値±0.15kPaにて正常
		2	○	活性炭部のドレンアウト				○								—
		3	○	脱臭装置入口・出口臭気確認				○								装置出口にて臭気がする場合
	チェーンブロック 横行トロリ	4	○	外観				○				○				
		5	○	サイドブレーキの開き				○				○				
		6	○	ステーボルトの緩み				○				○				
		7	○	横行ホイール、ハンドホイール、ハンドチェーンの磨耗				○				○				
		8	○	横行ホイールのギヤ・ピニオンの磨耗				○				○				
		9	○	横行ホイールのギヤ・ピニオンのグリース				○				○				
		10	○	異常音				○				○				
	電気チェーンブロック	11	○	外観、銘板				○				○				
		12	○	押ボタンスイッチの表示、作動テスト				○				○				
		13	○	リミットスイッチの作動、作動後の確認				○				○				
		14	○	リミットスイッチ作動後の余裕距離				○				○				

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	受入供給設備	
装置名	第1活性炭脱臭装置	2/2

整備・点検リスト	2/2
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	電気チェーンブロック	1	○	ブレーキの作動				○				○					
		2	○	ロードチェーンの錆、磨耗、伸び、両端干渉ばねの変形				○				○					
		3	◎	ロードチェーンの給油				○				○					
		4	○	ロードチェーン末端のストップホルダの緩み				○				○					
		5	○	フックの開き、動き				○				○					
		6	○	フックナットの緩み				○				○					
		7	○	フックの容量表示				○				○					
		8	○	フックとチェーンの結合ピンの磨耗				○				○					
		9	○	アイドルシーブの動き				○				○					
		10	○	チェーンバケットの損傷				○				○					
		11	◎	減速機の潤滑油補充または交換								○					
		12	○	集電装置				○				○					
		13	○	絶縁抵抗、アース								○					
		14	○	定格荷重試験								○					

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	受入供給設備	
装置名	第1脱臭用送風機	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル									点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
1	第1脱臭用送風機	1	○	送風機本体・モーター・軸受けの異常音、異常振動		○											異常音、異常振動なきこと	
		2	○	送風機本体各部ボルトの緩み				○										ボルトの緩みなきこと
		3	◎	羽根車の付着、摩耗、腐食							○							羽根車の付着、摩耗、腐食なきこと
		4	○	軸受けの温度		○												異常発熱なきこと
		5	○	軸受け潤滑油脂の漏れ		○												潤滑油脂の漏れなきこと
		6	○	軸受け潤滑油脂量		○												潤滑油脂の量が適切であること
		7	○	軸受け及びモーターのセットボルト緩み				○										ボルト締付に緩みなきこと
		8	○	軸封部パッキンの締付け							○							パッキン締付に異常なきこと
		9	○	軸封摺動部の摩耗							○							摺動部に異常な摩耗なきこと
		10	○	カップリングボルトナットの緩み							○							ボルトナット締付に緩みなきこと
		11	◎	カップリングゴムブッシュの摩耗							○							ゴムブッシュに異常な摩耗なきこと
		12	○	モーターの異常発熱		○												異常発熱なきこと
		13	○	モーターの電流値		○												定格値以上でないこと
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	受入供給設備	
装置名	第2活性炭脱臭装置	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第2活性炭脱臭装置	1	○	フィルター部の差圧測定 (U字管マンオメータ読み)			○									0.2 k P a 以下にて正常	
		2	○	活性炭部の差圧測定 (U字管マンオメータ読み)			○										初期測定値±0.15 k P a にて正常
		3	○	フィルター部・活性炭部のドレンアウト				○									—
		4	○	脱臭装置入口・出口臭気確認				○									装置出口にて臭気がする場合
		5	◎	パネルフィルターろ材清掃 (または交換)				○									フィルター差圧が0.2 k P a 以上の場合
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	受入供給設備	
装置名	第2脱臭用送風機	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
1	第2脱臭用送風機	1	○	送風機本体・モーター・軸受けの異常音、異常振動		○										異常音、異常振動なきこと
		2	○	送風機本体各部ボルトの緩み				○								ボルトの緩みなきこと
		3	◎	羽根車の付着、摩耗、腐食							○					羽根車の付着、摩耗、腐食なきこと
		4	○	軸受けの温度		○										異常発熱なきこと
		5	○	軸受け潤滑油脂の漏れ		○										潤滑油脂の漏れなきこと
		6	○	軸受け潤滑油脂の量		○										潤滑油脂の量が適切であること
		7	○	軸受け及びモーターのセットボルトの緩み				○								ボルトの締付に緩みがなきこと
		8	○	軸封部パッキンの締付け							○					パッキン締付に緩みなきこと
		9	○	軸封摺動部の摩耗							○					摺動部に異常な摩耗なきこと
		10	○	Vベルトの緩み							○					Vベルトに緩みなきこと
		11	◎	Vベルト及びVプーリーの摩耗							○					Vベルト及びVプーリーに磨耗なきこと
		12	○	モーターの異常発熱		○										異常発熱のなきこと
		13	○	モーターの電流値		○										定格値以上でないこと
		14														

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	受入供給設備
装置名	防臭剤噴霧装置 1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
1	防臭剤希釈水タンク	1	○	希釈水残量の確認		○												
		2	○	槽本体の外観点検		○												液漏れがある
2	防臭剤タンク	1	○	薬液残量の確認		○												
		2	○	槽本体の外観点検		○												液漏れがある
		3	○	薬液吸い込みストレーナの確認				○										目詰まりがないこと
3	防臭剤供給ポンプ	1	○	出口圧力の確認				○										1.00MPa以下であること
		2	○	ポンプの運転状況			○											異常振動、異音がある。
		3	○	ポンプ廻りの外観検査			○											液漏れがある。
4	防臭剤噴霧装置制御盤	1	○	スイッチ選択の状態		○												スイッチの選択が正規通りでない。
5	各自動弁	1	○	開閉動作の確認				○										開閉動作に異常がある。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	中間保管・梱包施設	
装置名	No. 1, No2受入ホッパ	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目			整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル									点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準			
		No.	区分		毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	ホッパ内部	1	○	損傷の有無		○											目視にて大きな損傷無し
	ダスト受、床	2	◎	清掃			○										目視にて汚れ無し

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	破砕機供給ホッパ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	上部・下部ホッパライナ	1	○ 損傷の有無		○												目視にて大きな損傷無し
	シャフト（駆動側）（従動側）	2	○ 異常音・振動の有無		○												異常音・振動無し
	スプロケットホイール （軸側）（減速機側）	3	○ 異常音・振動の有無			○											異常音・振動無し
		4	○ 磨耗				○										
	ローラチェーン	5	○ 伸び				○										伸び無し
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	特殊前処理物受入ホッパ	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル									点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	受入ホッパライナ	1	○ 損傷の有無		○											目視にて大きな損傷無し
	回転板ライナ	2	○ 損傷の有無		○											目視にて大きな損傷無し
	シャフト	3	○ 異常音・振動の有無			○										異常音・振動無し
	駆動軸	4	○ 異常音・振動の有無			○										異常音・振動無し
	従動軸	5	○ 異常音・振動の有無			○										異常音・振動無し
	スプロケットホイール (駆動側) (ドラム側)	6	○ 異常音・振動の有無				○									異常音・振動無し
		7	○ 磨耗				○									
	ローラチェーン	8	○ 伸び				○									伸び無し
		9														
		10														
		11														
		12														
		13														
		14														

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	グリズリ	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
1	グリズリ	1	○	運転時異音がしていないか。		○											異音がないこと。	
		2	○	トラフの振幅は正常か。		○												無負荷時4～5mmのこと。
		3	○	振動機に干渉する物はないか。又、干渉しそうな物はないか。		○												振動部に干渉部がないこと。
		4	○	エアライド(スミマウント)の空気圧は正常か。		○												適正値≒0.2Mpa前後であること。
		5	○	モーターの電流値は正常か。(負荷・無負荷)			○											無負荷運転時16.06A以下のこと。
		6	○	各部ボルトの緩みはないか。(基礎ボルトを含む)			○											緩んでいないこと。
		7	○	グリスアップは充分か。			○											給脂がされていること。
		8	○	櫛部の摩耗はないか。			○											摩耗、破損がないこと。
		9	○	配線の摩耗はないか。				○										摩耗がないこと。
		10	○	エアライド(スミマウント)の破損はないか。				○										運転時の異音、破損がないこと。
		11	○	トラフに搬送物等の集積・付着等の現象はないか。				○										搬送物の集積・付着等がないこと。
		12	○	各シールゴムの破れ、破損はないか。				○										破れ、破損がないこと。
		13		本体の溶接部にクラックが発生していないか					○									溶接部にクラックがないこと。
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	破砕機 (KE-600特)	1 / 2

整備・点検リスト	1 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル										点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	破砕機内部	1	○	点検・清掃 (目視、足で蹴って回す)		○											ブレーカを足で蹴り、ロータが回転しない場合には ディスチャージリング、ライナ部で異物を噛込んで る場合がありますので、点検し除去して下さい。
	ブレーカライナ	2	○	ボルト・ナット (B・N) 増締め		○											ボックススパナ
		3	○	磨耗状況		○											
	シェルライナ	4	○	B・N増締め			○										スパナ
	スィーパーライナ	5	○	B・N増締め		○											スパナ
		6	○	磨耗状況			○										
	ディスチャージリング	7	○	B・N増締め				○									スパナ
	下部シェルライナ	8	○	B・N増締め				○									スパナ
	上部シェルライナ	9	○	B・N増締め				○									スパナ
	Vベルト	10	○	ゆるみ				○									テンションメータ、たわみ量26mm
	グラインダ	11	○	磨耗・嚙込			○										目視
	アッパベヤリング	12	○	給脂 (約50g/1回)			○										グリスガン
	ロアベヤリング	13	○	給脂 (約50g/1回)			○										グリスガン
	ヘッドカバー・ロアベヤリングカバー	14	○	温度			○										触手

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	破砕機 (KE-600特)	2 / 2

整備・点検リスト	2 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル										点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	電動機	15	○ 給脂								○						グリスガン
	基礎B・N	16	○ 点検・増締め			○											スパナ
	排出シュート	17	○ 点検・清掃		○												
	各部取付B・N	18	○ ゆるみ				○										スパナ
	破砕機周囲	19	○ 清掃		○												
	ダストシュート	20	○ 点検・清掃		○												
		21															
		22															
		23															
		24															
		25															
		26															
		27															
		28															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備
装置名	粗破碎機

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
	粗破碎機 本体	1	○	ギヤードモーター油面			○											
		2	○	破碎機ギヤボックス油面			○											
		3	◎	ギヤードモーター潤滑油交換 (10,000時間運転毎又は2年毎、1年時点検、必要なら交換)									○					
		4	◎	破碎機潤滑油交換 (2,000時間運転毎、又は2年毎)								○						
		5	◎	グリース注入 “反駆動側軸受(2ヶ所)”								○						
		6		各部点検														
		6-1	○	油漏れの有無		○												
		6-2	○	発熱の有無		○												
		6-3	○	異音の有無		○												
		6-4	○	振動の有無		○												
		7	◎	ボルト、ナットのゆるみ点検			○											
		8	○	切断刃、ナイフスペーサーの摩耗状況			○											
		9	○	電動機、配線の絶縁抵抗									○					
	10	○	終業点検・清掃 (各部点検・切断機清掃)		○													

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備
装置名	粗破碎機

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル									点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年					
異物排出装置		1		動作状況の確認															
		1-1	○	油漏れの有無		○													
		1-2	○	発熱の有無		○													
		1-3	○	異音の有無		○													
		1-4	○	振動の有無		○													
		2	◎	シリンダー先端金具のゆるみ点検			○												
		3	○	リミットスイッチの動作確認							○								
シリンダ		1	○	油漏れの有無								○							
		2	○	ロッドの摩耗、キズ、取付ボルトのゆるみ点検								○							
		3	○	パッキン類の摩耗、変形、キズの有無								○							
		4	○	部品のサビ発生状況								○							
		5	◎	汚染物の付着状況								○							
ゴムホース		1	○	ゆるみ、ふくれ、キズの有無								○							

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備
装置名	粗破砕機

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル										点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
異物排出用 油圧ユニット		1	○	油タンク内の油面		○													
		2	○	作動油温度		○													
		3	○	作動油の汚れ			○												
		4	○	異常音の有無		○													
		5	○	フィルターが目詰まり		○													
		6	○	油漏れの有無		○													
		7	○	温度スイッチ、液面スイッチの作動確認				○											
		8	○	サクシヨンストレーナーが目詰まり、清掃				○											
		9	◎	固定金具、ボルト等のゆるみ				○											
		10	○	電気結線状況の確認							○								
		11	◎	ソレノイド等の作動確認				○											
		12	○	圧力計等計器類の作動確認、精度検査				○											
		13	○	油圧ポンプ吐出圧力				○											
粗破砕機制御盤		1	◎	盤面機器の劣化								○							
		2	◎	盤内機器の劣化								○							
		3	◎	敷設ケーブルの劣化								○							

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	可燃物粒度選別機	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
1	入口シュートライナ	1	○ 損傷の有無		○											目視にて大きな損傷無し
	フルイドラム	2	○ 異常音・振動の有無		○											異常音・振動無し
		3	○ 目詰まりの有無			○										目詰まりが10%以下
	ドラム	4	○ 異常音・振動の有無		○											異常音・振動無し
	駆動側・ドラム側sprocket	5	○ 異常音・振動の有無			○										異常音・振動無し
		6	○ 磨耗				○									異常磨耗無し
	駆動チェーン	7	○ 伸び				○									伸び無し
	エアプロ配管	8	○ つまり				○									つまり無し
	本体溶接箇所	9	○ 溶接部にクラックが発生していないか					○								溶接部にクラックがないこと
		10														
	11															
	12															
	13															
	14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	粗大物搬送コンベヤ	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年					
1	粗大物搬送コンベヤ	1	○	運転時異音が生じていないか。		○											異音がないこと。		
		2	○	トラフの振幅は正常か。		○												無負荷時14～16mmのこと。	
		3	○	振動機に干渉する物はないか。又、干渉しそうな物はないか。		○												振動部に干渉部がないこと。	
		4	○	モーターの電流値は正常か。(負荷・無負荷)			○											無負荷運転時11A以下のこと。	
		5	○	ボルトの緩みはないか。(基礎ボルトを含む)			○											緩んでいないこと。	
		6	○	グリスアップは充分か。又、給脂ホースに破損はないか。			○												給脂がされていること。(4ヶ所) 給脂ホースの摩耗がないこと。
		7	○	ライナーの摩耗はないか。			○											摩耗、破損がないこと。	
		8	○	配線の摩耗はないか。				○										摩耗がないこと。	
		9	○	Vベルトのゆるみはないか。				○										規定値以上のたわみがないこと。	
		10	○	ロッカーレグのゴムブッシュの摩耗はないか。				○										運転時の異音、ゴムのはみ出しがないこと。	
		11	○	トラフに搬送物等の集積・付着等の現象はないか。				○										搬送物の集積・付着等がないこと。	
		12	○	各シールゴムの破れ、破損はないか。				○										破れ、破損がないこと。	
		13	○	各スプリングの破損はないか。					○									運転時の異音、破損がないこと。	
		14	○	振動コンベヤの溶接部にクラックが発生していないか。					○									溶接部にクラックがないこと。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	粗破砕機供給コンベヤ	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年					
1	粗破砕機供給コンベヤ	1	○	運転時異音がしていないか。		○											異音がないこと。		
		2	○	トラフの振幅は正常か。		○												無負荷時14～16mmのこと。	
		3	○	振動機に干渉する物はないか。又、干渉しそうな物はないか。		○												振動部に干渉部がないこと。	
		4	○	モーターの電流値は正常か。(負荷・無負荷)			○											無負荷運転時11A以下のこと。	
		5	○	ボルトの緩みはないか。(基礎ボルトを含む)			○											緩んでいないこと。	
		6	○	グリスアップは充分か。又、給脂ホースに破損はないか。			○												給脂がされていること。(4ヶ所) 給脂ホースの摩耗がないこと。
		7	○	ライナーの摩耗はないか。			○											摩耗、破損がないこと。	
		8	○	配線の摩耗はないか。				○										摩耗がないこと。	
		9	○	Vベルトのゆるみはないか。				○										規定値以上のたわみがないこと。	
		10	○	ロッカーレグのゴムブッシュの摩耗はないか。				○										運転時の異音、ゴムのはみ出しがないこと。	
		11	○	トラフに搬送物等の集積・付着等の現象はないか。				○										搬送物の集積・付着等がないこと。	
		12	○	各シールゴムの破れ、破損はないか。				○										破れ、破損がないこと。	
		13	○	各スプリングの破損はないか。					○									運転時の異音、破損がないこと。	
		14	○	振動コンベヤの溶接部にクラックが発生していないか。					○									溶接部にクラックがないこと。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	粗破砕物搬送コンベヤ	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年					
1	粗破砕物搬送コンベヤ	1	○	運転時異音がしていないか。		○											異音がないこと。		
		2	○	トラフの振幅は正常か。		○												無負荷時14～16mmのこと。	
		3	○	振動機に干渉する物はないか。又、干渉しそうな物はないか。		○												振動部に干渉部がないこと。	
		4	○	モーターの電流値は正常か。(負荷・無負荷)			○											無負荷運転時4.9A以下のこと。	
		5	○	ボルトの緩みはないか。(基礎ボルトを含む)			○											緩んでいないこと。	
		6	○	グリスアップは充分か。又、給脂ホースに破損はないか。			○												給脂がされていること。(3ヶ所) 給脂ホースの摩耗がないこと。
		7	○	ライナーの摩耗はないか。			○											摩耗、破損がないこと。	
		8	○	配線の摩耗はないか。				○										摩耗がないこと。	
		9	○	Vベルトのゆるみはないか。				○										規定値以上のたわみがないこと。	
		10	○	ロッカーレグのゴムブッシュの摩耗はないか。				○										運転時の異音、ゴムのはみ出しがないこと。	
		11	○	トラフに搬送物等の集積・付着等の現象はないか。				○										搬送物の集積・付着等がないこと。	
		12	○	各シールゴムの破れ、破損はないか。				○										破れ、破損がないこと。	
		13	○	各スプリングの破損はないか。					○									運転時の異音、破損がないこと。	
		14	○	振動コンベヤの溶接部にクラックが発生していないか。					○									溶接部にクラックがないこと。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第1不燃物搬送コンベヤ(1)	1/3

整備・点検リスト	1/3
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第1不燃物搬送コンベヤ(1)	1	○	ハイポニック減速機の異常発熱		○										手で触れない高温でない (軸受、ギヤ部:60℃以下、モータ部:80℃以下)	
		2	○	ハイポニック減速機の異音		○											異音無し
		3	○	電源コードの断線		○											断線箇所無し
		4	○	ベルトのスリップ		○											スリップ無し
		5	○	ベルトの蛇行、片寄り		○											蛇行幅±15mm以内(ベルト幅方向)
		6	○	ベルトの摩耗、損傷、接合部の剥離		○											損傷、剥離箇所無し
		7	○	ベルトの張り具合				○									リタンローラ間でベルトの 弛み30~40mm
		8	○	軸受の回転不良		○											回転不良無し
		9	○	軸受の異音		○											異音無し
		10	○	ラギングゴム、クッションゴムの摩耗			○										摩耗によるゴム表面の 劣化、変形状態無し
		11	◎	プーリ表面のケーキ付着			○										プーリ表面はなめらかである
		12	○	ローラの回転不良			○										回転不良無し (偏芯して回転していない)
		13	○	ローラの異音		○											異音無し
		14	◎	ローラ表面のケーキ付着			○										ローラ表面はなめらかである
		15	○	ベルト、プーリ、ローラ等の回転体への異物の噛み込み		○											異物の噛み込み無し

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第1不燃物搬送コンベヤ(1)	2/3

整備・点検リスト	2/3
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第1不燃物搬送コンベヤ(1)	16	◎	ローラ取付ブラケットのケーキの堆積				○								堆積物(ケーキ)がローラに接触していない	
		17	◎	ヘッドシュートのケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		18	◎	コンベヤ底面のケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		19	○	搬送物の搬送量		○											仕様条件以上の搬送量を搬送していない
		20	○	搬送物の荷詰まり、引っ掛かり		○											荷詰まり、引っ掛かり無し
		21	○	搬送物の搬送状態		○											搬送物がベルト中央に載っている(片荷の状態になっていない)
		22	○	搬送物の荷こぼれ		○											荷こぼれ極少量
		23	○	搬送物の投入状態		○											ベルト、ローラに過大な負荷を与えていない
		24	○	フレームの屈曲				○									屈曲無し
		25	○	クリーナ密着度			○										クリーナチップはベルト表面に軽く接触している
		26	○	スクレーパ密着度			○										スクレーパゴムはベルト表面に密着している
		27	○	スカートゴムの接触具合			○										スカートゴムはベルト表面に軽く接触している
		28	◎	スリップ検知器部近接スイッチ、検出片の粉塵の付着			○										粉塵の付着無し
	29	○	スリップ検知器部検出片の変形		○											変形無し	
	30	○	ボルトのゆるみ				○									各箇所ゆるみ無し	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	前処理設備	
装置名	第1不燃物搬送コンベヤ(2)	1/3

整備・点検リスト	1/3
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第1不燃物搬送コンベヤ(2)	1	○	ハイポニック減速機の異常発熱		○										手で触れない高温でない (軸受、ギヤ部:60℃以下、モータ部:80℃以下)	
		2	○	ハイポニック減速機の異音		○											異音無し
		3	○	電源コードの断線		○											断線箇所無し
		4	○	ベルトのスリップ		○											スリップ無し
		5	○	ベルトの蛇行、片寄り		○											蛇行幅±15mm以内(ベルト幅方向)
		6	○	ベルトの摩耗、損傷、接合部の剥離		○											損傷、剥離箇所無し
		7	○	ベルトの張り具合				○									リタンローラ間でベルトの 弛み30~40mm
		8	○	軸受の回転不良		○											回転不良無し
		9	○	軸受の異音		○											異音無し
		10	○	ラギングゴム、クッションゴムの摩耗			○										摩耗によるゴム表面の 劣化、変形状態無し
		11	◎	プーリ表面のケーキ付着			○										プーリ表面はなめらかである
		12	○	ローラの回転不良			○										回転不良無し (偏芯して回転していない)
		13	○	ローラの異音		○											異音無し
		14	◎	ローラ表面のケーキ付着			○										ローラ表面はなめらかである
		15	○	ベルト、プーリ、ローラ等の回転体への異物の噛み込み		○											異物の噛み込み無し

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第1不燃物搬送コンベヤ(2)	2/3

整備・点検リスト	2/3
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第1不燃物搬送コンベヤ(2)	16	◎	ローラ取付ブラケットのケーキの堆積				○								堆積物(ケーキ)がローラに接触していない	
		17	◎	ヘッドシュートのケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		18	◎	コンベヤ底面のケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		19	○	搬送物の搬送量		○											仕様条件以上の搬送量を搬送していない
		20	○	搬送物の荷詰まり、引っ掛かり		○											荷詰まり、引っ掛かり無し
		21	○	搬送物の搬送状態		○											搬送物がベルト中央に載っている(片荷の状態になっていない)
		22	○	搬送物の荷こぼれ		○											荷こぼれ極少量
		23	○	搬送物の投入状態		○											ベルト、ローラに過大な負荷を与えていない
		24	○	フレームの屈曲				○									屈曲無し
		25	○	クリーナ密着度			○										クリーナチップはベルト表面に軽く接触している
		26	○	スクレーパ密着度			○										スクレーパゴムはベルト表面に密着している
		27	○	スカートゴムの接触具合			○										スカートゴムはベルト表面に軽く接触している
		28	◎	スリップ検知器部近接スイッチ、検出片の粉塵の付着			○										粉塵の付着無し
	29	○	スリップ検知器部検出片の変形		○											変形無し	
	30	○	ボルトのゆるみ				○									各箇所ゆるみ無し	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第1不燃物搬送コンベヤ(2)	3/3

整備・点検リスト	3/3
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
	第1不燃物搬送コンベヤ(2)	31	○	変角部でのキャリヤ側ベルトの浮き上がり		○											ベルトの中央部が搬送面側に 膨らんでいない	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第2不燃物搬送コンベヤ	1/3

整備・点検リスト	1/3
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第2不燃物搬送コンベヤ	1	○	ハイポニック減速機の異常発熱		○										手で触れない高温でない (軸受、ギヤ部:60℃以下、モータ部:80℃以下)	
		2	○	ハイポニック減速機の異音		○											異音無し
		3	○	電源コードの断線		○											断線箇所無し
		4	○	ベルトのスリップ		○											スリップ無し
		5	○	ベルトの蛇行、片寄り		○											蛇行幅±15mm以内(ベルト幅方向)
		6	○	ベルトの摩耗、損傷、接合部の剥離		○											損傷、剥離箇所無し
		7	○	ベルトの張り具合				○									リタンローラ間でベルトの 弛み30~40mm
		8	○	軸受の回転不良		○											回転不良無し
		9	○	軸受の異音		○											異音無し
		10	○	ラギングゴム、クッションゴムの摩耗			○										摩耗によるゴム表面の 劣化、変形状態無し
		11	◎	プーリ表面のケーキ付着			○										プーリ表面はなめらかである
		12	○	ローラの回転不良			○										回転不良無し (偏芯して回転していない)
		13	○	ローラの異音		○											異音無し
		14	◎	ローラ表面のケーキ付着			○										ローラ表面はなめらかである
		15	○	ベルト、プーリ、ローラ等の回転体への異物の噛み込み		○											異物の噛み込み無し

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第2不燃物搬送コンベヤ	2/3

整備・点検リスト	2/3
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第2不燃物搬送コンベヤ	16	◎	ローラ取付ブラケットのケーキの堆積				○								堆積物(ケーキ)がローラに接触していない	
		17	◎	ヘッドシュートのケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		18	◎	コンベヤ底面のケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		19	○	搬送物の搬送量		○											仕様条件以上の搬送量を搬送していない
		20	○	搬送物の荷詰まり、引っ掛かり		○											荷詰まり、引っ掛かり無し
		21	○	搬送物の搬送状態		○											搬送物がベルト中央に載っている(片荷の状態になっていない)
		22	○	搬送物の荷こぼれ		○											荷こぼれ極少量
		23	○	搬送物の投入状態		○											ベルト、ローラに過大な負荷を与えていない
		24	○	フレームの屈曲				○									屈曲無し
		25	○	クリーナ密着度			○										クリーナチップはベルト表面に軽く接触している
		26	○	スクレーパ密着度			○										スクレーパゴムはベルト表面に密着している
		27	○	スカートゴムの接触具合			○										スカートゴムはベルト表面に軽く接触している
		28	◎	スリップ検知器部近接スイッチ、検出片の粉塵の付着			○										粉塵の付着無し
	29	○	スリップ検知器部検出片の変形		○											変形無し	
	30	○	ボルトのゆるみ				○									各箇所ゆるみ無し	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第2不燃物搬送コンベヤ	3/3

整備・点検リスト	3/3
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
	第2不燃物搬送コンベヤ	31	○	変角部でのキャリヤ側ベルトの浮き上がり		○											ベルトの中央部が搬送面側に 膨らんでいない	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	不燃系鉄搬送コンベヤ	1/2

整備・点検リスト	1/2
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	不燃系鉄搬送コンベヤ	1	○	ハイポニック減速機の異常発熱		○										手で触れない高温でない (軸受、ギヤ部:60℃以下、モータ部:80℃以下)	
		2	○	ハイポニック減速機の異音		○											異音無し
		3	○	電源コードの断線		○											断線箇所無し
		4	○	ベルトのスリップ		○											スリップ無し
		5	○	ベルトの蛇行、片寄り		○											蛇行幅±15mm以内(ベルト幅方向)
		6	○	ベルトの摩耗、損傷、接合部の剥離		○											損傷、剥離箇所無し
		7	○	ベルトの張り具合				○									リタンローラ間でベルトの 弛み30~40mm
		8	○	軸受の回転不良		○											回転不良無し
		9	○	軸受の異音		○											異音無し
		10	○	ラギングゴム、クッションゴムの摩耗			○										摩耗によるゴム表面の 劣化、変形状態無し
		11	◎	プーリ表面のケーキ付着			○										プーリ表面はなめらかである
		12	○	ローラの回転不良			○										回転不良無し (偏芯して回転していない)
		13	○	ローラの異音		○											異音無し
		14	◎	ローラ表面のケーキ付着			○										ローラ表面はなめらかである
		15	○	ベルト、プーリ、ローラ等の回転体への異物の噛み込み		○											異物の噛み込み無し

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	不燃系鉄搬送コンベヤ	2/2

整備・点検リスト	2/2
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	不燃系鉄搬送コンベヤ	16	◎	ローラ取付ブラケットのケーキの堆積				○								堆積物(ケーキ)が ローラに接触していない	
		17	◎	ヘッドシュートのケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		18	◎	コンベヤ底面のケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		19	○	搬送物の搬送量		○											仕様条件以上の搬送量を 搬送していない
		20	○	搬送物の荷詰まり、引っ掛かり		○											荷詰まり、引っ掛かり無し
		21	○	搬送物の搬送状態		○											搬送物がベルト中央に載っている (片荷の状態になっていない)
		22	○	搬送物の荷こぼれ		○											荷こぼれ極少量
		23	○	搬送物の投入状態		○											ベルト、ローラに過大な 負荷を与えていない
		24	○	フレームの屈曲				○									屈曲無し
		25	○	クリーナ密着度			○										クリーナチップはベルト表面に 軽く接触している
		26	○	スクレーパ密着度			○										スクレーパゴムはベルト表面に 密着している
		27	○	スカートゴムの接触具合			○										スカートゴムはベルト表面に 軽く接触している
		28	◎	スリップ検知器部近接スイッチ、検出片の粉塵の付着			○										粉塵の付着無し
	29	○	スリップ検知器部検出片の変形		○											変形無し	
	30	○	ボルトのゆるみ				○									各箇所ゆるみ無し	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第1可燃物搬送コンベヤ	1/3

整備・点検リスト	1/3
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第1可燃物搬送コンベヤ	1	○	ハイポニック減速機の異常発熱		○										手で触れない高温でない (軸受、ギヤ部:60℃以下、モータ部:80℃以下)	
		2	○	ハイポニック減速機の異音		○											異音無し
		3	○	電源コードの断線		○											断線箇所無し
		4	○	ベルトのスリップ		○											スリップ無し
		5	○	ベルトの蛇行、片寄り		○											蛇行幅±15mm以内(ベルト幅方向)
		6	○	ベルトの摩耗、損傷、接合部の剥離		○											損傷、剥離箇所無し
		7	○	ベルトの張り具合				○									リタンローラ間でベルトの 弛み30~40mm
		8	○	軸受の回転不良		○											回転不良無し
		9	○	軸受の異音		○											異音無し
		10	○	ラギングゴム、クッションゴムの摩耗			○										摩耗によるゴム表面の 劣化、変形状態無し
		11	◎	プーリ表面のケーキ付着			○										プーリ表面はなめらかである
		12	○	ローラの回転不良			○										回転不良無し (偏芯して回転していない)
		13	○	ローラの異音		○											異音無し
		14	◎	ローラ表面のケーキ付着			○										ローラ表面はなめらかである
		15	○	ベルト、プーリ、ローラ等の回転体への異物の噛み込み		○											異物の噛み込み無し

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第1可燃物搬送コンベヤ	2/3

整備・点検リスト	2/3
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第1可燃物搬送コンベヤ	16	◎	ローラ取付ブラケットのケーキの堆積				○								堆積物(ケーキ)がローラに接触していない	
		17	◎	ヘッドシュートのケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		18	◎	コンベヤ底面のケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		19	○	搬送物の搬送量		○											仕様条件以上の搬送量を搬送していない
		20	○	搬送物の荷詰まり、引っ掛かり		○											荷詰まり、引っ掛かり無し
		21	○	搬送物の搬送状態		○											搬送物がベルト中央に載っている(片荷の状態になっていない)
		22	○	搬送物の荷こぼれ		○											荷こぼれ極少量
		23	○	搬送物の投入状態		○											ベルト、ローラに過大な負荷を与えていない
		24	○	フレームの屈曲				○									屈曲無し
		25	○	クリーナ密着度			○										クリーナチップはベルト表面に軽く接触している
		26	○	スクレーパ密着度			○										スクレーパゴムはベルト表面に密着している
		27	○	スカートゴムの接触具合			○										スカートゴムはベルト表面に軽く接触している
		28	◎	スリップ検知器部近接スイッチ、検出片の粉塵の付着			○										粉塵の付着無し
	29	○	スリップ検知器部検出片の変形		○											変形無し	
	30	○	ボルトのゆるみ				○									各箇所ゆるみ無し	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第1可燃物搬送コンベヤ	3/3

整備・点検リスト	3/3
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第1可燃物搬送コンベヤ	31	○	金属検出器の感度		○										基準サイズの金属をきちんと検知している	
		32	○	切替ダンパーの作動状態		○											作動不良無し
		33	◎	切替ダンパー表面のケーキの付着				○									ダンパー表面はなめらかである
		34	○	金属検出器と切替ダンパーの連携		○											タイムラグ無し

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第2可燃物搬送コンベヤ	1/2

整備・点検リスト	1/2
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第2可燃物搬送コンベヤ	1	○	ハイポニック減速機の異常発熱		○										手で触れない高温でない (軸受、ギヤ部:60℃以下、モータ部:80℃以下)	
		2	○	ハイポニック減速機の異音		○											異音無し
		3	○	電源コードの断線		○											断線箇所無し
		4	○	ベルトのスリップ		○											スリップ無し
		5	○	ベルトの蛇行、片寄り		○											蛇行幅±15mm以内(ベルト幅方向)
		6	○	ベルトの摩耗、損傷、接合部の剥離		○											損傷、剥離箇所無し
		7	○	ベルトの張り具合				○									リタンローラ間でベルトの 弛み30~40mm
		8	○	軸受の回転不良		○											回転不良無し
		9	○	軸受の異音		○											異音無し
		10	○	ラギングゴム、クッションゴムの摩耗			○										摩耗によるゴム表面の 劣化、変形状態無し
		11	◎	プーリ表面のケーキ付着			○										プーリ表面はなめらかである
		12	○	ローラの回転不良			○										回転不良無し (偏芯して回転していない)
		13	○	ローラの異音		○											異音無し
		14	◎	ローラ表面のケーキ付着			○										ローラ表面はなめらかである
		15	○	ベルト、プーリ、ローラ等の回転体への異物の噛み込み		○											異物の噛み込み無し

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第2可燃物搬送コンベヤ	2/2

整備・点検リスト	2/2
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第2可燃物搬送コンベヤ	16	◎	ローラ取付ブラケットのケーキの堆積				○								堆積物(ケーキ)がローラに接触していない	
		17	◎	ヘッドシュートのケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		18	◎	コンベヤ底面のケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		19	○	搬送物の搬送量		○											仕様条件以上の搬送量を搬送していない
		20	○	搬送物の荷詰まり、引っ掛かり		○											荷詰まり、引っ掛かり無し
		21	○	搬送物の搬送状態		○											搬送物がベルト中央に載っている(片荷の状態になっていない)
		22	○	搬送物の荷こぼれ		○											荷こぼれ極少量
		23	○	搬送物の投入状態		○											ベルト、ローラに過大な負荷を与えていない
		24	○	フレームの屈曲				○									屈曲無し
		25	○	クリーナ密着度			○										クリーナチップはベルト表面に軽く接触している
		26	○	スクレーパ密着度			○										スクレーパゴムはベルト表面に密着している
		27	○	スカートゴムの接触具合			○										スカートゴムはベルト表面に軽く接触している
		28	◎	スリップ検知器部近接スイッチ、検出片の粉塵の付着			○										粉塵の付着無し
	29	○	スリップ検知器部検出片の変形		○											変形無し	
	30	○	ボルトのゆるみ				○									各箇所ゆるみ無し	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第5可燃物搬送コンベヤ	1/2

整備・点検リスト	1/2
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第5可燃物搬送コンベヤ	1	○	ハイポニック減速機の異常発熱		○										手で触れない高温でない (軸受、ギヤ部:60℃以下、モータ部:80℃以下)	
		2	○	ハイポニック減速機の異音		○											異音無し
		3	○	電源コードの断線		○											断線箇所無し
		4	○	ベルトのスリップ		○											スリップ無し
		5	○	ベルトの蛇行、片寄り		○											蛇行幅±15mm以内(ベルト幅方向)
		6	○	ベルトの摩耗、損傷、接合部の剥離		○											損傷、剥離箇所無し
		7	○	ベルトの張り具合				○									リタンローラ間でベルトの 弛み30~40mm
		8	○	軸受の回転不良		○											回転不良無し
		9	○	軸受の異音		○											異音無し
		10	○	クッションゴムの摩耗			○										摩耗によるゴム表面の 劣化、変形状態無し
		11	◎	プーリ表面のケーク付着			○										プーリ表面はなめらかである
		12	○	ローラの回転不良			○										回転不良無し (偏芯して回転していない)
		13	○	ローラの異音		○											異音無し
		14	◎	ローラ表面のケーク付着			○										ローラ表面はなめらかである
		15	○	ベルト、プーリ、ローラ等の回転体への異物の噛み込み		○											異物の噛み込み無し

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第5可燃物搬送コンベヤ	2/2

整備・点検リスト	2/2
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	第5可燃物搬送コンベヤ	16	◎	ローラ取付ブラケットのケーキの堆積				○								堆積物(ケーキ)がローラに接触していない	
		17	◎	ヘッドシュートのケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		18	◎	コンベヤ底面のケーキの堆積				○									ケーキが大量に堆積していない
		19	○	搬送物の搬送量		○											仕様条件以上の搬送量を搬送していない
		20	○	搬送物の荷詰まり、引っ掛かり		○											荷詰まり、引っ掛かり無し
		21	○	搬送物の搬送状態		○											搬送物がベルト中央に載っている(片荷の状態になっていない)
		22	○	搬送物の荷こぼれ		○											荷こぼれ極少量
		23	○	搬送物の投入状態		○											ベルト、ローラに過大な負荷を与えていない
		24	○	フレームの屈曲				○									屈曲無し
		25	○	クリーナ密着度			○										クリーナゴムはベルト表面に軽く接触している
		26	○	スクレーパ密着度			○										スクレーパゴムはベルト表面に密着している
		27	○	スカートゴムの接触具合			○										スカートゴムはベルト表面に軽く接触している
		28	◎	スリップ検知器部近接スイッチ、検出片の粉塵の付着			○										粉塵の付着無し
	29	○	スリップ検知器部検出片の変形		○											変形無し	
	30	○	ボルトのゆるみ				○									各箇所ゆるみ無し	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	中間処理設備	
装置名	第3不燃物搬送コンベヤ	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	第3不燃物搬送コンベヤ	1	○	・コンベヤチェーン チェーンの磨耗状態、伸び、ローラの回転状態 但し、最初の3ヶ月間はチェーンの初期伸びがありますので、 毎日点検して下さい。(テークアップ調整)							○						チェーンブッシュのガタが2～3mmになると交換、または間引く (テークアップ代がなくなるまで)
		2	○	・エプロン板 板の変形			○										運行に影響する変形が見られたら直ちに交換
		3	○	・コンベヤレール 異物の干渉(長期連休時の機器内清掃) 磨耗				○									運行に影響する干渉が見られたら直ちに除去、清掃
		4	○	・コンベヤ鎖車 軸との固定用キー、セットボルトの緩み 歯先の磨耗							○						刃先の磨耗量が3～4mmになれば、新規交換の必要があります。
		5	○	・軸 受 運転中の状態		○											発熱、異常音、異常振動があれば次項目を確認 「4-(2)」参照
		6	○	・軸 受 グリースの充填量、取付ボルト、ナットの緩み				○									残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		7	○	・駆動用ローラーチェーン チェーンの磨耗、伸び (初期伸びに注意して下さい)							○						チェーンの張りを確認 任意で緊張調整
		8	○	・電動機付減速機 運転中の状態		○											発熱、異常音、異常振動があれば次項目を確認 「4-(2)」参照
		9	○	・電動機付減速機 潤滑油の充填量、取付ボルト、ナットの緩み				○									残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		10	○	引き綱スイッチ 動作の確認		○											正しく動作するか スイッチが復旧しているか 引き綱が絡んでいないか
		11	○	・オートリターン 変形、異物の噛み込み、干渉			○										運行に影響する干渉が見られたら直ちに除去、清掃
		12	○	・散水ノズル 散水状態				○									正常に散水しているか 「4-(2)」参照

設備名	中間処理設備	
装置名	第3可燃物搬送コンベヤ	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	第3可燃物搬送コンベヤ	1	○	・コンベヤチェーン チェーンの磨耗状態、伸び、ローラの回転状態 但し、最初の3ヶ月間はチェーンの初期伸びがありますので、 毎日点検して下さい。(テークアップ調整)								○						チェーンブッシュのガタが2～3mmになると交換、または間引く (テークアップ代がなくなるまで)
		2	○	・エプロン板 板の変形				○										運行に影響する変形が見られたら直ちに交換
		3	○	・コンベヤレール 異物の干渉(長期連休時の機器内清掃) 磨耗					○									運行に影響する干渉が見られたら直ちに除去、清掃
		4	○	・コンベヤ鎖車 軸との固定用キー、セットボルトの緩み 歯先の磨耗								○						刃先の磨耗量が3～4mmになれば、新規交換の必要があります。
		5	○	・軸 受 運転中の状態			○											発熱、異常音、異常振動があれば次項目を確認 「4-(2)」参照
		6	○	・軸 受 グリースの充填量、取付ボルト、ナットの緩み					○									残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		7	○	・駆動用ローラーチェーン チェーンの磨耗、伸び (初期伸びに注意して下さい)								○						チェーンの張りを確認 任意で緊張調整
		8	○	・電動機付減速機 運転中の状態			○											発熱、異常音、異常振動があれば次項目を確認 「4-(2)」参照
		9	○	・電動機付減速機 潤滑油の充填量、取付ボルト、ナットの緩み					○									残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		10	○	引き綱スイッチ 動作の確認			○											正しく動作するか スイッチが復旧しているか 引き綱が絡んでいないか
		11	○	・オートリターン 変形、異物の噛み込み、干渉				○										運行に影響する干渉が見られたら直ちに除去、清掃

設備名	中間処理設備	
装置名	第4可燃物搬送コンベヤ	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	第4可燃物搬送コンベヤ	1	○	・コンベヤチェーン チェーンの磨耗状態、伸び、ローラの回転状態 但し、最初の3ヶ月間はチェーンの初期伸びがありますので、 毎日点検して下さい。(テークアップ調整)														チェーンブッシュのガタが2～3mmになると交換、または間引く (テークアップ代がなくなるまで)
		2	○	・エプロン板 板の変形				○										運行に影響する変形が見られたら直ちに交換
		3	○	・コンベヤレール 異物の干渉(長期連休時の機器内清掃) 磨耗					○									運行に影響する干渉が見られたら直ちに除去、清掃
		4	○	・コンベヤ鎖車 軸との固定用キー、セットボルトの緩み 歯先の磨耗								○						刃先の磨耗量が3～4mmになれば、新規交換の必要があります。
		5	○	・軸 受 運転中の状態			○											発熱、異常音、異常振動があれば次項目を確認 「4-(2)」参照
		6	○	・軸 受 グリースの充填量、取付ボルト、ナットの緩み					○									残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		7	○	・駆動用ローラーチェーン チェーンの磨耗、伸び (初期伸びに注意して下さい)								○						チェーンの張りを確認 任意で緊張調整
		8	○	・電動機付減速機 運転中の状態			○											発熱、異常音、異常振動があれば次項目を確認 「4-(2)」参照
		9	○	・電動機付減速機 潤滑油の充填量、取付ボルト、ナットの緩み					○									残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		10	○	引き綱スイッチ 動作の確認			○											正しく動作するか スイッチが復旧しているか 引き綱が絡んでいないか
		11	○	・オートリターン 変形、異物の噛み込み、干渉				○										運行に影響する干渉が見られたら直ちに除去、清掃
		12	○	・散水ノズル 散水状態					○									正常に散水しているか 「4-(2)」参照

設備名	中間処理設備	
装置名	破砕機供給コンベヤ	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年	
	破砕機供給コンベヤ	1	○	・コンベヤチェーン チェーンの磨耗状態、伸び、ローラの回転状態 但し、最初の3ヶ月間はチェーンの初期伸びがありますので、 毎日点検して下さい。(テークアップ調整)										チェーンブッシュのガタが2～3mmになると交換、または間引く (テークアップ代がなくなるまで)
		2	○	・エプロン板 板の変形										運行に影響する変形が見られたら直ちに交換
		3	○	・コンベヤレール 異物の干渉(長期連休時の機器内清掃) 磨耗										運行に影響する干渉が見られたら直ちに除去、清掃
		4	○	・コンベヤ鎖車 軸との固定用キー、セットボルトの緩み 歯先の磨耗										刃先の磨耗量が3～4mmになれば、新規交換の必要があります。
		5	○	・軸受 運転中の状態										発熱、異常音、異常振動があれば次項目を確認 「4-(2)」参照
		6	○	・軸受 グリースの充填量、取付ボルト、ナットの緩み										残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		7	○	・駆動用ローラーチェーン チェーンの磨耗、伸び (初期伸びに注意して下さい)										チェーンの張りを確認 任意で緊張調整
		8	○	・電動機付減速機 運転中の状態										発熱、異常音、異常振動があれば次項目を確認 「4-(2)」参照
		9	○	・電動機付減速機 潤滑油の充填量、取付ボルト、ナットの緩み										残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		10	○	引き綱スイッチ 動作の確認										正しく動作するか スイッチが復旧しているか 引き綱が絡んでいないか
		11	○	・オートリターン 変形、異物の噛み込み、干渉										運行に影響する干渉が見られたら直ちに除去、清掃

設備名	前処理設備	
装置名	可燃物粒度選別機下部振動コンベヤ	1/2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
1	可燃物粒度選別機下部振動コンベヤ	1	<input type="radio"/>	運転時異音が生じていないか。		<input type="radio"/>												異音がないこと。	
		2	<input type="radio"/>	トラフの振幅は正常か。		<input type="radio"/>													無負荷時14～16mmのこと。
		3	<input type="radio"/>	振動機に干渉する物はないか。又、干渉しそうな物はないか。		<input type="radio"/>													振動部に干渉部がないこと。
		4	<input type="radio"/>	流動層のパンチングが目詰りしていないか。		<input type="radio"/>													目詰まりがないこと。
		5	<input type="radio"/>	選別能力が変化していないか。		<input type="radio"/>													重量物側に多量に軽量物が含まれる。 又は、その逆の場合。
		6	<input type="radio"/>	モーターの電流値は正常か。(負荷・無負荷)			<input type="radio"/>												無負荷運転時7.6A以下のこと。
		7	<input type="radio"/>	各部ボルトの緩みはないか。(基礎ボルトを含む)			<input type="radio"/>												緩んでいないこと。
		8	<input type="radio"/>	グリスアップは充分か。又、給脂ホースに破損はないか。			<input type="radio"/>												給脂がされていること。(3ヶ所) 給脂ホースの摩耗がないこと。
		9	<input type="radio"/>	ライナーの摩耗はないか。			<input type="radio"/>												摩耗、破損がないこと。
		10	<input type="radio"/>	エアボックス内に異物が入っていないか。 目視 1週間			<input type="radio"/>												異物がないこと。
		11	<input type="radio"/>	エア吹込み部のジャバラ、投入部のキャンバスに磨耗、破損は無い。			<input type="radio"/>												磨耗、破損がないこと。
		12	<input type="radio"/>	配線の摩耗はないか。				<input type="radio"/>											摩耗がないこと。
		13	<input type="radio"/>	Vベルトのゆるみはないか。				<input type="radio"/>											規定値以上のたわみがないこと。
		14	<input type="radio"/>	ロッカーレグのゴムブッシュの摩耗はないか。				<input type="radio"/>											運転時の異音、ゴムのはみ出しがないこと。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	前処理設備	
装置名	可燃物粒度選別機下部振動コンベヤ	2/2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	可燃物粒度選別機下部振動コンベヤ	15	○	トラフに搬送物等の集積・付着等の現象はないか。				○									搬送物の集積・付着等がないこと。	
		16	○	各シールゴムの破れ、破損はないか。				○										破れ、破損がないこと。
		17	○	各スプリングの破損はないか。					○									運転時の異音、破損がないこと。
		18	○	振動コンベヤの溶接部にクラックが発生していないか。					○									溶接部にクラックがないこと。
2	吹込みブロワ	1	○	異常音がしていないか。		○											異常音がないこと。	
		2	○	振動が大きくなっていないか。			○										大きな振動、振れがないこと。	
		3	○	モーターの電流値は正常か。			○											無負荷運転時9.9A以下のこと
		4	○	ダクトに摩耗がないか（集塵側）				○										摩耗がないこと。

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	中間処理設備	
装置名	第1特殊前処理物搬送コンベヤ	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	第1特殊前処理物搬送コンベヤ	1	○	・コンベヤチェーン チェーンの磨耗状態、伸び、ローラの回転状態 但し、最初の3ヶ月間はチェーンの初期伸びがありますので、 毎日点検して下さい。(テークアップ調整)								○						チェーンブッシュのガタが2～3mmになると交換、または間引く (テークアップ代がなくなるまで)
		2	○	・エプロン板 板の変形				○										運行に影響する変形が見られたら 直ちに交換
		3	○	・コンベヤレール 異物の干渉(長期連休時の機器内清掃) 磨耗					○									運行に影響する干渉が見られたら 直ちに除去、清掃
		4	○	・コンベヤ鎖車 軸との固定用キー、セットボルトの緩み 歯先の磨耗								○						刃先の磨耗量が3～4mmになれば、 新規交換の必要があります。
		5	○	・軸受 運転中の状態			○											発熱、異常音、異常振動があれば 次項目を確認 「4-(2)」参照
		6	○	・軸受 グリースの充填量、取付ボルト、ナットの緩み					○									残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		7	○	・駆動用ローラーチェーン チェーンの磨耗、伸び (初期伸びに注意して下さい)								○						チェーンの張りを確認 任意で緊張調整
		8	○	・電動機付減速機 運転中の状態			○											発熱、異常音、異常振動があれば 次項目を確認 「4-(2)」参照
		9	○	・電動機付減速機 潤滑油の充填量、取付ボルト、ナットの緩み					○									残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		10	○	引き綱スイッチ 動作の確認			○											正しく動作するか スイッチが復旧しているか 引き綱が絡んでいないか

設備名	中間処理設備	
装置名	第2特殊前処理物搬送コンベヤ	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	第2特殊前処理物搬送コンベヤ	1	○	・コンベヤチェーン チェーンの磨耗状態、伸び、ローラの回転状態 但し、最初の3ヶ月間はチェーンの初期伸びがありますので、 毎日点検して下さい。(テークアップ調整)								○						チェーンブッシュのガタが2～3mmになると交換、または間引く (テークアップ代がなくなるまで)
		2	○	・エプロン板 板の変形				○										運行に影響する変形が見られたら直ちに交換
		3	○	・コンベヤレール 異物の干渉(長期連休時の機器内清掃) 磨耗					○									運行に影響する干渉が見られたら直ちに除去、清掃
		4	○	・コンベヤ鎖車 軸との固定用キー、セットボルトの緩み 歯先の磨耗								○						刃先の磨耗量が3～4mmになれば、新規交換の必要があります。
		5	○	・軸受 運転中の状態			○											発熱、異常音、異常振動があれば次項目を確認 「4-(2)」参照
		6	○	・軸受 グリースの充填量、取付ボルト、ナットの緩み					○									残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		7	○	・駆動用ローラーチェーン チェーンの磨耗、伸び (初期伸びに注意して下さい)								○						チェーンの張りを確認 任意で緊張調整
		8	○	・電動機付減速機 運転中の状態			○											発熱、異常音、異常振動があれば次項目を確認 「4-(2)」参照
		9	○	・電動機付減速機 潤滑油の充填量、取付ボルト、ナットの緩み					○									残量を確認「5-(6)」参照 締付け工具で確認
		10	○	引き綱スイッチ 動作の確認			○											正しく動作するか スイッチが復旧しているか 引き綱が絡んでいないか

設備名	前処理設備	
装置名	第1可燃系磁選機・不燃系磁選機	

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	駆動部ベース	1	○ B.Nゆるみ			○											スパナ
	ケーシング	2	○ 清掃・点検				○										
	軸受部	3	○ 温度			○											触手（運転後）
		4															
		5															
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。  
4. ドラム磁選機自体の保守・点検に関しては、添付のドラム磁選機の取扱説明書を参照して下さい。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	1/12

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	バグフィルタ	1	○	払い落とし用タイマーの差圧表示の確認		○											200(x10Pa)以上	
		2	○	払い落とし時のパルス音が正常か確認		○												聴覚により明らかにパルス音が小さく感じる場合
		3	○	払い落とし用電磁弁の排気口の汚れ具合の確認			○											目視による付着物発見
		4	○	ろ布差圧測定用チューブ内の粉の有無確認				○										エアーパージによる導通の確認
		5	○	ホッパに粉が堆積していないか確認									○					目視による、まとまった堆積物発見
		6	○	ろ布へのダスト付着に大きなバラツキが無いか確認									○					目視による極端な付着の確認
		7	○	缶体、リテーナに腐食は無いか確認									○					錆により地金が見えない部分がある
		8	○	点検口のパッキン損傷の有無									○					損傷、変形があるとき
		9	◎	点検口のボルトの増し締め									○					ボルトに緩みがあるとき
		10	○	ろ布のダスト付着及びクリーン側へのダスト漏れ確認				○										
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	2/12

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年							
2	No1スクリーコンベア	1	○	軸受部他の異音及び異常振動の有無		○												異音及び異常振動がある時		
		2	○	軸受部の異常発熱の有無		○													異常発熱がある時	
		3	○	スクリー軸の回転の滑らかさ確認		○													動作が滑らかでない時	
		4	◎	チェーンへの給油				○											潤滑油リストによる	
		5	○	内部の破損、磨耗の有無										○					破損、磨耗がある時	
		6	○	ダスト固着の有無										○					ダストの固着がある時	
		7	○	スプロケット歯面の磨耗状況の確認										○					異常磨耗している時	
		8	○	チェーンのたるみ量確認										○					20mm以上	
		9	○	ギヤードモータの異常発熱の有無		○														異常発熱がある時
		10	○	ギヤードモータの負荷電流値の確認										○						定格値であること
		11	○	バグフィルタ内部点検及びスクリー部のダスト状態の確認				○												
		12																		
		13																		
		14																		

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	3/12

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年							
3	No2スクリーコンベア	1	○	軸受部他の異音及び異常振動の有無		○												異音及び異常振動がある時		
		2	○	軸受部の異常発熱の有無		○													異常発熱がある時	
		3	○	スクリー軸の回転の滑らかさ確認		○													動作が滑らかでない時	
		4	◎	チェーンへの給油				○											潤滑油リストによる	
		5	○	内部の破損、磨耗の有無										○					破損、磨耗がある時	
		6	○	ダスト固着の有無										○					ダストの固着がある時	
		7	○	スプロケット歯面の磨耗状況の確認										○					異常磨耗している時	
		8	○	チェーンのたるみ量確認										○					20mm以上	
		9	○	ギヤードモータの異常発熱の有無		○														異常発熱がある時
		10	○	ギヤードモータの負荷電流値の確認									○							定格値であること
		11	○	バグフィルタ内部点検及びスクリー部のダスト状態の確認				○												
		12																		
		13																		
		14																		

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	4/12

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
4	ロータリーバルブ	1	○	軸受部他の異音及び異常振動の有無		○												異音及び異常振動がある時	
		2	○	軸受部の異常発熱の有無		○													異常発熱がある時
		3	○	軸回転の滑らかさ確認		○													動作が滑らかでない時
		4	○	軸受からの粉漏れの確認		○													漏れがある時
		5	◎	チェーンへの給油				○											潤滑油リストによる
		6	○	ダスト固着の有無									○						ダストの固着がある時
		7	○	スプロケット歯面の磨耗状況の確認									○						異常磨耗している時
		8	○	チェーンのたるみ量確認									○						16mm以上
		9	○	ギヤードモータの異常発熱の有無		○													異常発熱がある時
		10	○	ギヤードモータの負荷電流値の確認									○						定格値であること
		11																	
		12																	
		13																	
		14																	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	5/12

整備・点検リスト /

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
5	バグフィルタ入口ダンプ	1	○	開閉動作がスムーズか				○									
		2	○	開閉時間は正常か				○									
		3	○	開閉完了時、リミットスイッチは正常に働いているか		○											
		4	○	エア漏れの確認		○											
		5															
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	6/12

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
6	バグフィルタ出口ダンプ	1	○	開閉動作がスムーズか				○									
		2	○	開閉時間は正常か				○									
		3	○	開閉完了時、リミットスイッチは正常に働いているか		○											
		4	○	エア漏れの確認		○											
		5															
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	7/12

整備・点検リスト /

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準							
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年								
7	φ700付帯ダンプ	1	○	開閉動作がスムーズか				○													
		2	○	開閉時間は正常か				○													
		3	○	開閉完了時、リミットスイッチは正常に働いているか		○															
		4	○	エア漏れの確認		○															
		5																			
		6																			
		7																			
		8																			
		9																			
		10																			
		11																			
		12																			
		13																			
		14																			

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	8/12

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
8	φ450付帯ダンプ	1	○	開閉動作がスムーズか				○										
		2	○	開閉時間は正常か				○										
		3	○	開閉完了時、リミットスイッチは正常に働いているか		○												
		4	○	エア漏れの確認		○												
		5																
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	9/12

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年							
9	加温アロ出口ダンプ	1	○	開閉動作がスムーズか				○												
		2	○	開閉時間は正常か				○												
		3	○	開閉完了時、リミットスイッチは正常に働いているか		○														
		4	○	エア漏れの確認		○														
		5																		
		6																		
		7																		
		8																		
		9																		
		10																		
		11																		
		12																		
		13																		
		14																		

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	10/12

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
10	ガス払落し用空気圧縮機	1	○	液面計の表示確認			○										油面計の下朱線以下の時	
		2	◎	潤滑油の補給					○									潤滑油リスト参照
		3	◎	潤滑油の交換										○				潤滑油リスト参照
		4	○	エア供給圧力の確認		○												設定圧力に達しない時
		5	○	異常音の有無		○												異常音がある時
		6	○	運転時の電流値		○												定格を超える時
		7	○	ドレンの排出状況の確認		○												取扱説明書参照
		8	○	リリース弁の作動確認				○										取扱説明書参照
		9	◎	クーラーの清掃									○					取扱説明書参照
		10	◎	調圧逆止弁の調整、交換										○				取扱説明書参照
		11	○	ベルトの点検				○										異常音、振動がある時
		12	◎	消耗部品の交換									○					取扱説明書参照
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	11/12

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
11	空気加温ヒータ	1	○	各回路の電流値確認				○									定格値の90%以下
		2	○	端子固定ボルトの緩み								○					緩みのある場合
		3	○	絶縁抵抗値確認									○				2MΩ以下
		4															
		5															
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	バグフィルタ	12/12

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
12	加温ブロワ	1	○	運転時の電流値確認				○									定格を超える時
		2	○	モーターの温度上昇				○									異常発熱がある時
		3	○	異常音の有無		○											異常音がある時
		4	○	異常振動の有無		○											異常振動がある時
		5	○	吸込部フィルターの目詰まり				○									目視で確認できる時
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	第2前処理ダスト搬送コンベヤ	1/2

整備・点検リスト	1/2
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
1	第2前処理ダスト搬送コンベヤ	1	◎	電流値測定		○											定格電流以下		
		2	○	異常音発生		○													
		3	○	異常振動		○													
		4	◎	発熱			○											触手不可能 室温+40℃	
		5	○	回転状態			○												
		6	○	取付ボルトの緩み (停止中)						○									
		7	○	駆動スプロケットのセットボルトの緩み (停止中)						○									
		8	◎	駆動ローラチェーンの緩み (毎月ー運転中) (3ヶ月ー停止中)				○		○									緩み S=16~23mm
		9	◎	駆動ローラチェーンの伸び (停止中)						○									ピッチの2%以下
		10	◎	駆動ローラチェーンの磨耗 (停止中)						○									乗り上げ発生
		11	○	キーの緩み (停止中)						○									
		12	○	ボルトの緩み (停止中)									○						
		13	○	異物の干渉		○													
		14	○	輸送物の固着			○												

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	前処理設備	
装置名	第2前処理ダスト搬送コンベヤ	2/2

整備・点検リスト	2/2
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
1	第2前処理ダスト搬送コンベヤ	15	◎	入口、排出口の磨耗（停止中）										○			磨耗量 板厚の2/3以下		
		16	○	コンベヤチェーン スクレーパの磨耗、変形			○												
		17	○	スクレーパボルトの緩み（停止中）							○								
		18	◎	コンベヤホイールの歯の磨耗（停止中）											○			磨耗量 板厚の4～5mm迄	
		19	○	コンベヤホイールのセットボルトの緩み （停止中）											○				
		20	◎	コンベヤチェーンの張り具合				○										チェーンを持ち上げて上がる程度 約18mm	
		21	◎	コンベヤチェーンのピッチの伸び（停止中）											○			ピッチの2%以下	
		22	◎	コンベヤチェーン全体の屈曲							○								スムーズな屈曲
		23	◎	コンベヤチェーンローラーの回転 （停止中）				○											スムーズな回転
		24	◎	コンベヤチェーンローラーの磨耗（停止中）											○				ローラ径の30%以下
		25	◎	コンベヤチェーンリンクプレートの磨耗 （停止中）											○				磨耗量 板厚の1/3以下
		26	◎	コンベヤチェーンブッシュの磨耗（停止中）											○				孔が空くまで
		27	◎	コンベヤチェーンピンの磨耗（停止中）											○				磨耗量 ピン径の30%以下
28	◎	レールの磨耗											○				スクレーパと底板との干渉		

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	前処理設備	
装置名	破砕機メンテナンスホイスト	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	・電動横行式電気チェーンブロック	1	○	銘板の表示		○		—					○			銘板の有無（諸元銘板、スイッチコード用注意銘板）
		2	○	種類（ロードチェーン）				—					○			ロードチェーンの種類の確認。
		3	○	ピッチの伸び（ロードチェーン）		○		○						○		ピッチが3%以上伸びているものは、使用しないこと。（使用前に基準寸法表を作成しておくこと。）
		4	○	摩耗（ロードチェーン）		○		○						○		線径の摩耗が5%以上のものは使用しないこと。
		5	○	キズ、その他有害な欠陥（ロードチェーン）		○		○						○		亀裂、その他有害な欠陥がないこと。
		6	○	変形（ロードチェーン）		○		○						○		変形がないこと。
		7	○	腐食（ロードチェーン）		○		○						○		著しくサビが発生していないこと。
		8	○	フックの開き（フック）		○		—						○		標準寸法と比較し、変形がないこと。（使用前に主要寸法表を作成しておくこと。）
		9	○	変形（フック）		○		—						○		曲がり及びねじれがないこと。
		10	○	外れ止め（フック）		○		—						○		著しい摩耗、変形がなく、正しく作動すること。
		11	○	シャンク部の変形（フック）		○		—						○		フック金具とシャンク部に著しいすきまがないこと。
		12	○	スイベル（フック）		○		—						○		円滑に360°回転すること。
		13	○	摩耗、腐食（フック）		○		—						○		著しい摩耗及び腐食がないこと。
		14	○	キズ、その他有害な欠陥（フック）		○		—						○		亀裂、その他有害な欠陥のないこと。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	破砕機メンテナンスホイスト	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	・電動横行式電気チェーンブロック	15	○	フレーム（本体）		—		—					○			変形及び著しい腐食がないこと。
		16	○	ギヤケース（本体）		—		—					○			著しい変形及び腐食がないこと。
		17	○	各部のナット、リベット、割ピン、スナップリングなど（本体）		○		—					○			定期点検では、外部及び内部のナット、リベット、割ピン、スナップリングの異常の有無。
		18	○	歯車（本体）		—		—					○			著しい摩耗がないこと。 破損がないこと。
		19	○	ロードシーブ、アイドルシーブ（本体）		—		—					○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		20	○	チェーンガイド（本体）		—		—					○			著しい摩耗、変形及び破損がないこと。
		21	○	リミットレバー（本体）		—		—					○			著しい摩耗、変形及び破損がなく、円滑に作動すること。
		22	○	軸受（本体）		—		—					○			摩耗、キズ、破損など有害な欠陥がないこと。
		23	○	給油、グリースアップ（本体）		○		—					○			所定の箇所への補給、塗油及び給油の有無。
		24	○	ブレーキライニング、ブレーキディスク、ブレーキシュー（ブレーキ）		—		—					○			著しく摩耗したり、局部的に摩耗していないこと。キズ及び破損がないこと。 （製造業者の指示による。）
		25	○	ブレーキネジ（メカニカルブレーキ装置）（ブレーキ）		—		—					○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		26	○	つめ及びつめ車（メカニカルブレーキ装置）（ブレーキ）		—		—					○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		27	○	ブレーキばね（電磁ブレーキ装置）（ブレーキ）		—		—					○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
	28	○	オイルシール、防水シール（ブレーキ）		—		—					○			著しい変形及び破損がないこと。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	破砕機メンテナンスホイスト	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	・電動横行式電気チェーンブロック	29	○	電動機（電動機）		—		—					○			過熱されておらず、絶縁が良好であること。
		30	○	電装品（電磁接触器、電磁開閉器、変圧器、配線など） 横行装置（電動機）		—		—					○			過熱されておらず、絶縁が良好で操作が円滑であること。配線は確実であること。電装品の接点に異常がないこと。
		31	○	横行装置（横行装置）		—		—					○			本体との結合、歯車、ブレーキ、車輪手鎖などに異常がないこと。
		32	○	横行装置各部のナット、リベット、割ピン、スナップリング （横行装置）		○		—					○			ナット、リベット、割ピン、スナップリング。定期点検では、外部及び内部の左記部品の異常の有無。
		33	○	給油、グリースアップ（横行装置）		○		—					○			所定の箇所への補給、塗油及び、給油の有無。
		34	○	外観（押ボタンスイッチ、コード）		○		—					○			変形、破損、ネジの緩みなどがないこと。表示が明確であること。
		35	○	スイッチ操作（押ボタンスイッチ、コード）		○		—					○			正しくスイッチが作動すること。インターロックが正しく作動すること。
		36	○	接地（電源接続）		○		—					○			完全に接地していること。
		37	○	巻上げ、巻下げ機能（機能、性能）		○		—					○			巻上げ及び巻下げでロードチェーンが円滑に巻取られること。メカニカルブレーキ装置があるものは、巻下げで、ブレーキに異常がないこと。
		38	○	横行機能（機能、性能）		○		—					○			横行は円滑で、操作をやめたとき、直ちに停止すること。
		39	○	始動（機能、性能）		—		—					○			定格荷重の90%の電圧で円滑に巻上げ、巻下げ又は横行すること。
		40	○	速度（機能、性能）		—		—					○			定格荷重で、巻上げ速度、横行速度が表示値内にあること。
		41	○	ブレーキ（機能、性能）		○		—					○			ブレーキは確実に作動し、荷の降下距離は、1分間における巻上げ距離の1%以下でなければならない。
	42	○	過巻防止（機能、性能）		○		—					○			過巻防止装置が確実に作動すること。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	破砕機メンテナンスホイスト	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準		
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年			
	・ 7.5 t用ホイストレール	1	○	キズ、その他有害な欠陥（全般）		○		○					○			亀裂、その他有害な欠陥がないこと。
		2	○	変形（全般）		○		○					○			変形がないこと。
		3	○	腐食（全般）		○		○					○			著しくサビが発生していないこと。
		4	○	トロリ走行面の摩耗（レール）				—					○			著しい摩耗がないこと。
		5	○	I形鋼のフランジのダレ（レール）				—					○			ダレが発生していないこと。
		6	○	溶接部の状態				○					○			亀裂、その他有害な欠陥がないこと。
		7	○	ボルト・ナットのゆるみ（レール）				○					○			ゆるみのないこと。
		8	○	ボルト・ナットのゆるみ（横行ストップ）				○					○			ゆるみのないこと

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	粗破砕機メンテナンスホイスト	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	・電動横行式電気チェーンブロック	1	○	銘板の表示		○		—					○			銘板の有無（諸元銘板、スイッチコード用注意銘板）
		2	○	種類（ロードチェーン）				—					○			ロードチェーンの種類の確認。
		3	○	ピッチの伸び（ロードチェーン）				○						○		ピッチが3%以上伸びているものは、使用しないこと。（使用前に基準寸法表を作成しておくこと。）
		4	○	摩耗（ロードチェーン）				○						○		線径の摩耗が5%以上のものは使用しないこと。
		5	○	キズ、その他有害な欠陥（ロードチェーン）				○						○		亀裂、その他有害な欠陥がないこと。
		6	○	変形（ロードチェーン）				○						○		変形がないこと。
		7	○	腐食（ロードチェーン）				○						○		著しくサビが発生していないこと。
		8	○	フックの開き（フック）				○						○		標準寸法と比較し、変形がないこと。（使用前に主要寸法表を作成しておくこと。）
		9	○	変形（フック）				○						○		曲がり及びねじれがないこと。
		10	○	外れ止め（フック）				○						○		著しい摩耗、変形がなく、正しく作動すること。
		11	○	シャンク部の変形（フック）				○						○		フック金具とシャンク部に著しいすきまがないこと。
		12	○	スイベル（フック）				○						○		円滑に360°回転すること。
		13	○	摩耗、腐食（フック）				○						○		著しい摩耗及び腐食がないこと。
		14	○	キズ、その他有害な欠陥（フック）				○						○		亀裂、その他有害な欠陥のないこと。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	粗破砕機メンテナンスホイスト	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	・電動横行式電気チェーンブロック	15	○	フレーム（本体）		—		—					○			変形及び著しい腐食がないこと。	
		16	○	ギヤケース（本体）		—		—						○			著しい変形及び腐食がないこと。
		17	○	各部のナット、リベット、割ピン、スナップリングなど（本体）		○		—						○			定期点検では、外部及び内部のナット、リベット、割ピン、スナップリングの異常の有無。
		18	○	歯車（本体）		—		—						○			著しい摩耗がないこと。 破損がないこと。
		19	○	ロードシーブ、アイドルシーブ（本体）		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		20	○	チェーンガイド（本体）		—		—						○			著しい摩耗、変形及び破損がないこと。
		21	○	リミットレバー（本体）		—		—						○			著しい摩耗、変形及び破損がなく、円滑に作動すること。
		22	○	軸受（本体）		—		—						○			摩耗、キズ、破損など有害な欠陥がないこと。
		23	○	給油、グリースアップ（本体）		○		—						○			所定の箇所への補給、塗油及び給油の有無。
		24	○	ブレーキライニング、ブレーキディスク、ブレーキシュー（ブレーキ）		—		—						○			著しく摩耗したり、局部的に摩耗していないこと。キズ及び破損がないこと。 （製造業者の指示による。）
		25	○	ブレーキネジ（メカニカルブレーキ装置）（ブレーキ）		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		26	○	つめ及びつめ車（メカニカルブレーキ装置）（ブレーキ）		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		27	○	ブレーキばね（電磁ブレーキ装置）（ブレーキ）		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
	28	○	オイルシール、防水シール（ブレーキ）		—		—						○			著しい変形及び破損がないこと。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	粗破砕機メンテナンスホイスト	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル											点検結果に対して 整備が必要となる基準		
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	・電動横行式電気チェーンブロック	29	○	電動機（電動機）		—		—						○			過熱されておらず、絶縁が良好であること。
		30	○	電装品（電磁接触器、電磁開閉器、変圧器、配線など） 横行装置（電動機）		—		—						○			過熱されておらず、絶縁が良好で操作が円滑であること。配線は確実であること。電装品の接点に異常がないこと。
		31	○	横行装置（横行装置）		—		—						○			本体との結合、歯車、ブレーキ、車輪手鎖などに異常がないこと。
		32	○	横行装置各部のナット、リベット、割ピン、スナップリング （横行装置）		○		—						○			ナット、リベット、割ピン、スナップリング。定期点検では、外部及び内部の左記部品の異常の有無。
		33	○	給油、グリースアップ（横行装置）		○		—						○			所定の箇所への補給、塗油及び、給油の有無。
		34	○	外観（押ボタンスイッチ、コード）		○		—						○			変形、破損、ネジの緩みなどがないこと。表示が明確であること。
		35	○	スイッチ操作（押ボタンスイッチ、コード）		○		—						○			正しくスイッチが作動すること。インターロックが正しく作動すること。
		36	○	接地（電源接続）		○		—						○			完全に接地していること。
		37	○	巻上げ、巻下げ機能（機能、性能）		○		—						○			巻上げ及び巻下げでロードチェーンが円滑に巻取られること。メカニカルブレーキ装置があるものは、巻下げで、ブレーキに異常がないこと。
		38	○	横行機能（機能、性能）		○		—						○			横行は円滑で、操作をやめたとき、直ちに停止すること。
		39	○	始動（機能、性能）		—		—						○			定格荷重の90%の電圧で円滑に巻上げ、巻下げ又は横行すること。
		40	○	速度（機能、性能）		—		—						○			定格荷重で、巻上げ速度、横行速度が表示値内にあること。
		41	○	ブレーキ（機能、性能）		○		—						○			ブレーキは確実に作動し、荷の降下距離は、1分間における巻上げ距離の1%以下でなければならない。
	42	○	過巻防止（機能、性能）		○		—						○			過巻防止装置が確実に作動すること。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	選別設備メンテナンスホイスト(1)	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	・電動横行式電気チェーンブロック	1	○	銘板の表示		○		—					○			銘板の有無(諸元銘板、スイッチコード用注意銘板)
		2	○	種類(ロードチェーン)				—						○		ロードチェーンの種類の確認。
		3	○	ピッチの伸び(ロードチェーン)				○						○		ピッチが3%以上伸びているものは、使用しないこと。(使用前に基準寸法表を作成しておくこと。)
		4	○	摩耗(ロードチェーン)				○						○		線径の摩耗が5%以上のものは使用しないこと。
		5	○	キズ、その他有害な欠陥(ロードチェーン)				○						○		亀裂、その他有害な欠陥がないこと。
		6	○	変形(ロードチェーン)				○						○		変形がないこと。
		7	○	腐食(ロードチェーン)				○						○		著しくサビが発生していないこと。
		8	○	フックの開き(フック)				○						○		標準寸法と比較し、変形がないこと。(使用前に主要寸法表を作成しておくこと。)
		9	○	変形(フック)				○						○		曲がり及びねじれがないこと。
		10	○	外れ止め(フック)				○						○		著しい摩耗、変形がなく、正しく作動すること。
		11	○	シャンク部の変形(フック)				○						○		フック金具とシャンク部に著しいすきまがないこと。
		12	○	スイベル(フック)				○						○		円滑に360°回転すること。
		13	○	摩耗、腐食(フック)				○						○		著しい摩耗及び腐食がないこと。
		14	○	キズ、その他有害な欠陥(フック)				○						○		亀裂、その他有害な欠陥のないこと。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	選別設備メンテナンスホイスト(1)	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	・電動横式電気チェーンブロック	15	○	フレーム(本体)		—		—					○			変形及び著しい腐食がないこと。	
		16	○	ギヤケース(本体)		—		—						○			著しい変形及び腐食がないこと。
		17	○	各部のナット、リベット、割ピン、スナップリングなど(本体)		○		—						○			定期点検では、外部及び内部のナット、リベット、割ピン、スナップリングの異常の有無。
		18	○	歯車(本体)		—		—						○			著しい摩耗がないこと。 破損がないこと。
		19	○	ロードシープ、アイドルシープ(本体)		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		20	○	チェーンガイド(本体)		—		—						○			著しい摩耗、変形及び破損がないこと。
		21	○	リミットレバー(本体)		—		—						○			著しい摩耗、変形及び破損がなく、円滑に作動すること。
		22	○	軸受(本体)		—		—						○			摩耗、キズ、破損など有害な欠陥がないこと。
		23	○	給油、グリースアップ(本体)		○		—						○			所定の箇所への補給、塗油及び給油の有無。
		24	○	ブレーキライニング、ブレーキディスク、ブレーキシュー(ブレーキ)		—		—						○			著しく摩耗したり、局部的に摩耗していないこと。キズ及び破損がないこと。 (製造業者の指示による。)
		25	○	ブレーキネジ(メカニカルブレーキ装置)(ブレーキ)		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		26	○	つめ及びつめ車(メカニカルブレーキ装置)(ブレーキ)		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		27	○	ブレーキばね(電磁ブレーキ装置)(ブレーキ)		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
	28	○	オイルシール、防水シール(ブレーキ)		—		—						○			著しい変形及び破損がないこと。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	選別設備メンテナンスホイスト(1)	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	・電動横行式電気チェーンブロック	29	○	電動機（電動機）		—		—					○			過熱されておらず、絶縁が良好であること。
		30	○	電装品（電磁接触器、電磁開閉器、変圧器、配線など） 横行装置（電動機）		—		—					○			過熱されておらず、絶縁が良好で操作が円滑であること。配線は確実であること。電装品の接点に異常がないこと。
		31	○	横行装置（横行装置）		—		—					○			本体との結合、歯車、ブレーキ、車輪手鎖などに異常がないこと。
		32	○	横行装置各部のナット、リベット、割ピン、スナップリング （横行装置）		○		—					○			ナット、リベット、割ピン、スナップリング。定期点検では、外部及び内部の左記部品の異常の有無。
		33	○	給油、グリースアップ（横行装置）		○		—					○			所定の箇所への補給、塗油及び、給油の有無。
		34	○	外観（押ボタンスイッチ、コード）		○		—					○			変形、破損、ネジの緩みなどがないこと。表示が明確であること。
		35	○	スイッチ操作（押ボタンスイッチ、コード）		○		—					○			正しくスイッチが作動すること。インターロックが正しく作動すること。
		36	○	接地（電源接続）		○		—					○			完全に接地していること。
		37	○	巻上げ、巻下げ機能（機能、性能）		○		—					○			巻上げ及び巻下げでロードチェーンが円滑に巻取られること。メカニカルブレーキ装置があるものは、巻下げで、ブレーキに異常がないこと。
		38	○	横行機能（機能、性能）		○		—					○			横行は円滑で、操作をやめたとき、直ちに停止すること。
		39	○	始動（機能、性能）		—		—					○			定格荷重の90%の電圧で円滑に巻上げ、巻下げ又は横行すること。
		40	○	速度（機能、性能）		—		—					○			定格荷重で、巻上げ速度、横行速度が表示値内にあること。
		41	○	ブレーキ（機能、性能）		○		—					○			ブレーキは確実に作動し、荷の降下距離は、1分間における巻上げ距離の1%以下でなければならない。
	42	○	過巻防止（機能、性能）		○		—					○			過巻防止装置が確実に作動すること。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	選別設備メンテナンスホイスト（2）	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	・電動横行式電気チェーンブロック	1	○	銘板の表示		○		—					○			銘板の有無（諸元銘板、スイッチコード用注意銘板）
		2	○	種類（ロードチェーン）			—	○					○			ロードチェーンの種類の確認。
		3	○	ピッチの伸び（ロードチェーン）			○		○					○		ピッチが3%以上伸びているものは、使用しないこと。（使用前に基準寸法表を作成しておくこと。）
		4	○	摩耗（ロードチェーン）			○		○					○		線径の摩耗が5%以上のものは使用しないこと。
		5	○	キズ、その他有害な欠陥（ロードチェーン）			○		○					○		亀裂、その他有害な欠陥がないこと。
		6	○	変形（ロードチェーン）			○		○					○		変形がないこと。
		7	○	腐食（ロードチェーン）			○		○					○		著しくサビが発生していないこと。
		8	○	フックの開き（フック）			○		—					○		標準寸法と比較し、変形がないこと。（使用前に主要寸法表を作成しておくこと。）
		9	○	変形（フック）			○		—					○		曲がり及びねじれがないこと。
		10	○	外れ止め（フック）			○		—					○		著しい摩耗、変形がなく、正しく作動すること。
		11	○	シャンク部の変形（フック）			○		—					○		フック金具とシャンク部に著しいすきまがないこと。
		12	○	スイベル（フック）			○		—					○		円滑に360°回転すること。
		13	○	摩耗、腐食（フック）			○		—					○		著しい摩耗及び腐食がないこと。
		14	○	キズ、その他有害な欠陥（フック）			○		—					○		亀裂、その他有害な欠陥のないこと。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	選別設備メンテナンスホイスト（２）	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	・電動横行式電気チェーンブロック	15	○	フレーム（本体）		—		—					○			変形及び著しい腐食がないこと。	
		16	○	ギヤケース（本体）		—		—						○			著しい変形及び腐食がないこと。
		17	○	各部のナット、リベット、割ピン、スナップリングなど（本体）		○		—						○			定期点検では、外部及び内部のナット、リベット、割ピン、スナップリングの異常の有無。
		18	○	歯車（本体）		—		—						○			著しい摩耗がないこと。 破損がないこと。
		19	○	ロードシーブ、アイドルシーブ（本体）		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		20	○	チェーンガイド（本体）		—		—						○			著しい摩耗、変形及び破損がないこと。
		21	○	リミットレバー（本体）		—		—						○			著しい摩耗、変形及び破損がなく、円滑に作動すること。
		22	○	軸受（本体）		—		—						○			摩耗、キズ、破損など有害な欠陥がないこと。
		23	○	給油、グリースアップ（本体）		○		—						○			所定の箇所への補給、塗油及び給油の有無。
		24	○	ブレーキライニング、ブレーキディスク、ブレーキシュー（ブレーキ）		—		—						○			著しく摩耗したり、局部的に摩耗していないこと。キズ及び破損がないこと。 （製造業者の指示による。）
		25	○	ブレーキネジ（メカニカルブレーキ装置）（ブレーキ）		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		26	○	つめ及びつめ車（メカニカルブレーキ装置）（ブレーキ）		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		27	○	ブレーキばね（電磁ブレーキ装置）（ブレーキ）		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
	28	○	オイルシール、防水シール（ブレーキ）		—		—						○			著しい変形及び破損がないこと。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	選別設備メンテナンスホイスト(2)	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	・電動横行式電気チェーンブロック	29	○	電動機（電動機）		—		—					○			過熱されておらず、絶縁が良好であること。
		30	○	電装品（電磁接触器、電磁開閉器、変圧器、配線など） 横行装置（電動機）		—		—					○			過熱されておらず、絶縁が良好で操作が円滑であること。配線は確実であること。電装品の接点に異常がないこと。
		31	○	横行装置（横行装置）		—		—					○			本体との結合、歯車、ブレーキ、車輪手鎖などに異常がないこと。
		32	○	横行装置各部のナット、リベット、割ピン、スナップリング （横行装置）		○		—					○			ナット、リベット、割ピン、スナップリング。定期点検では、外部及び内部の左記部品の異常の有無。
		33	○	給油、グリースアップ（横行装置）		○		—					○			所定の箇所への補給、塗油及び、給油の有無。
		34	○	外観（押ボタンスイッチ、コード）		○		—					○			変形、破損、ネジの緩みなどがないこと。表示が明確であること。
		35	○	スイッチ操作（押ボタンスイッチ、コード）		○		—					○			正しくスイッチが作動すること。インターロックが正しく作動すること。
		36	○	接地（電源接続）		○		—					○			完全に接地していること。
		37	○	巻上げ、巻下げ機能（機能、性能）		○		—					○			巻上げ及び巻下げでロードチェーンが円滑に巻取られること。メカニカルブレーキ装置があるものは、巻下げで、ブレーキに異常がないこと。
		38	○	横行機能（機能、性能）		○		—					○			横行は円滑で、操作をやめたとき、直ちに停止すること。
		39	○	始動（機能、性能）		—		—					○			定格荷重の90%の電圧で円滑に巻上げ、巻下げ又は横行すること。
		40	○	速度（機能、性能）		—		—					○			定格荷重で、巻上げ速度、横行速度が表示値内にあること。
		41	○	ブレーキ（機能、性能）		○		—					○			ブレーキは確実に作動し、荷の降下距離は、1分間における巻上げ距離の1%以下でなければならない。
	42	○	過巻防止（機能、性能）		○		—					○			過巻防止装置が確実に作動すること。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	ジブクレーン	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
	電動旋回式ポスト形ジブクレーン	1	○	銘板の表示		○		—					○			銘板の有無（諸元銘板、スイッチコード用注意銘板）
		2	○	アームの傾き		○		—					○			アームが回転しないこと。
		3	○	トロリ走行面の摩耗			—	○					○			著しい摩耗がないこと。
		4	○	キズ、その他有害な欠陥（本体）		○		—					○			亀裂、その他有害な欠陥がないこと。
		5	○	変形（本体）		○		—					○			変形がないこと。
		6	○	腐食（本体）		○		—					○			著しくサビが発生していないこと。
		7	○	各部のナット、リベット、割ピン、スナップリングなど（本体）		○		—					○			定期点検では、外部及び内部のナット、リベット、割ピン、スナップリングの異常の有無。
		8	○	歯車（本体）			—	—					○			著しい摩耗がないこと。 破損がないこと。
		9	○	ローラ（本体）			—	—					○			著しい摩耗がないこと。 破損がないこと。
		10	○	旋回リミットスイッチ		○		—					○			著しい摩耗、変形及び破損がなく、円滑に作動すること。
		11	○	軸受（本体）			—	—					○			摩耗、キズ、破損など有害な欠陥がないこと。
		12	○	給油、グリースアップ（本体）		○		—					○			所定の箇所への補給、塗油及び給油の有無。
		13	○	電動機（電動機）			—	—					○			過熱されておらず、絶縁が良好であること。
		14	○	旋回機能（機能、性能）		○		—					○			旋回は円滑で、異常な音がしないこと。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	ジブクレーン	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	電動横式電気チェーンブロック	1	○	銘板の表示		○		—					○				銘板の有無（諸元銘板、スイッチコード用注意銘板）
		2	○	種類（ロードチェーン）		—		○					○				ロードチェーンの種類の確認。
		3	○	ピッチの伸び（ロードチェーン）		○		○					○				ピッチが3%以上伸びているものは、使用しないこと。（使用前に基準寸法表を作成しておくこと。）
		4	○	摩耗（ロードチェーン）		○		○					○				線径の摩耗が5%以上のものは使用しないこと。
		5	○	キズ、その他有害な欠陥（ロードチェーン）		○		○					○				亀裂、その他有害な欠陥がないこと。
		6	○	変形（ロードチェーン）		○		○					○				変形がないこと。
		7	○	腐食（ロードチェーン）		○		○					○				著しくサビが発生していないこと。
		8	○	フックの開き（フック）		○		—					○				標準寸法と比較し、変形がないこと。（使用前に主要寸法表を作成しておくこと。）
		9	○	変形（フック）		○		—					○				曲がり及びねじれがないこと。
		10	○	外れ止め（フック）		○		—					○				著しい摩耗、変形がなく、正しく作動すること。
		11	○	シャンク部の変形（フック）		○		—					○				フック金具とシャンク部に著しいすきまがないこと。
		12	○	スイベル（フック）		○		—					○				円滑に360°回転すること。
		13	○	摩耗、腐食（フック）		○		—					○				著しい摩耗及び腐食がないこと。
		14	○	キズ、その他有害な欠陥（フック）		○		—					○				亀裂、その他有害な欠陥のないこと。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	ジブクレーン	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	電動横行式電気チェーンブロック	15	○	フレーム（本体）		—		—					○			変形及び著しい腐食がないこと。	
		16	○	ギヤケース（本体）		—		—						○			著しい変形及び腐食がないこと。
		17	○	各部のナット、リベット、割ピン、スナップリングなど（本体）		○		—						○			定期点検では、外部及び内部のナット、リベット、割ピン、スナップリングの異常の有無。
		18	○	歯車（本体）		—		—						○			著しい摩耗がないこと。 破損がないこと。
		19	○	ロードシーブ、アイドルシーブ（本体）		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		20	○	チェーンガイド（本体）		—		—						○			著しい摩耗、変形及び破損がないこと。
		21	○	リミットレバー（本体）		—		—						○			著しい摩耗、変形及び破損がなく、円滑に作動すること。
		22	○	軸受（本体）		—		—						○			摩耗、キズ、破損など有害な欠陥がないこと。
		23	○	給油、グリースアップ（本体）		○		—						○			所定の箇所への補給、塗油及び給油の有無。
		24	○	ブレーキばね（電磁ブレーキ装置）（ブレーキ）		—		—						○			著しい摩耗、変形、キズ及び破損がないこと。
		25	○	オイルシール、防水シール（ブレーキ）		—		—						○			著しい変形及び破損がないこと。
		26	○	電動機（電動機）		—		—						○			過熱されておらず、絶縁が良好であること。
		27	○	電装品（電磁接触器、電磁開閉器、変圧器、配線など） 横行装置（電動機）		—		—						○			過熱されておらず、絶縁が良好で操作が円滑であること。配線は確実であること。電装品の接点に異常がないこと。
	28	○	横行装置（横行装置）		—		—						○			本体との結合、歯車、ブレーキ、車輪手鎖などに異常がないこと。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	ジブクレーン	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル											点検結果に対して 整備が必要となる基準		
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	電動横行式電気チェーンブロック	29	○	横行装置各部のナット、リベット、割ピン、スナップリング (横行装置)		○		—						○			ナット、リベット、割ピン、スナップリング。定期点検では、外部及び内部の左記部品の異常の有無。
		30	○	給油、グリースアップ(横行装置)		○		—						○			所定の箇所への補給、塗油及び、給油の有無。
		31	○	外観(押ボタンスイッチ、コード)		○		—						○			変形、破損、ネジの緩みなどがないこと。表示が明確であること。
		32	○	スイッチ操作(押ボタンスイッチ、コード)		○		—						○			正しくスイッチが作動すること。インターロックが正しく作動すること。
		33	○	接地(電源接続)		○		—						○			完全に接地していること。
		34	○	巻上げ、巻下げ機能(機能、性能)		○		—						○			巻上げ及び巻下げでロードチェーンが円滑に巻取られること。メカニカルブレーキ装置があるものは、巻下げで、ブレーキに異常がないこと。
		35	○	横行機能(機能、性能)		○		—						○			横行は円滑で、操作をやめたとき、直ちに停止すること。
		36	○	始動(機能、性能)		—		—						○			定格荷重の90%の電圧で円滑に巻上げ、巻下げ又は横行すること。
		37	○	速度(機能、性能)		—		—						○			定格荷重で、巻上げ速度、横行速度が表示値内にあること。
		38	○	ブレーキ(機能、性能)		○		—						○			ブレーキは確実に作動し、荷の降下距離は、1分間における巻上げ距離の1%以下でなければならない。
		39	○	過巻防止(機能、性能)		○		—						○			過巻防止装置が確実に作動すること。
		40	○	ロードリミッタ		—		○						○			所定の負荷でロードリミッタが作動すること。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

6 - (1)

設備名	前処理設備	
装置名	可燃・不燃・溶融不要物・切断・ドラム缶反転防臭ダンバ	1 / 1

整備・点検リスト /

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル										点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	防臭ダンバ	1	○ 損傷の有無		○												目視にて大きな損傷無し
	パワーシリンダ	2	○ 損傷の有無		○												目視にて大きな損傷無し
	ベルト	3	○ 張り				○										スパナ
	駆動部ベース	4	○ B.Nゆるみ (軸受部)			○											スパナ
	ケーシング	5	○ 清掃・点検				○										
	軸受部	6	○ 温度			○											触手 (運転後)
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。

2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。

3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

株式会社クボタ

様式No. SE4-0424・

設備名	前処理設備	
装置名	溶融炉投入クレーン	1 / 3

整備・点検リスト	1 / 3
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル							点検結果に対して 整備が必要となる基準								
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月		毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	走行レール関係	1	○	走行範囲内の障害物の確認		○													
		2	○	レールの曲がり、変形の有無				○											スパン±3mm
		3	○	ストッパの変形、取付ボルトの緩みの有無				○											
		4	○	レールの異常摩耗、傷、損傷の有無				○											
2	ワイヤロープ関係	1	○	素線の断線、キンクの有無		○													1よりの間の素線の断線数10%
		2	○	吊り上げ可動範囲内の障害物の有無		○													
		3	○	ロープエンドの異常の有無				○											
		4	○	グリースの塗布の確認				○											
		5	○	著しい形くずれ、腐食の有無				○											
		6	○	摩耗状況				○											
3	ガーダ及び、サドル関係	1	○	ガーダとサドルの取付ボルトの緩みの確認						○									
		2	○	ギヤ歯車及び車輪の給油状況の良否				○											
		3	○	走行車輪の踏み面、フランジの異常摩耗、傷の有無						○									
		4	○	サドルバッファの固定状況						○									

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	溶融炉投入クレーン	2 / 3

整備・点検リスト	2 / 3
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル							点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月		毎年	2ヶ年	3ヶ年
		5	○	走行電動機、減速機取付ボルトの緩みの有無						○				
		6	○	構造部材の亀裂、損傷								○		
4	巻上機械装置関係	1	○	カップリングの亀裂、損傷、軸芯の通りの確認								○		
		2	○	ブレーキライニングの摩耗、表面の傷の有無								○		厚さが3mmまで又は、原寸厚さの70%まで
		3	○	ブレーキディスクの異常摩耗、損傷の有無								○		原寸の10%
		4	○	減速機の油漏れ、油の汚れ								○		
		5	○	減速機の発熱、異音								○		
		6	○	巻上ドラム溶接部の亀裂								○		
		7	○	巻上ドラム溝部の摩耗								○		
5	油圧バケット関係	1	◎	各軸受部グリスニップル清掃後給脂		○								
		2	○	異常音の有無		○								
		3	○	作動油量の確認		○								
		4	○	吊り具の変形の有無		○								
		5	○	ケーブルの損傷の有無		○								

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	前処理設備	
装置名	溶融炉投入クレーン	3 / 3

整備・点検リスト	3 / 3
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル							点検結果に対して 整備が必要となる基準							
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月		毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		6	○							○								
		7	○							○								
		8	○							○								
		9	○					○										
		10	○					○										
6	操作関係	1	○			○												
		2	○			○												
7	電動機、電気品、その他	1	○									○						
		2	○										○					接点の摩耗状況 締め付けネジの緩み
		3	○										○					
		4	○										○					1MΩ以上

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	可燃物・不燃物供給ホッパ	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名		整備・点検項目		整備・点検サイクル								点検結果に対して 整備が必要となる基準						
			No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年		2ヶ年	3ヶ年				
1	ホッパ		1	○	外観（歪み・腐食等）		○										異常が認められる場合		
			2	○	点検口		○											シール不足がある場合	
2	レーキ	外部	1	○	外観（歪み・腐食等）		○											作動に支障を来す恐れがある場合	
			2	○	動作（異音・振動等）		○											異音振動等が発生している場合	
			3	○	ボルト結合部の締結状態								○						ボルトの緩み等がある場合
			4	○	油圧シリンダーの取付状態		○												ボルトの緩み等がある場合
		油圧シリンダー	5	○	シリンダーチューブ、ロッドブッシュ内面、摺動面 ピストンロッド、ピストンの摺動面								○					キズ等が発生がある場合	
	6		○	シール部（パッキン、ガスケット）									○					はみ出し・ちじれ等が発生した場合	
	7		○	ロッドカバー、エンドカバー									○					割れが発生した場合	
3	スクリーコンベヤ		1	○	外観（歪み・腐食等）		○											作動に支障を来す恐れがある場合	
			2	○	動作（異音・振動等）		○											異音振動等が発生している場合	
			3	○	ボルト結合部の締結状態									○					ボルトの緩み等がある場合
			4	○	サイクロ減速機の取付状態		○												ボルトの緩み等がある場合
			5	○	電流値		○												定格値以上の電流がある場合
			6	○	ベアリングの取付状態		○												ボルトの緩み等がある場合
			7	○	駆動チェーン取付状態				○										チェーンの張り具合がピッチの2% 以上ある場合
			8	○	駆動チェーンホイールの摩耗					○									乗り上げ発生の場合
			9	○	キー（ホイール類取付部）				○										緩みが発生した場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	供給ホップ駆動用油圧ユニット	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	可燃物供給ホップ用油圧装置 不燃物供給ホップ用油圧装置	1	○	オイルタンクの油量は適正か		○											フロートスイッチにより電氣的に、 下限警報がでる	
		2	○	油圧ユニット、電磁弁、アクチュエータ、配管など油漏れはないか		○												油が漏れているとき
		3	○	圧力計の指針は、初期設定と同じか		○												設定圧力と違う場合
		4	○	ポンプなどの音が、大きくなっていないか		○												初期の音に比べ大きい、又異音がする
		5	◎	作動油の汚れはないか						○		◎						変色、タンクの底に水、スラッジがたまる
		6	○	サクシヨンストレーナが目詰まりはないか		○						◎						音が大きくなる
		7	○	リタンフィルターが詰まっているか		○						◎						詰まると目視インジケータに表示される
		8	○	アクチュエータが作動しているか、速度が極端に変わっていないか		○												必要な速度が出ないとき
		9	○	タンク内作動油温度は高くないか		○												温度計が65℃を越えているとき
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	処理物混合コンベヤ（2台）	1 / 4

整備・点検リスト	1 / 13
----------	--------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	コンベヤチェーン	1	○	コンベヤチェーンの異常振動点検		○											チェーンが異常に振動している場合	
		2	○	コンベヤチェーンの張り加減点検				○										異常な弛みがある場合
		3	○	コンベヤチェーンの屈曲性点検				○										屈曲不良のある場合・給油不足の場合
		4	○	コンベヤチェーンの脈動点検		○												チェーンが脈動する場合
		5	○	輸送物の搬送状態点検		○												輸送物が片荷となっている場合
		6	○	コンベヤチェーンの浮き上がり点検		○												水平部でチェーンローラがレールから離れている場合
		7	◎	コンベヤチェーンのテークアップ張り調整				○										チェーンに異常な弛み・片寄りがある場合
		8	◎	コンベヤチェーンの伸び率の測定								○						伸び率が2%以上の場合
		9	○	コンベヤチェーンのローラ部回転点検		○												ローラに回転不良がある場合・給油不足の場合
		10	○	コンベヤチェーンのローラ外径・摩耗量測定								○						著しい変形・破損がある場合
		11	○	コンベヤチェーンのローラ内径・摩耗量測定									○					著しい変形・破損がある場合
		12	○	コンベヤチェーンのピン・ブシュ・摩耗量測定									○					著しい変形・破損がある場合
		13	○	コンベヤチェーンのプレートの変形・破損等以上点検								○						著しい変形・破損がある場合
		14	○	コンベヤチェーンのプレート・摩耗量測定									○					板厚の1/3が摩耗している場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	処理物混合コンベヤ（2台）	2 / 4

整備・点検リスト	2 / 13
----------	--------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	コンベヤチェーン	15	○	コンベヤチェーンのTピン・外れ点検				○									Tピンが脱落している場合
		16	○	コンベヤチェーンのTピン・摩耗点検								○					Tピンが著しく摩耗している場合
2	エプロン	1	○	エプロンの変形・摩耗・脱落・輸送物の付着点検				○									エプロンに著しい異常がある場合
		2	○	エプロンの取付ボルトの弛み・脱落实点検								○					取付ボルトに弛み・脱落がある場合
3	ローラチェーン	1	○	ローラチェーンの動き点検		○											チェーンが異常な動きをする場合
		2	○	ローラチェーンの屈曲不良点検								○					チェーンに屈曲不良がある場合
		3	○	ローラチェーンのリンクプレート破損点検									○				プレートに傷・ヒビがある場合
		4	○	ローラチェーンの伸び率測定									○				伸び率が2%以上の場合
		5	◎	ローラチェーンの給油				○									潤滑油が不足している場合
		6	◎	ローラチェーンの破損点検									○				チェーンにヒビ・亀裂がある場合
4	スプロケット	1	○	スプロケットとチェーンの噛み合い点検				○									チェーンのプレートとスプロケットが干渉する場合
		2	○	スプロケットの歯面摩耗量測定								○					摩耗量がコンベヤチェーンピッチの3%以上の場合
		3	○	スプロケット固定用セットボルトの弛み点検								○					セットボルトが弛んでいる場合
5	駆動部ダストシール	1	○	駆動部ダストシールの漏れ点検				○								輸送物が漏れている場合	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	処理物混合コンベヤ（2台）	3 / 4

整備・点検リスト	3 / 13
----------	--------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準		
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年			
5	駆動部ダストシール	2	○	駆動部ダストシールの押さえボルトの弛み点検								○				ボルトが緩んでいる場合
		3	◎	駆動部ダストシールのグランドパッキン交換									○			パッキンの押さえ代がなくなった場合
6	駆動部軸受	1	○	駆動軸受の発熱点検				○								異常発熱している場合
		2	○	駆動軸受の取付ボルト弛み点検								○				ボルトが弛んでいる場合
		3	◎	駆動軸受のベアリング交換											○	
7	モータ・減速機	1	○	モータの電流値点検		○										電流値が異常に高い場合
		2	○	モータ・減速機の発熱点検				○								異常発熱している場合
		3	◎	減速機のグリース補給・交換								○				
8	ケース	1	○	投入部・排出部シュートの摩耗点検									○			穴が開き、輸送物が漏れている場合
		2	○	ケースのレール・底板ライナーの摩耗状態点検								○				摩耗が進み、レール・ライナーが外れてしまう場合
		3	○	ケース支持架台の基礎ボルトの弛み点検									○			ボルトが弛んでいる場合
9	従動部ダストシール	1	○	従動部ダストシールの漏れ点検				○								輸送物が漏れている場合
		2	○	従動部ダストシールの押さえボルトの弛み点検								○				ボルトが弛んでいる場合
		3	◎	従動部ダストシールのグランドパッキン交換									○			パッキンの押さえ代がなくなった場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	処理物混合コンベヤ（2台）	4 / 4

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
10	従動部軸受	1	○	従動軸受の発熱点検				○									異常発熱している場合
		2	○	従動軸受の取付ボルト弛み点検							○						ボルトが弛んでいる場合
		3	◎	従動軸受のベアリング交換												○	
	以下余白																

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	第1溶融炉投入コンベヤ(2台)	1/4

整備・点検リスト	5/13
----------	------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	コンベヤチェーン	1	○	コンベヤチェーンの異常振動点検		○											チェーンが異常に振動している場合	
		2	○	コンベヤチェーンの張り加減点検				○										異常な弛みがある場合
		3	○	コンベヤチェーンの屈曲性点検				○										屈曲不良のある場合・給油不足の場合
		4	○	コンベヤチェーンの脈動点検		○												チェーンが脈動する場合
		5	○	輸送物の搬送状態点検		○												輸送物が片荷となっている場合
		6	○	コンベヤチェーンの浮き上がり点検		○												水平部でチェーンローラがレールから離れている場合
		7	◎	コンベヤチェーンのテークアップ張り調整				○										チェーンに異常な弛み・片寄りがある場合
		8	◎	コンベヤチェーンの伸び率の測定								○						伸び率が2%以上の場合
		9	○	コンベヤチェーンのローラ部回転点検		○												ローラに回転不良がある場合・給油不足の場合
		10	○	コンベヤチェーンのローラ外径・摩耗量測定								○						著しい変形・破損がある場合
		11	○	コンベヤチェーンのローラ内径・摩耗量測定									○					著しい変形・破損がある場合
		12	○	コンベヤチェーンのピン・ブシュ・摩耗量測定									○					著しい変形・破損がある場合
		13	○	コンベヤチェーンのプレートの変形・破損等以上点検									○					著しい変形・破損がある場合
		14	○	コンベヤチェーンのプレート・摩耗量測定										○				板厚の1/3が摩耗している場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	第1溶融炉投入コンベヤ(2台)	2/4

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	コンベヤチェーン	15	○	コンベヤチェーンのTピン・外れ点検				○									Tピンが脱落している場合
		16	○	コンベヤチェーンのTピン・摩耗点検								○					Tピンが著しく摩耗している場合
2	エプロン	1	○	エプロンの変形・摩耗・脱落・輸送物の付着点検				○									エプロンに著しい異常がある場合
		2	○	エプロンの取付ボルトの弛み・脱落实点検								○					取付ボルトに弛み・脱落がある場合
3	ローラチェーン	1	○	ローラチェーンの動き点検		○											チェーンが異常な動きをする場合
		2	○	ローラチェーンの屈曲不良点検								○					チェーンに屈曲不良がある場合
		3	○	ローラチェーンのリンクプレート破損点検									○				プレートに傷・ヒビがある場合
		4	○	ローラチェーンの伸び率測定									○				伸び率が2%以上の場合
		5	◎	ローラチェーンの給油				○									潤滑油が不足している場合
		6	◎	ローラチェーンの破損点検									○				チェーンにヒビ・亀裂がある場合
4	スプロケット	1	○	スプロケットとチェーンの噛み合い点検				○									チェーンのプレートとスプロケットが干渉する場合
		2	○	スプロケットの歯面摩耗量測定								○					摩耗量がコンベヤチェーンピッチの3%以上の場合
		3	○	スプロケット固定用セットボルトの弛み点検								○					セットボルトが弛んでいる場合
5	駆動部ダストシール	1	○	駆動部ダストシールの漏れ点検				○								輸送物が漏れている場合	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	第1溶融炉投入コンベヤ(2台)	3/4

整備・点検リスト	7/13
----------	------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
5	駆動部ダストシール	2	○	駆動部ダストシールの押さえボルトの弛み点検									○				ボルトが緩んでいる場合
		3	◎	駆動部ダストシールのグランドパッキン交換										○			パッキンの押さえ代がなくなった場合
6	駆動部軸受	1	○	駆動軸受の発熱点検				○									異常発熱している場合
		2	○	駆動軸受の取付ボルト弛み点検								○					ボルトが弛んでいる場合
		3	◎	駆動軸受のベアリング交換												○	
7	モータ・減速機	1	○	モータの電流値点検		○											電流値が異常に高い場合
		2	○	モータ・減速機の発熱点検				○									異常発熱している場合
		3	◎	減速機のグリース補給・交換								○					
8	ケース	1	○	投入部・排出部シュートの摩耗点検										○			穴が開き、輸送物が漏れている場合
		2	○	ケースのレール・底板ライナーの摩耗状態点検								○					摩耗が進み、レール・ライナーが外れてしまう場合
		3	○	ケース支持架台の基礎ボルトの弛み点検										○			ボルトが弛んでいる場合
9	従動部ダストシール	1	○	従動部ダストシールの漏れ点検				○									輸送物が漏れている場合
		2	○	従動部ダストシールの押さえボルトの弛み点検								○					ボルトが弛んでいる場合
		3	◎	従動部ダストシールのグランドパッキン交換										○			パッキンの押さえ代がなくなった場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	第1溶融炉投入コンベヤ(2台)	4 / 4

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
10	従動部軸受	1	○	従動軸受の発熱点検				○									異常発熱している場合
		2	○	従動軸受の取付ボルト弛み点検								○					ボルトが弛んでいる場合
		3	◎	従動軸受のベアリング交換												○	
	以下余白																

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	第3溶融炉投入コンベヤ(4台)	1/4

整備・点検リスト	10/13
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	コンベヤチェーン	1	○	コンベヤチェーンの異常振動点検		○											チェーンが異常に振動している場合	
		2	○	コンベヤチェーンの張り加減点検				○										異常な弛みがある場合
		3	○	コンベヤチェーンの屈曲性点検				○										屈曲不良のある場合・給油不足の場合
		4	○	コンベヤチェーンの脈動点検		○												チェーンが脈動する場合
		5	○	輸送物の搬送状態点検		○												輸送物が片荷となっている場合
		6	○	コンベヤチェーンの浮き上がり点検		○												水平部でチェーンローラがレールから離れている場合
		7	◎	コンベヤチェーンのテークアップ張り調整				○										チェーンに異常な弛み・片寄りがある場合
		8	◎	コンベヤチェーンの伸び率の測定								○						伸び率が2%以上の場合
		9	○	コンベヤチェーンのローラ部回転点検		○												ローラに回転不良がある場合・給油不足の場合
		10	○	コンベヤチェーンのローラ外径・摩耗量測定								○						著しい変形・破損がある場合
		11	○	コンベヤチェーンのローラ内径・摩耗量測定									○					著しい変形・破損がある場合
		12	○	コンベヤチェーンのピン・ブシュ・摩耗量測定									○					著しい変形・破損がある場合
		13	○	コンベヤチェーンのプレートの変形・破損等以上点検								○						著しい変形・破損がある場合
		14	○	コンベヤチェーンのプレート・摩耗量測定									○					板厚の1/3が摩耗している場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	第3溶融炉投入コンベヤ(4台)	2/4

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	コンベヤチェーン	15	○	コンベヤチェーンのTピン・外れ点検				○									Tピンが脱落している場合
		16	○	コンベヤチェーンのTピン・摩耗点検								○					Tピンが著しく摩耗している場合
2	エプロン	1	○	エプロンの変形・摩耗・脱落・輸送物の付着点検				○									エプロンに著しい異常がある場合
		2	○	エプロンの取付ボルトの弛み・脱落实点検								○					取付ボルトに弛み・脱落がある場合
3	ローラチェーン	1	○	ローラチェーンの動き点検		○											チェーンが異常な動きをする場合
		2	○	ローラチェーンの屈曲不良点検								○					チェーンに屈曲不良がある場合
		3	○	ローラチェーンのリンクプレート破損点検									○				プレートに傷・ヒビがある場合
		4	○	ローラチェーンの伸び率測定									○				伸び率が2%以上の場合
		5	◎	ローラチェーンの給油				○									潤滑油が不足している場合
		6	◎	ローラチェーンの破損点検									○				チェーンにヒビ・亀裂がある場合
4	スプロケット	1	○	スプロケットとチェーンの噛み合い点検				○									チェーンのプレートとスプロケットが干渉する場合
		2	○	スプロケットの歯面摩耗量測定								○					摩耗量がコンベヤチェーンピッチの3%以上の場合
		3	○	スプロケット固定用セットボルトの弛み点検								○					セットボルトが弛んでいる場合
5	駆動部ダストシール	1	○	駆動部ダストシールの漏れ点検				○								輸送物が漏れている場合	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	第3溶融炉投入コンベヤ(4台)	3/4

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準		
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年			
5	駆動部ダストシール	2	○	駆動部ダストシールの押さえボルトの弛み点検								○				ボルトが緩んでいる場合
		3	◎	駆動部ダストシールのグランドパッキン交換									○			パッキンの押さえ代がなくなった場合
6	駆動部軸受	1	○	駆動軸受の発熱点検				○								異常発熱している場合
		2	○	駆動軸受の取付ボルト弛み点検								○				ボルトが弛んでいる場合
		3	◎	駆動軸受のベアリング交換											○	
7	モータ・減速機	1	○	モータの電流値点検		○										電流値が異常に高い場合
		2	○	モータ・減速機の発熱点検				○								異常発熱している場合
		3	◎	減速機のグリース補給・交換								○				
8	ケース	1	○	投入部・排出部シュートの摩耗点検									○			穴が開き、輸送物が漏れている場合
		2	○	ケースのレール・底板ライナーの摩耗状態点検								○				摩耗が進み、レール・ライナーが外れてしまう場合
		3	○	ケース支持架台の基礎ボルトの弛み点検									○			ボルトが弛んでいる場合
9	従動部ダストシール	1	○	従動部ダストシールの漏れ点検				○								輸送物が漏れている場合
		2	○	従動部ダストシールの押さえボルトの弛み点検								○				ボルトが弛んでいる場合
		3	◎	従動部ダストシールのグランドパッキン交換									○			パッキンの押さえ代がなくなった場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	第3溶融炉投入コンベヤ(4台)	4/4

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
10	従動部軸受	1	○	従動軸受の発熱点検				○									異常発熱している場合
		2	○	従動軸受の取付ボルト弛み点検							○						ボルトが弛んでいる場合
		3	◎	従動軸受のベアリング交換												○	
	以下余白																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	第2溶融炉投入コンベヤ（2台）	1 / 1

整備・点検リスト	9 / 13
----------	--------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
第2溶融炉投入コンベヤ (ベルトコンベヤ)	1	○	ヘッドプーリー軸受の回転状態		○												異音が常時発生する場合は交換
	2	○	テールプーリー軸受の回転状態		○												同 上
	3	○	スナッププーリー軸受の回転状態		○												同 上
	4	○	ローラーの回転状態		○												同 上
	5	○	電動機の発熱			○											潤滑油切れの場合は給油 内部損傷による場合は交換
	6	○	電動機の潤滑					○									点検期間で給油
	7	○	ベルトの損傷			○											ベルト損傷がさらに大きくなると 思われる場合に補修及び交換する
	8	○	クリーナーとベルトの接触状態			○											
	9	○	ベルトの蛇行		○												
	10	○	ローラーチェーンの潤滑			○											点検期間で給油
	11	○	スカートゴムの損傷			○											損傷が大きく、荷こぼれが発生する
	12	○	プーリー及びローラーのケークの付着			○											ケーク付着がはげしく、ケーク除去 してもローラー本体に腐食穴がある

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	溶融炉投入ダンパ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
	溶融炉投入ダンパ	1	○	溶融炉投入ダンパ運転時の異常音の有無確認	○													異物の混入 軸受等ボルトの緩み、脱落及び、ダンパ 板の脱落	
		2	○	軸受けの発生異音	○														軸受の破損
		3	○	ピロー形軸受ユニット補給						○									軸受の破損
		4	○	グラウンド部の点検	○														粉体の漏れ
		5	○	シリンダー部の取付ボルト及び、ダンパアームとレバー接続 ピン等の緩み、脱落の点検	○														シリンダーの動作
		6																	
		7																	
		8																	
		9																	
		10																	
		11																	
		12																	
		13																	
		14																	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融設備	
装置名	溶融炉	1/2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準								
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	停止時									
1	溶融炉本体・二次燃焼室	1	○	異常音はないか。		○																
		2	○	異常振動はないか。		○																
		3	○	各部冷却水量は適量か。		○																
		4	○	回転はスムーズか。		○																
		5	○	異常発熱はないか。		○																
		6	○	ガス漏れはないか。		○																
		7	○	水漏れはないか。		○																
		8	○	くすぶりはないか。															○			
		9	○	腐食はないか。																○		
		10	○	ダストの付着状態はどうか。																○	閉塞の方向にダストが堆積している場合。	
		11	○	温度計に損傷はないか。																	○	
		12	○	溶融面に異常はないか。																	○	大きな崩れ・切立ちがある場合。 「溶融炉詳細説明書」参照。
		13	○	スラグポートにつらはないか。																	○	「溶融炉詳細説明書」参照。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融設備	
装置名	溶融炉	2/2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル										点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	停止時						
2	旋回台・ピニオン	1	○	当り面に片寄りはないか。				○											
		2	○	低負荷で作動するか。					○										
		3	○	溶融炉給脂装置は作動しているか		○													
3	キャスタブル	1	○	耐火物表面に3mm以上のクラックが生じていないか。													○	3mm以下の場合でもクラックが不規則で互いに交叉している場合。	

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	後燃焼室	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	停止時						
1	後燃焼室、二次煙道	1	○	ガス漏れはないか。		○													
		2	○	異常発熱はないか。		○													
		3	○	耐火物に損傷はないか。												○	表面に3mm以上のクラックがある場合。 3mm以下の場合でもクラックが不規則で互いに交叉している場合。		
		4	○	ダストの付着状態はどうか。												○	閉塞の方向にダストが堆積している場合。 ダストが堆積し、灰排出装置の動作に支障をきたしている場合。		
		5	○	温度計に損傷はないか。												○			
		6	○	腐食はないか。												○			

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	後燃焼室ダスト排出装置	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

NO.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル										点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		NO.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	停止時							
1	後燃焼室ダスト排出装置 プッシャー	1	○	作動時の異常音、振動の有無確認		○														
		2	○	冷却水が流れているか確認		○														
		3	○	ロータリージョイントからの漏れがないかの確認		○														
		4	○	機側冷却水配管からの漏れがないかの確認		○														
		5	○	油圧シリンダ・油圧配管からの漏れがないか確認		○														
		6	○	グランドパッキン周りからの漏れが無いかの確認			○													
		7	○	軸受部・カムフォロア部のグリス注入の必要はないか確認			○													
		8	○	キャストの破損及び摩耗がないかの確認												○				表面に 3mm 以上のクラックが有る場合。3mm いかの場合でもクラックが不規則で互いに交叉している場合
		9	○	歪み及び塗装の状況											○					塗装面の割れ、剥がれ、変色がある場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	後燃焼室ダスト排出装置	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

NO.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		NO.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	停止時						
1	後燃焼室ダスト排出装置 ゲート	1	○	作動時の異常音、振動の有無確認		○													
		2	○	冷却水が流れているか確認		○													
		3	○	機側冷却水配管からの漏れがないかの確認		○													
		4	○	油圧シリンダ・油圧配管からの漏れがないか確認		○													
		5	○	カムフォロア部のグリス注入の必要はないか 確認			○												
		6	○	キャスターの破損及び摩耗がないかの確認											○				表面に 3mm 以上のクラックが有る場合。 3mm いかの場合でもクラックが不規則で互いに交叉している場合
		7	○	歪み及び塗装の状況									○						塗装面の割れ、剥がれ、 変色がある場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融 設備	
装置名	炉回転駆動装置	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	炉回転駆動装置 減速機	1	騒音		○												異常音または音の急激な変化がないか
		2	振動		○												振動が異常に大きくないか。 また、急激な変化がないか。
		3	表面温度		○												表面温度が異常に高くないか。 また、急激に上昇していないか。 (ギヤ部の表面温度の差が60deg程度でも 変動が少なければ問題はありません)
		4	オイルレベル		○												停止時…停止時に油面がオイルゲージの上 側赤線位置にあるか。 運転中…安定時のオイルレベルに比べ油面が 大きく変化していないか。
		5	油・グリス漏れ		○												減速機部からの油、グリス漏れが生じてい ないか
		6	据付ボルト		○												据付ボルトに緩みが生じていないか
2	炉回転駆動装置 ピニオン	7	ピニオン歯車の潤滑		○												グリス切を起こしていないか
		8	ピニオン歯車の歯先		○												折損等がないか
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。





設備名	焼却・溶融設備	
装置名	天井用油圧シリンダ	/

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
1	天井昇降用油圧シリンダ	1	○	油圧シリンダが作動するか 速度が変わっていないか		○											必要な速度が出ないとき		
		2	○	油圧シリンダの油漏れはないか		○						◎					油が漏れているとき		
		3																	
		4																	
		5																	
		6																	
		7																	
		8																	
		9																	
		10																	
		11																	
		12																	
		13																	
		14																	

(注)  
1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	溶融炉給脂装置	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	ポンプユニット	1	○	グリスの量は適正か ペール缶が空になっていないか		○											警報ランプ点灯	
		2	○	ポンプユニット、分配弁、配管などグリス漏れはないか		○												グリスが漏れているとき
		3	○	ポンプなどの音が、大きくなっていないか		○												初期の音にくらべ大きい、又異音がする
		4	○	給脂箇所確実にグリスが送られているか		○												分配弁のインジケータの確認 給脂箇所の潤滑状態の目視
		5																
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼 却 ・ 溶 融 設備	
装置名	溶 融 炉	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年							
1	スラグポートストライカ用油圧シリンダ 二次燃焼室ストライカ用油圧シリンダ	1	○	油圧シリンダが作動するか 速度が変わっていないか		○												必要な速度が出ないとき		
		2	○	油圧シリンダの油漏れはないか		○							◎						油が漏れているとき	
		3																		
		4																		
		5																		
		6																		
		7																		
		8																		
		9																		
		10																		
		11																		
		12																		
		13																		
		14																		

- (注)
- 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
  - 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
  - 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	油圧ユニット	/

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	溶融炉駆動用油圧ユニット スラグコンベア駆動用油圧ユニット	1	○	オイルタンクの油量は適正か		○											フロートスイッチにより電氣的に、 下限警報がでる	
		2	○	油圧ユニット、電磁弁、アクチュエータ、配管など油漏れはないか		○												油が漏れているとき
		3	○	圧力計の指針は、初期設定と同じか		○												設定圧力と違う場合
		4	○	ポンプなどの音が、大きくなっていないか		○												初期の音に比べ大きい、又異音がする
		5	◎	作動油の汚れはないか						○		◎						変色、タンクの底に水、スラッジがたまる
		6	○	サクシヨンストレーナが目詰まりはないか		○						◎						音が大きくなる
		7	○	リタンフィルターが詰まっているか		○						◎						詰まると目視インジケータに表示される
		8	○	アクチュエータが作動しているか、速度が極端に変わっていないか		○												必要な速度が出ないとき
		9	○	タンク内作動油温度は高くないか		○												温度計が65℃を越えているとき 電気指令警報がでる
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	主燃焼バーナ・後燃焼バーナ	1/4

整備・点検リスト	1/4
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル					点検結果に対して 整備が必要となる基準	
		No.	区分	毎日	毎週	毎月	6ヶ月	毎年		
1	溶融炉バーナ	1	○	バーナ本体が腐食、焼損していないか。	○					腐食、焼損している。
		2	○	スプレヤの固定がゆるんでいないか。	○					固定がゆるんでいないこと。
		3	○	スプレヤ後部のグランドがゆるんでいないか。			○			グランドがゆるんでいないこと。
		4	○	スプレヤ先端のアトマイザが焼損、腐食していないか。 また、詰まっていないか。			○			焼損、腐食、詰まりがないこと。
		5	○	各配管、継手の接続部がゆるんでいないか。 また、流体の漏れがないか。	○					流体の漏れがないこと。
		6	○	燃焼状態に異常はないか。						排ガス測定値が異常でないこと。 黒煙の発生がないこと。
		7	○	異常音の発生はないか。						異常音の発生がないこと。
		8	○	燃焼量と燃焼空気量が正常であるか。						燃焼量、燃焼空気量の測定値が異常でないこと。
		9	○	各圧力計・流量計指示値が正常であるか。						各圧力計・流量計指示値が異常でないこと。
		10	○	パイロットバーナの着火性が良好であるか。			○			パイロットバーナが付着火し、失火信号がでる。
		11	○	メインバーナの着火性が良好であるか。			○			メインバーナが付着火し、失火信号がでる。
		12	○	各調節弁の弁開度確認	○					各調節弁の弁開度が異常でないこと。
		13	○	フレームアイの寿命の確認。			○			フレームアイ内のUVチューブ記載の使用期間が過ぎていないこと。
		14	◎	スプレヤ先端のアトマイザの清掃。			○			



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	主燃焼バーナ・後燃焼バーナ	2/4

整備・点検リスト	2/4
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル					点検結果に対して 整備が必要となる基準	
		No.	区分	毎日	毎週	毎月	6ヶ月	毎年		
1	溶融炉バーナ	15	◎	パイロットバーナ用着火電極の清掃。			○			
		16	◎	各ストレーナの清掃。			○			



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	主燃焼バーナ・後燃焼バーナ	3/4

整備・点検リスト	3/4
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル					点検結果に対して 整備が必要となる基準	
		No.	区分	毎日	毎週	毎月	6ヶ月	毎年		
2	後燃焼バーナ	1	○	バーナ本体が腐食、焼損していないか。	○					腐食、焼損している。
		2	○	スプレヤの固定がゆるんでいないか。	○					固定がゆるんでいないこと。
		3	○	スプレヤ後部のグラウンドがゆるんでいないか。			○			グラウンドがゆるんでいないこと。
		4	○	スプレヤ先端のアトマイザが焼損、腐食していないか。 また、詰まっていないか。			○			焼損、腐食、詰まりがないこと。
		5	○	各配管、継手の接続部がゆるんでいないか。 また、流体の漏れがないか。	○					流体の漏れがないこと。
		6	○	燃焼状態に異常はないか。						排ガス測定値が異常でないこと。 黒煙の発生がないこと。
		7	○	異常音の発生はないか。						異常音の発生がないこと。
		8	○	燃焼量と燃焼空気量が正常であるか。						燃焼量、燃焼空気量の測定値が異常でないこと。
		9	○	各圧力計・流量計指示値が正常であるか。						各圧力計・流量計指示値が異常でないこと。
		10	○	パイロットバーナの着火性が良好であるか。			○			パイロットバーナが付着火し、失火信号がでる。
		11	○	メインバーナの着火性が良好であるか。			○			メインバーナが付着火し、失火信号がでる。
		12	○	各調節弁の弁開度確認	○					各調節弁の弁開度が異常でないこと。
		13	○	フレームアイの寿命の確認。			○			フレームアイ内のUVチューブ記載の使用期間が過ぎていないこと。
		14	◎	スプレヤ先端のアトマイザの清掃。			○			



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	主燃焼バーナ・後燃焼バーナ	4/4

整備・点検リスト	4/4
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル					点検結果に対して 整備が必要となる基準	
		No.	区分	毎日	毎週	毎月	6ヶ月	毎年		
2	後燃焼バーナ	15	◎	パイロットバーナ用着火電極の清掃。			○			
		16	◎	各ストレーナの清掃。			○			

.....

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	溶融炉シールファン	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	溶融炉シールファン	1	○	異常振動の有無		○											振動許容値=257 $\mu$	
		2	○	軸受温度の確認		○												外気温+40℃
		3	○	防振ゴムの変形の有無									○					
		4																
		5																
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	供給装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル									点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
	キルン供給ホッパ切出装置	1	○	電流値		○											定格以上	
		2	○	異常音		○												異常音の発生時
		3	○	異常振動		○												異常振動の発生時
		4	○	軸受の発熱			○											周囲温度+4.0℃
		5	○	給油・給脂				○										点検サイクル時必ず
		6	○	ボルトの緩み				○										手で緩む
		7	○	グランドパッキンの締まり具合				○										パッキン部からの漏れ発生時
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

株式会社クボタ

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	供給装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	キルン投入コンベヤ	1	○	コンベヤチェーン					○								異常音発生時	
		2	○						○									異常音発生時
		3	○						○									回転不良の数が1割以上の時
		4	○								○							1.5%以上伸びた時
		5	○								○							
		6	○						○									脱落発生時
		7	○		フライト					○								異常音発生時
		8	○						○									輸送に影響がある時
		9	○								○							輸送に影響がある時
		10	○								○							輸送に影響がある時
		11	○		各ホイール					○								
		12	○							○								付着時
		13	○								○							異音発生時
		14	○		駆動部													定格以上

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

株式会社クボタ

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	供給装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	キルン投入コンベヤ	15	○ 駆動部	油量		○											低レベル以上の場合(サイクロ)	
		16	○		振動		○											異常振動発生時
		17	○		異常音		○											異常音発生時
		18	○		軸受の発熱			○										周囲温度+4.0℃
		19	○		ボルトの緩み		○											手で緩む
		20	○		ローラチェーンの磨耗						○							1.5%以上伸びた時
		21	○		グランドパッキンの縮まり具合				○									パッキン部からの漏れ発生時
		22																
		23																
		24																
		25																
		26																
		27																
		28																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	供給装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	キルン投入ダンパ	1	○ 異常音		○												異常音の発生時	
		2	○ 異常振動		○													異常振動の発生時
		3	○ 油漏れ(油圧シリンダ2式/基)		○													油漏れ発生時
		4	○ 軸受の発熱			○												周囲温度+4.0℃
		5	○ ボルトの緩み				○											手で緩む
		6	◎ 落鉱物の有無		○													毎日排出
		7	○ 熱による変形									○						変形発生時
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

株式会社クボタ

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	供給装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	キルン給じん装置	1	○	ブッシャ・シールゲート		○											異常音の発生時	
		2	○			○												異常振動の発生時
		3	○			○												油漏れ発生時
		4	○						○									手で緩む
		5	◎				○											毎日排出
		6	○											○				変形発生時
		7	○		ブッシャ									○				点検サイクル時必ず
		8	○											○				車輪溝部とレールのスキマが少ない時
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

株式会社クボタ

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	供給装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
	キルン給じん装置油圧ユニット	1	○ 異常音		○											異常音の発生時	
		2	○ 異常振動		○												異常振動の発生時
		3	○ 油漏れ		○												油漏れ発生時
		4	○ フィルターの目詰まり					○									フィルタの交換表示が出た時
		5	○ 油量の確認				○										レベル計“L”レベル付近の時
		6	○ 設定圧の確認				○										7 MP a ± 1 MP a
		7	○ 電流値				○										定格以上
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

株式会社クボタ

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	燃焼装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル										点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	ロータリーキルン	1	○ 電流値		○											定格以上	
		2	○ 異常音		○												異常音の発生時
		3	○ 異常振動		○												異常振動の発生時
		4	○ 軸受の発熱			○											周囲温度+40℃
		5	○ 給脂					○									点検サイクル時必ず
		6	○ ボルトの緩み					○									手で緩む
		7	○ シェルの上下方向(スラストローラ確認)					○									スラストローラのキシリ音発生時
		8	○ ガースギヤ、ピニオンの歯当り					○									歯当りがガースギヤ中の70%以下時
		9	○ タイヤ、ローラの踏面状況					○									縦、横縞が発生した時
		10	○ エヤシールの当り具合					○									シール部にスキマがある場合
		11	○ 溶接部の亀裂										○				亀裂発生時
		12	○ 熱による変形、損傷										○				変形、損傷発生時
		13	○ 耐火物の欠落										○				欠落発生時
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

株式会社クボタ

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	燃焼装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
	ロータリーキルン 1次燃焼空気用コントロールダンパ	1	○ 異常音		○												異常音の発生時	
		2	○ 異常振動		○													異常振動の発生時
		3	○ 磨耗・損傷									○						磨耗・損傷発生時
		4	○ ボルトの緩み								○							手で緩む
		5	○ 液体の漏れ		○													流体の漏れ時
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

株式会社クボタ

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	燃焼装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
	キルン後燃焼室 2次燃焼空気用コントロールダンパ	1	○ 異常音		○												異常音の発生時	
		2	○ 異常振動		○													異常振動の発生時
		3	○ 磨耗・損傷									○						磨耗・損傷発生時
		4	○ ボルトの緩み								○							手で緩む
		5	○ 液体の漏れ		○													流体の漏れ時
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

株式会社クボタ

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	焼却残渣搬送装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準							
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年						
	残渣冷却機	1	○	本体(トラフ、ジャケット)の亀裂、磨耗の有無の確認				○												
		2	◎	振動モータのグリス補給						○										
		3	○	振動数、振巾の確認				○												
		4	○	異音の有無				○												
		5	○	振動モータ電流値				○												
		6	○	エキスパンションの磨耗、破損確認						○										
		7																		
		8																		
		9																		
		10																		
		11																		
		12																		
		13																		
		14																		

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	焼却残渣搬送装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	第1 残渣搬送コンベヤ	1	○	コンベヤチェーン					○								異音発生時	
		2	○						○									異音発生時
		3	○						○									
		4	○								○							1.5%以上伸びた時
		5	○								○							
		6	○						○									脱落発生時
		7	○		フライト					○								異音発生時
		8	○						○									輸送に影響がある時
		9	○								○							輸送に影響がある時
		10	○								○							輸送に影響がある時
		11	○		各ホイール					○								
		12	○							○								付着時
		13	○								○							異音発生時
		14	○		駆動部													定格以上

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

株式会社クボタ

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	焼却残渣搬送装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	第1 残渣搬送コンベヤ	15	○	駆動部		○											低レベル以上の場合(サイクロ)	
		16	○			○												異常振動発生時
		17	○			○												異常音発生時
		18	○					○										周囲温度+4.0℃
		19	○				○											手で緩む
		20	○								○							1.5%以上伸びた時
		21	○						○									パッキン部からの漏れ発生時
		22	○		水冷ジャケット、配管				○									水漏れ発生時
		23	○						○									水漏れ発生時
		24																
		25																
		26																
		27																
	28																	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	焼却残渣搬送装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	第2残渣搬送コンベヤ	1	○	コンベヤチェーン		○			○								異音発生時時	
		2	○			○			○									異音発生時時
		3	○			○			○									
		4	○									○						1.5%以上伸びた時
		5	○				○		○		○							
		6	○				○		○									脱落発生時
		7	○		フライト		○		○									異音発生時時
		8	○				○		○									輸送に影響がある時
		9	○									○						輸送に影響がある時
		10	○									○						輸送に影響がある時
		11	○		各ホイール		○		○									
		12	○				○		○									付着時
		13	○									○						異音発生時
		14	○		駆動部		○											定格以上

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	焼却残渣搬送装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	第2 残渣搬送コンベヤ	15	○ 駆動部	油量		○											低レベル以上の場合(サイクロ)	
		16	○		振動		○											異常振動発生時
		17	○		異常音		○											異常音発生時
		18	○		軸受の発熱			○										周囲温度+4.0℃
		19	○		ボルトの緩み		○											手で緩む
		20	○		ローラチェーンの磨耗						○							1.5%以上伸びた時
		21	○		グランドパッキンの縮まり具合				○									パッキン部からの漏れ発生時
		22																
		23																
		24																
		25																
		26																
		27																
		28																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	焼却残渣搬送装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
	振動選別機	1	○			○													
		2	○							○									
		3	○					○											
		4	○				○												
		5	○								○								変形、磨耗
		6	◎						○										
		7	○						○										
		8	○							○									
		9	○							○									
		10																	
		11																	
		12																	
		13																	
		14																	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	焼却残渣搬送装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル									点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準										
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年									
	鉄分搬送コンベヤ	1	○	本体(トラフ)の亀裂、磨耗の有無の確認			○																
		2	○	ライナーの磨耗確認							○												
		3	○	フレキシブルジョイントの磨耗・破損確認					○														
		4	○	振動数、振巾の確認			○																
		5	○	異音の有無			○																
		6	○	振動モータ電流値			○																
		7																					
		8																					
		9																					
		10																					
		11																					
		12																					
		13																					
		14																					

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	ロータリーキルン設備	
装置名	焼却残渣搬送装置	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整 備 ・ 点 検 項 目		整 備 ・ 点 検 サ イ ク ル										点 検 結 果 に 対 し て 整 備 が 必 要 と な る 基 準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	異物パンカ 鉄分パンカ	1	○ 電流値		○												定格以上	
		2	○ 異常音		○													異常音発生時
		3	○ 異常振動		○													異常振動発生時
		4	○ 給脂					○										点検サイクル時必ず
		5	○ ボルトの緩み					○										手で緩む
		6	○ 開閉作動															スムーズに開閉しない時
		7	○ 固着物(ケーシング、ゲート)															排出が困難な時
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	焼却・溶融設備	
装置名	供給筒上部空間換気装置	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	供給筒吸引ファン	1	○	軸受グリースの補給				○										
		2	○	軸受振動の確認		○												振動許容値=180/1000mm以下(両振幅)
		3	○	インペラの腐食の有無									○					
		4	○	防振ゴムの変形の有無									○					
2	供給筒押込ファン	5	○	軸受グリースの補給				○										
		6	○	軸受振動の確認		○												振動許容値=180/1000mm以下(両振幅)
		7	○	インペラの腐食の有無									○					
		8	○	防振ゴムの変形の有無									○					

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。

2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。

3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	投入コンベヤ頂部空間換気装置	1 / 1

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	投入コンベヤ吸引ファン	1	○	軸受グリースの補給				○										
		2	○	軸受振動の確認		○												振動許容値=180/1000mm以下(両振幅)
		3	○	インペラの腐食の有無									○					
		4	○	防振ゴムの変形の有無									○					

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	投入コンベヤ頂部空間換気用調整ダンパ	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	第1 溶融炉投入コンベヤ空間換気用調整ダンパ 第3 溶融炉投入コンベヤ空間換気用調整ダンパ キルン投入コンベヤ空間換気用調整ダンパ	1	○	外観、目視による点検				○										
		2	○	ボルト・ナット類の緩み（機器全般）										○				緩みある場合増締め
		3	○	グラウンド部リークの確認									○					リークある場合増締めまたはパッキン交換
		4	○	作動音・開閉動作の確認										○				異音・動作不良の場合補修
		5	○	コントロールモータ内蔵ポテンショメータの点検										○				不良の場合交換

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	焼却・溶融設備	
装置名	供給筒上部空間換気用コントロールダンバ	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	供給筒押込ファン出口コントロールダンバ 供給筒吸引ファン出口コントロールダンバ	1	○	外観、目視による点検				○										
		2	○	ボルト・ナット類の緩み（機器全般）										○				緩みある場合増締め
		3	○	グラウンド部リークの確認									○					リークある場合増締めまたはパッキン交換
		4	○	作動音・開閉動作の確認										○				異音・動作不良の場合補修
		5	○	コントロールモータ内蔵ポテンショメータの点検										○				不良の場合交換

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	ボイラー	1/3

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	上下ドラム	1	◎	内面に付着物及び腐食部はないか									○				
		2	○	水漏れ、蒸気漏れはないか（外部よりの確認）		○											漏れが確認された時
2	管寄せ	1	◎	内面に付着物及び腐食部はないか									○				
		2	○	水漏れ、蒸気漏れはないか（外部よりの確認）		○											漏れが確認された時
3	水管	1	◎	内面に付着物及び腐食部はないか									○				
		2	◎	外面に付着物及び腐食部はないか						○							異常が確認された時
		3	○	水漏れ、蒸気漏れはないか （外部よりの確認及び流量計での差による確認）		○											漏れが確認された時
4	主蒸気止弁	1	○	フランジ部及びグランド部より蒸気漏れはないか		○											
		2	◎	弁体及び弁座に傷はないか									○				
5	給水止弁	1	○	フランジ部及びグランド部より漏れはないか		○											
		2	◎	弁体及び弁座に傷はないか									○				
6	ブロー弁	1	○	フランジ部及びグランド部より漏れはないか		○											
		2	◎	弁体及び弁座に傷はないか									○				

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	
装置名	ボイラー

2/3

整備・点検リスト

/

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
7	低水位遮断器	1	○	フランジ部より漏れはないか		○											
		2	◎	フロートに変形はないか								○					
		3	○	設定値にて正常に作動するか		○											
8	圧力計	1	○	圧力指示は正常か		○											
		2	○	圧力計接続部より漏れはないか		○											
9	温度計	1	○	温度指示は正常か		○											
		2	○	温度計接続部より漏れはないか		○											
10	水面計	1	○	水面計ガラスは水位がはっきり見えているか		○											
		2	○	水面計バルブのフランジ部及びグランド部等より漏れはないか		○											
11	安全弁	1	○	弁座部より蒸気漏れはないか		○											
		2	○	設定圧力にて正常に作動するか		○											
		3	◎	弁体及び弁座に傷はないか								○					

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。

2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。

3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名		
装置名	ボイラー	3/3

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年							
12	ボイラー通ガス部	1	○	水漏れ、蒸気漏れはないか（外部よりの確認）		○														
		2	○	通風抵抗は正常か		○														
		3	◎	築炉及び伝熱部の損傷はないか							○								築炉材破損のとき	
		4	○	炉内マンホール部、計測座等にガス漏れはないか		○														
13	配管	1	○	接続部及び弁類グランド部より漏れはないか		○														
		2	◎	弁体及び弁座に傷はないか								○								
		3	◎	ストレーナは掃除してあるか			○													
		4	○	管、保温、ブラケットに異常はないか		○														

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。





設備名	熱回収設備	
装置名	蒸気だめ	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年							
1	蒸気だめ	1	○	器内圧力		○														
		2	○	器内温度		○														
		3	○	各接続部からの漏れ有無		○														
		4	○	保温破損		○														
		5	◎	蒸気だめ内部（腐食、異物混入）														○	腐食、異物なし	
		6	◎	温度計（指示値）															○	標準温度計との比較
		7	◎	圧力計（指示値）															○	圧力検査の実施
		8																		
		9																		
		10																		
		11																		
		12																		
		13																		
		14																		

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	ブロータンク	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	ブロータンク	1	◎	内部点検、清掃										○			内部清掃	
		2	◎	内部点検、腐食										○			腐食	
		3	○	各接続部からの漏れ有無		○												
		4	○	保温破損		○												
		5	○	ブロー水経路の点検				○										腐食、異物なし
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	脱気器給水ポンプ	1 / 1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	脱気器給水ポンプ (工#200112-3)	1	○	グラント部からの漏洩量		○												プラント設備上の許容限度を越えた時。
		2	○	軸受部潤滑油の汚れ程度及び潤滑油量			○											
		3	○	軸受部からの油洩れの有無			○											プラント設備上の許容限度を越えた時
		4	○	振動・騒音		○												
		5	◎	シャフトスリーブ表面の摩耗程度									○					
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	熱回収設備	
装置名	サンプリング装置	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	サンプリングクーラ	1	○	クーラ出口温度		○											設計温度値以上
		2	◎	クーラ内部清掃									○				
2	減圧機構	3	◎	内部清掃								○					
3	サイトグラス	4	○	冷却水の通水状態		○											目視にて浮き玉が浮上していない
		5	◎	内部清掃及び浮き玉の交換									○				
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	熱回収設備	
装置名	ボイラー薬液注入装置	1/1

整備・点検リスト	1/1
----------	-----

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	注入ポンプ	1	○	グラント部からの液洩れ		○											目視にて液洩れが確認	
		2	○	潤滑油の有無		○												目視にてオイルゲージの中心より
		3	◎	潤滑油の交換									○					
		4	◎	接液部品の交換									○					
2	タンク	5	○	タンク内浮遊物等の異物		○											目視にて確認された時	
	圧力計	7	○	指示圧力及び振幅		○											規定圧力の指示範囲外又は、過剰振幅が目視にて確認された時	
4	ストレーナ	8	○	メッシュ内異物の有無				○									目視にて異物が確認された時	
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	ボイラー系自動弁	/

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	脱気器水位調節弁 脱気器圧力調節弁 三菱マテリアル送気圧力調節弁 給湯用熱交換器温度調節弁 1号溶融炉排ガス再加熱器温度調節弁 2号溶融炉排ガス再加熱器温度調節弁 キル排ガス再加熱器温度調節弁 1号第1燃焼用空気予熱器温度調節弁 2号第1燃焼用空気予熱器温度調節弁 キル燃焼用空気予熱器温度調節弁 1号ボイラードラム水位調節弁 1号ボイラードラム圧力調節弁 2号ボイラードラム水位調節弁 2号ボイラードラム圧力調節弁	1	◎	グラント部の漏れ		○											グラント部の増し締めにて漏れが止まらない時	
		2	◎	ボディ部からの漏れ		○												ボディ部からの流体の漏れ滲みが確認された場合
		3	○	異常音、振動の有無		○												異音、振動が大きい時
		4	○	弁座漏洩（全閉弁のみ）										○				弁閉止時、内部の漏れ量が大きい時
		5	○	ダイヤフラムケースからの漏れ										○				ダイヤフラムからの漏れが認められた場合
		6	○	ポジションナー信号に対する作動確認		○												信号に対する弁開度にズレが生じた場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	スチームトラップ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年							
1	<b>スチームトラップ</b> <b>GH3N-24R-T 40A</b> ・1号溶融炉排ガス再加熱器 ・2号溶融炉排ガス再加熱器 ・キルン排ガス再加熱器 ・キルン燃焼用空気予熱器 ・給湯用熱交換器	1	○	診断器等による作動音の確認。(連続作動のポート型) 連続排出の音がしているか、異音が発生していないか確認。														作動音がしない、表面温度が低い。 (ポート破損等 内部異常) 生蒸気のモレ音がする。(弁磨耗)		
		2	○	同上															同上	
		3	○	診断器等による作動音の確認。(間欠作動のディスク型) 正常な間欠作動をしているか、吹きっ放し音が無いか確認。																作動しない。(ふん詰まり) 閉弁しないで吹きっ放す。(内部異常) チャタリング現象が発生する。(弁磨耗)
2	<b>スチームトラップ</b> <b>GH5E-45 50A</b> ・1号第1 燃焼用空気予熱器 ・2号第1 燃焼用空気予熱器	4																		
		5																		
3	<b>スチームトラップ</b> <b>SU2NF 15A</b> 蒸気だめドレン ・1号溶融炉排ガス再加熱器温度調節弁 ・2号溶融炉排ガス再加熱器温度調節弁 ・1号第1燃焼用空気予熱器温度調節弁 ・2号第1燃焼用空気予熱器温度調節弁 ・キルン燃焼用空気予熱器温度調節弁 ・給湯用熱交換器送気管 ・給湯用熱交換器温度調節弁	6																		
		7																		
		8																		
		9																		
		10																		
		11																		
		12																		
		13																		

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	流量計	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	渦流量計	1	○	流体の漏れの確認				○									ボルトの緩み、ガスケットのズレがない事	
		2	○	配管振動の有無の確認				○										配管振動のノイズにより停止時誤計数する場合
		3	◎	ケース等の腐食の有無の確認									○					著しい腐食及びキズ等のある場合
		4	◎	基準入力に対する出力信号の確認											○			流量計仕様は適合しているが流量誤差がでる
		5																
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	ボイラーダスト排出装置	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	停止時					
1	ボイラーダスト排出装置 ゲート	1	○	作動時の異常音, 振動の有無確認		○												
		2	○	冷却水が流れているか確認		○												
		3	○	機側冷却水配管からの漏れがないかの確認。		○												
		4	○	油圧シリンダ・油圧配管からの漏れがないか確認。		○												
		5	○	カムフォロア部のグリス注入の必要はないか確認。			○											
		6	○	キャスターの破損及び磨耗がないかの確認											○			表面に3mm以上のクラックがある場合。 3mm以下の場合でもクラックが不規則で互いに 交叉している場合。
		7	○	歪み及び塗装の状況										○				塗装面の割れ, 剥れ, 変色がある場合。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	熱回収設備	
装置名	溶融炉ガス冷却室	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1.	外面	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗等）		○											異常が認められる場合
		2	○	外面温度		○											異常に高温となっている場合
		3	◎	タッチアップ塗装							○						
2.	内面	1	◎	堆積ダストの確認・清掃							○						
3.	マンホール	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗等）		○											異常が認められる場合
		2	○	パッキン							○						剥がれ又はシール不良がある場合
		3	◎	タッチアップ塗装							○						

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	溶融炉ガス冷却室入口煙道	1 / 1

整備・点検リスト /

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1.	外面	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗等）		○											異常が認められる場合
		2	○	外面温度		○											異常に高温となっている場合
		3										○					
2.	内面	1	◎	堆積ダストの確認・清掃									○				
3.	マンホール	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗等）			○										異常が認められる場合
		2	○	パッキン							○						剥がれ又はシール不良がある場合
		3	◎	タッチアップ塗装								○					

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	キルンガス冷却室	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1.	外面	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗等）		○												異常が認められる場合
		2	○	外面温度		○												異常に高温となっている場合
		3	◎	タッチアップ塗装								○						
2.	内面	1	◎	堆積ダストの確認・清掃								○						
3.	マンホール	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗等）		○												異常が認められる場合
		2	○	パッキン								○						剥がれ又はシール不良がある場合
		3	◎	タッチアップ塗装								○						

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	キルンガス冷却室入口煙道	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1.	外面	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗等）		○											異常が認められる場合
		2	○	外面温度		○											異常に高温となっている場合
		3															
2.	内面	1	◎	堆積ダストの確認・清掃									○				
3.	マンホール	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗等）			○										異常が認められる場合
		2	○	パッキン							○						剥がれ又はシール不良がある場合
		3	◎	タッチアップ塗装								○					

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	ガス冷却室断熱材	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年	3年					
1	熔融炉ガス冷却室	1		キャスプルのクラック、脱落、損耗状態の確認											○	◎	○	キャスプル脱落損耗施工厚1/2以上
2	キルガス冷却室	2		〃											○	◎	○	〃
3	熔融炉ガス冷却室煙道	3		〃											○	○	○	〃
4	キルガス冷却室煙道	4		〃											○	○	○	〃
		5																
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	溶融炉ガス冷却室ダスト排出装置	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	ロータリースクレパー (スクレパー軸) (スクレパーレイキ)	1	○	スクレパー軸グランドパッキン					○								ダスト等が隙間よりでてくる	
		2	◎	( " )								○						

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	熱回収設備	
装置名	キルンガス冷却室ダスト排出装置	1 / 1

整備・点検リスト	2 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	ロータリースクレパー (スクレパー軸) (スクレパーレイキ)	1	○	スクレパー軸グランドパッキン						○						ダスト等が隙間よりでてくる	
		2	◎	(           "           )									○				
		3	○	スクレパーレーキ						○							レーキにダスト等が付着したとき
		4	◎	(           "           )									○				
	スクリュウコンベヤ (スクリュウ羽根) (軸、軸受け) (駆動部)	5	○	スクリュウ羽根						○						③と同じ	
		6	◎	(           "           )									○				
		7	○	軸、グランドパッキン							○						①と同じ
		8	◎	(           "           )										○			
	二重ダンパー (シリンダー) (パッキン)	9	○	駆動部ローラーチェーン						○						タルミ20mm	
		10	◎	(           "           )										○			(調整)
	二重ダンパー (シリンダー) (パッキン)	11	○	シリンダーエア						○						目、耳で確認	
		12	◎	(           "           )										○			(調整)
		13	○	パッキン							○						目で確認
		14	◎	(           "           )											○		

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	排ガス処理設備
装置名	消石灰貯留槽

1/3

整備・点検リスト /

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
1	消石灰定量供給装置	1	○	ボルト、ビスの緩みはないか								○				緩みがあれば増し締めする	
		2	○	異常音の発生はないか		○											異常音がないこと
		3	○	モータに過度の温度上昇はないか			○										周囲温度+50℃以下 (基準周囲温度MAX40℃)
		4	○	減速機に過度の温度上昇はないか			○										60℃以下(指示温度と周囲の温度の差)
		5	○	モータの電流値は正常か		○											定格電流値以下
		6	○	軸部からの粉漏れはないか								○					粉漏れがあった場合は軸シールの部品交換
		7	○	輸送部に粉溜まり、付着はないか			○										供給に問題がないこと
		8	○	回転羽根の変形、磨耗はないか						○							供給状態及び回転に問題のないこと
		9	○	回転羽根及び底盤に粉の付着、固着はないか			○										成長性が無く供給に問題のない事
		10	○	シュート及びエジェクタに粉の付着・固着はないか				○									成長性が無く供給に問題のない事
2	消石灰貯留槽頂部バグフィルタ	1	○	フィルターの布取付・吹き洩れ				○								室内に粉塵が無いこと	
		2	○	フィルターの布劣化				○								磨耗(ささくれ)が無いこと 粉塵の固着が無いこと	
		3	○	払い落とし機構							○					規定の動作をすること	
		4	○	扉部のエアリーク							○					リークが無いこと パッキンの片寄り・劣化がないこと	
		5	○	フランジ部のエアリーク フランジ部のボルト・パッキンの欠落							○					リークが無いこと 欠落が無いこと	
		6	○	ケース内粉塵推積							○					壁面への付着・ブリッジが無いこと	
		7	○	腐食・磨耗							○					板厚3/4以上であること	
		8	○	風量(接続管)・静圧(接続管・排気管)				○								規定値	
		9	○	盤内粉塵の侵入				○								粉塵の推積が無いこと	
		10	○	計器類				2								規定値	
		11	○	取付ボルトの固定状態								○				折損・腐食・ゆるみが無いこと	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示します。

設備名	排ガス処理設備
装置名	消石灰貯留槽

2/3

整備・点検リスト /

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
3	レベル計 LL、L (回転式)	1	○	変形・損傷の有無			○									部材のずれ、亀裂、変形の無いこと
		2	○	腐食状態・結露状態				○								極度の腐食・結露の進行がないこと
		3	○	ボルト・ナット類のゆるみ・ずれ				○								ゆるみ・ずれの無いこと
		4	○	運転状態			○									異音・異常振動等の無いこと
		5	○	パッキン類の経年劣化点検						○						極度の経年劣化の無いこと
4	レベル計 HH (振動式)	1	○	変形・損傷の有無			○									部材のずれ、亀裂、変形の無いこと
		2	○	腐食状態・結露状態				○								極度の腐食の進行がないこと
		3	○	ボルト・ナット類のゆるみ・ずれ				○								ゆるみ・ずれの無いこと
		4	○	運転状態			○									腐食・結露の無いこと
		5	○	パッキン類の経年劣化点検			○									振動復帰時間が約5秒以内であること 出力接点が正しく出ていること
5	消石灰定量供給装置溶用手動 スライドゲート	1	○	ボルト、ビスの緩みはないか							○				緩みがあれば増し締めする	
		2	○	異常音の発生はないか		○									異常音がないこと	
		3	○	ゲート板にキズはないか				○							異常なキズが無いこと	
6	薬品吹込ブロワ	1	○	圧力		○										銘板値以下
		2	○	空気量		○										銘板値±10%以内
		3	○	騒音		○										異常音がないこと
		4	○	振動		○										異常振動がないこと
		5	○	吹込温度		○										40℃以下
		6	○	電流		○										定格電流値以下
		7	○	電圧		○										モーター銘板値±10%以内

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示します。



設備名	排ガス処理設備
装置名	活性炭貯留槽

1/2

整備・点検リスト /

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
1	活性炭定量供給装置	1	○	ボルト、ビスの緩みはないか								○				緩みがあれば増し締めする	
		2	○	異常音の発生はないか		○											異常音がないこと
		3	○	モータに過度の温度上昇はないか			○										周囲温度+50℃以下 (基準周囲温度MAX40℃)
		4	○	減速機に過度の温度上昇はないか			○										60℃以下(指示温度と周囲の温度の差)
		5	○	モータの電流値は正常か		○											定格電流値以下
		6	○	軸部からの粉漏れはないか								○					粉漏れがあった場合は軸シールの部品交換
		7	○	輸送部に粉溜まり、付着はないか			○										供給に問題がないこと
		8	○	回転羽根の変形、磨耗はないか						○							供給状態及び回転に問題のないこと
		9	○	回転羽根及び底盤に粉の付着、固着はないか			○										成長性が無く供給に問題のない事
		10	○	供給装置のロータに変形・磨耗はないか								○					供給状態及び回転に問題の無い事
		11	○	供給装置のロータに粉の付着・固着はないか								○					成長性が無く供給に問題のない事
		12	○	シュート及びエジェクタに粉の付着・固着はないか					○								成長性が無く供給に問題のない事
2	活性炭貯留槽頂部バグフィルタ	1	○	フィルターの不取付・吹き洩れ				○								室内に粉塵が無いこと	
		2	○	フィルターの不劣化				○								磨耗(ささくれ)が無いこと 粉塵の固着が無いこと	
		3	○	払い落とし機構							○					規定の動作をすること	
		4	○	扉部のエアリーク							○					リークが無いこと パッキンの片寄り・劣化がないこと	
		5	○	フランジ部のエアリーク フランジ部のボルト・パッキンの欠落							○					リークが無いこと 欠落が無いこと	
		6	○	ケース内粉塵推積							○					壁面への付着・ブリッジが無いこと	
		7	○	腐食・磨耗							○					板厚3/4以上であること	
		8	○	風量(接続管)・静圧(接続管・排気管)				○								規定値	
		9	○	盤内粉塵の侵入				○								粉塵の推積が無いこと	
		10	○	計器類				2								規定値	
		11	○	取付ボルトの固定状態								○				折損・腐食・ゆるみが無いこと	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示します。

設備名	排ガス処理設備
装置名	活性炭貯留槽

2/2

整備・点検リスト /

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年			
3	レベル計 LL、L、HH (振動式)	1	○	変形・損傷の有無			○									部材のずれ、亀裂、変形の無いこと	
		2	○	腐食状態				○								極度の腐食の進行がないこと	
		3	○	ボルト・ナット類のゆるみ・ずれ				○								ゆるみ・ずれの無いこと	
		4	○	ケース及び内部に腐食・結露はないか			○									腐食・結露の無いこと	
		5	○	運転状態			○									振動復帰時間が約5秒以内であること 出力接点が正しく出ていること	
4	薬品吹込ブロウ	1	○	圧 力		○										銘板値以下	
		2	○	空 気 量		○										銘板値±10%以内	
		3	○	騒 音		○										異常音がないこと	
		4	○	振 動		○										異常振動がないこと	
		5	○	吸 込 温 度		○										40℃以下	
		6	○	電 流		○										定格電流値以下	
		7	○	電 圧		○										モーター銘板値±10%以内	
		8	○	ベルトの張り・芯ずれ				○								規 定 値 (張り荷重:1.5~2.5kg、たわみ量:4.5mm)	
		9	○	ギヤオイル量			○									レベルゲージ中心迄	
		10	◎	吸込サイレンサの清掃						○							運転に問題のないこと
		11	○	ギヤオイル点検						○							汚れ・劣化の無いこと
		12	○	ベアリンググリスの点検						○							汚れ・劣化の無いこと
		13	◎	ベルト交換								○					
		14	◎	フィルターエレメントの交換								○					
		15	◎	ベアリングの交換										○			分解時 3~4年で交換
		16	◎	パッキン、シールの交換										○			分解時 3~4年で交換
		17	◎	ギヤの点検・交換										○			分解時 3~4年で交換
		18	○	配管の摩耗はないか		○											目視、触手により摩耗のないこと

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示します。

設備名	排ガス処理設備	
装置名	溶融炉バグフィルタ・捕集飛灰搬出装置	1 / 2

整備・点検リスト	1 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	溶融炉バグフィルタ	1	<input type="radio"/>	差圧指示値		<input type="radio"/>											記録（中操にて連続記録）	
		2	<input type="radio"/>	パルスバルブ作動		<input type="radio"/>												適時確認。パルス音にて確認（適時）
		3	<input type="radio"/>	パルスバルブ動作回数		<input type="radio"/>												日誌に毎日定時に表示値を記録 （リセットはしない事）
		4	<input type="radio"/>	プレッシャタンクエア圧力		<input type="radio"/>												適時確認。設定値2.5～4.0kg/cm2G （パルス後の降圧1.0～1.5kg/cm2G）
		5	<input checked="" type="radio"/>	ろ布の損傷有無										<input type="radio"/>				点検扉開放点検
		6	<input type="radio"/>	プレッシャタンクエア漏れ					<input type="radio"/>									取り付け部目視確認 、音で漏れが無いか確認
		7	<input type="radio"/>	集じん機取付部のダスト漏れ										<input type="radio"/>				取り付け部目視確認
		8	<input type="radio"/>	差圧配管					<input type="radio"/>									差圧銅管閉塞確認、作動不良確認
		9	<input checked="" type="radio"/>	減圧弁フィルタ					<input type="radio"/>									作動不良確認、ドレン排出
		10	<input type="radio"/>	ダスト搬出装置					<input type="radio"/>					<input type="radio"/>				異音、振動の確認。作動、断線の確認
		11	<input type="radio"/>	温風循環装置（ファン及びヒータ）										<input type="radio"/>				異音、振動の確認。作動、断線の確認
		12	<input checked="" type="radio"/>	ホッパ内部										<input type="radio"/>				付着堆積物の確認、清掃
		13	<input type="radio"/>	塗装・発錆							<input type="radio"/>			<input type="radio"/>				塗装の良否
		14	<input checked="" type="radio"/>	各ネジ・ボルトゆるみ確認					<input type="radio"/>									増し締めの励行

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。  
4. 触媒層の点検については、前流に設置されていますバグフィルターの異常等で、ダクトが飛散したと判断された場合には、その都度内部点検を実施下さい。  
5. 触媒層の点検については、前流に設置されていますガス再加熱器からの蒸気リーク等異常が発生した場合は、その都度内部点検を実施下さい。



設備名	排ガス処理設備	
装置名	溶融炉バグフィルタ・捕集飛灰搬出装置	2 / 2

整備・点検リスト	2 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準		
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年			
1	捕集飛灰搬出装置	1	○	灰受入ダンパ開閉確認		○							○			目視点検
		2	○	灰受入ダンパ開閉時のスムーズかどうか確認		○								○		目視点検 (スピードコントローラにて調節)
		3	○	減圧弁の設定確認		○								○		設定値1.8~2.5kg/cm2G (最終試運転記録による)
		4	○	灰排出弁の作動確認			○									目視点検
		5	○	エア供給時間の規定圧力までの所用時間確認			○									設定値XXX分 (最終試運転記録による)
		6	○	所要搬送時間確認			○									設定値XXX分 (最終試運転記録による)
		7	◎	灰受入ダンパパッキン摩擦確認								○	○			パッキン類に異常が無いか目視確認、交換
		8	○	フルダイジングディスク点検									○	○		内部に異常固着などが無いか確認、清掃
		9	◎	灰輸送艦確認								○	○			配管内部に異常固着などが無いか確認、清掃
		10	◎	トランスミッタ内部										○		付着堆積物の確認、清掃
		11	○	塗装・発錆							○		○			塗装の良否
		12	◎	各ネジ・ボルトのゆるみ確認				○								増し締め励行

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。  
4. 触媒層の点検については、前流に設置されていますバグフィルターの異常等で、ダクトが飛散したと判断された場合には、その都度内部点検を実施下さい。  
5. 触媒層の点検については、前流に設置されていますガス再加熱器からの蒸気リーク等異常が発生した場合は、その都度内部点検を実施下さい。



設備名	排ガス処理設備	
装置名	溶融炉触媒塔	1 / 2

整備・点検リスト	1 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	溶融炉触媒塔	1	○	触媒層に灰の付着，目詰まりの有無										○			目詰まりが無いこと。
		2	○	反応塔部材の変形の有無										○			変形が無いこと。
		3	○	反応塔部材の腐食の有無										○			著しい腐食が無いこと。
		4	○	ガスリークの有無				○									ガスリークによる保温外装板の変色，ドレンの発生の有無
2	温風循環装置	1	○	絶縁抵抗測定				○								絶縁抵抗基準値：10MΩ以上であること。	
		2	○	回路電流測定				○								電流値範囲：29A～36A	
		3	○	電源電圧測定				○								定格値：440Vの±5%以内であること。	
		4	○	内部結線材点検				○								焼け、変色はあってはならない	
		5	○	リード線接続部				○								増し締めを行う	
		6	○	カバー取付状態				○								組立ビスが完全に付いていること	
		7	○	外観の変形の有無				○								性能に影響する変形及び歪まないこと	
		8	○	空気漏れの有無				○								空気漏れなきこと	
		9	○	異常音・振動				○								異常音の無いこと。異常振動の無いこと。 (全振幅値が100μm以下である)	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。  
4. 触媒層の点検については、前流に設置されていますバグフィルターの異常等で、ダクトが飛散したと判断された場合には、その都度内部点検を実施下さい。  
5. 触媒層の点検については、前流に設置されていますガス再加熱器からの蒸気リーク等異常が発生した場合は、その都度内部点検を実施下さい。



設備名	排ガス処理設備	
装置名	溶融炉触媒塔	2 / 2

整備・点検リスト	2 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
3	触媒塔制御盤	1	<input type="radio"/>	表示灯類の表示，動作		<input type="radio"/>													
		2	<input type="radio"/>	計器類の表示，動作		<input type="radio"/>													
		3	<input checked="" type="radio"/>	計器校正											<input type="radio"/>				計器類の取扱説明書参照
		4	<input type="radio"/>	機器類の損傷有無										<input type="radio"/>					
		5	<input type="radio"/>	盤内への異物侵入有無										<input type="radio"/>					
		6	<input type="radio"/>	盤内外の変形有無											<input type="radio"/>				
		7	<input type="radio"/>	盤内外面の発錆有無												<input type="radio"/>			
		8	<input type="radio"/>	ボルト，ナット等 ネジ類のゆるみ有無											<input type="radio"/>				
		9	<input type="radio"/>	扉の開閉状況											<input type="radio"/>				
		10	<input type="radio"/>	異常音，振動，放電音有無		<input type="radio"/>													
		11	<input type="radio"/>	温度上昇による臭気有無		<input type="radio"/>									<input type="radio"/>				
		12	<input type="radio"/>	接続部等の変色有無											<input type="radio"/>				
		13	<input type="radio"/>	絶縁抵抗測定														<input type="radio"/>	5MΩ以下
		14	<input type="radio"/>	接地抵抗測定														<input type="radio"/>	10Ω以上

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。  
4. 触媒層の点検については、前流に設置されていますバグフィルターの異常等で、ダクトが飛散したと判断された場合には、その都度内部点検を実施下さい。  
5. 触媒層の点検については、前流に設置されていますガス再加熱器からの蒸気リーク等異常が発生した場合は、その都度内部点検を実施下さい。



設備名	排ガス処理設備	
装置名	キルンバグフィルタ・捕集飛灰搬出装置	1 / 2

整備・点検リスト	1 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	キルンバグフィルタ	1	<input type="radio"/>	差圧指示値		<input type="radio"/>											記録（中操にて連続記録）	
		2	<input type="radio"/>	パルスバルブ作動		<input type="radio"/>												適時確認。パルス音にて確認（適時）
		3	<input type="radio"/>	パルスバルブ動作回数		<input type="radio"/>												日誌に毎日定時に表示値を記録 （リセットはしない事）
		4	<input type="radio"/>	プレッシャタンクエア圧力		<input type="radio"/>												適時確認。設定値2.5～4.0kg/cm2G （パルス後の降圧1.0～1.5kg/cm2G）
		5	<input checked="" type="radio"/>	ろ布の損傷有無										<input type="radio"/>				点検扉開放点検
		6	<input type="radio"/>	プレッシャタンクエア漏れ				<input type="radio"/>										取り付け部目視確認 、音で漏れが無いか確認
		7	<input type="radio"/>	集じん機取付部のダスト漏れ										<input type="radio"/>				取り付け部目視確認
		8	<input type="radio"/>	差圧配管				<input type="radio"/>										差圧銅管閉塞確認、作動不良確認
		9	<input checked="" type="radio"/>	減圧弁フィルタ				<input type="radio"/>										作動不良確認、ドレン排出
		10	<input type="radio"/>	ダスト搬出装置				<input type="radio"/>						<input type="radio"/>				異音、振動の確認。作動、断線の確認
		11	<input type="radio"/>	温風循環装置（ファン及びヒータ）										<input type="radio"/>				異音、振動の確認。作動、断線の確認
		12	<input checked="" type="radio"/>	ホッパ内部										<input type="radio"/>				付着堆積物の確認、清掃
		13	<input type="radio"/>	塗装・発錆							<input type="radio"/>			<input type="radio"/>				塗装の良否
		14	<input checked="" type="radio"/>	各ネジ・ボルトゆるみ確認				<input type="radio"/>										増し締めの励行

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。  
4. 触媒層の点検については、前流に設置されていますバグフィルターの異常等で、ダクトが飛散したと判断された場合には、その都度内部点検を実施下さい。  
5. 触媒層の点検については、前流に設置されていますガス再加熱器からの蒸気リーク等異常が発生した場合は、その都度内部点検を実施下さい。



設備名	排ガス処理設備	
装置名	キルンバグフィルタ・捕集飛灰搬出装置	2 / 2

整備・点検リスト	2 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準		
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年			
1	捕集飛灰搬出装置	1	○	灰受入ダンパ開閉確認		○							○			目視点検
		2	○	灰受入ダンパ開閉時のスムーズかどうか確認		○							○			目視点検 (スピードコントローラにて調節)
		3	○	減圧弁の設定確認		○							○			設定値1.8~2.5kg/cm2G (最終試運転記録による)
		4	○	灰排出弁の作動確認			○									目視点検
		5	○	エア供給時間の規定圧力までの所用時間確認			○									設定値XXX分 (最終試運転記録による)
		6	○	所要搬送時間確認			○									設定値XXX分 (最終試運転記録による)
		7	◎	灰受入ダンパパッキン摩擦確認								○	○			パッキン類に異常が無いか目視確認、交換
		8	○	フルダイジングディスク点検								○	○			内部に異常固着などが無いか確認、清掃
		9	◎	灰輸送艦確認								○	○			配管内部に異常固着などが無いか確認、清掃
		10	◎	トランスミッタ内部									○			付着堆積物の確認、清掃
		11	○	塗装・発錆							○		○			塗装の良否
		12	◎	各ネジ・ボルトのゆるみ確認				○								増し締めの実行

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。  
4. 触媒層の点検については、前流に設置されていますバグフィルターの異常等で、ダクトが飛散したと判断された場合には、その都度内部点検を実施下さい。  
5. 触媒層の点検については、前流に設置されていますガス再加熱器からの蒸気リーク等異常が発生した場合は、その都度内部点検を実施下さい。



設備名	排ガス処理設備	
装置名	キルン触媒塔	1 / 2

整備・点検リスト	1 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	溶融炉触媒塔	1	<input type="radio"/> 触媒層に灰の付着, 目詰まりの有無										<input type="radio"/>			目詰まりが無いこと。	
		2	<input type="radio"/> 反応塔部材の変形の有無										<input type="radio"/>			変形が無いこと。	
		3	<input type="radio"/> 反応塔部材の腐食の有無											<input type="radio"/>			著しい腐食が無いこと。
		4	<input type="radio"/> ガスリークの有無				<input type="radio"/>										ガスリークによる保温外装板の変色, ドレンの発生の有無
2	温風循環装置	1	<input type="radio"/> 絶縁抵抗測定				<input type="radio"/>									絶縁抵抗基準値:10MΩ以上であること。	
		2	<input type="radio"/> 回路電流測定				<input type="radio"/>									電流値範囲:29A~36A	
		3	<input type="radio"/> 電源電圧測定				<input type="radio"/>										定格値:440Vの±5%以内であること。
		4	<input type="radio"/> 内部結線材点検				<input type="radio"/>										焼け、変色はあってはならない
		5	<input type="radio"/> リード線接続部				<input type="radio"/>										増し締めを行う
		6	<input type="radio"/> カバー取付状態				<input type="radio"/>										組立ビスが完全に付いていること
		7	<input type="radio"/> 外観の変形の有無				<input type="radio"/>										性能に影響する変形及び歪ないこと
		8	<input type="radio"/> 空気漏れの有無				<input type="radio"/>										空気漏れなきこと
		9	<input type="radio"/> 異常音・振動				<input type="radio"/>										異常音の無いこと。異常振動の無いこと。 (全振幅値が100μm以下である)

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。  
4. 触媒層の点検については、前流に設置されていますがバグフィルターの異常等で、ダクトが飛散したと判断された場合には、その都度内部点検を実施下さい。  
5. 触媒層の点検については、前流に設置されていますがガス再加熱器からの蒸気リーク等異常が発生した場合は、その都度内部点検を実施下さい。



設備名	排ガス処理設備	
装置名	キルン触媒塔	2 / 2

整備・点検リスト	2 / 2
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
3	触媒塔制御盤	1	<input type="radio"/>	表示灯類の表示, 動作		<input type="radio"/>													
		2	<input type="radio"/>	計器類の表示, 動作		<input type="radio"/>													
		3	<input checked="" type="radio"/>	計器校正											<input type="radio"/>				計器類の取扱説明書参照
		4	<input type="radio"/>	機器類の損傷有無										<input type="radio"/>					
		5	<input type="radio"/>	盤内への異物侵入有無										<input type="radio"/>					
		6	<input type="radio"/>	盤内外の変形有無											<input type="radio"/>				
		7	<input type="radio"/>	盤内外面の発錆有無												<input type="radio"/>			
		8	<input type="radio"/>	ボルト, ナット等 ネジ類のゆるみ有無											<input type="radio"/>				
		9	<input type="radio"/>	扉の開閉状況											<input type="radio"/>				
		10	<input type="radio"/>	異常音, 振動, 放電音有無		<input type="radio"/>													
		11	<input type="radio"/>	温度上昇による臭気有無		<input type="radio"/>									<input type="radio"/>				
		12	<input type="radio"/>	接続部等の変色有無											<input type="radio"/>				
		13	<input type="radio"/>	絶縁抵抗測定														<input type="radio"/>	5MΩ以下
		14	<input type="radio"/>	接地抵抗測定														<input type="radio"/>	10Ω以上

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。  
4. 触媒層の点検については、前流に設置されていますバグフィルターの異常等で、ダクトが飛散したと判断された場合には、その都度内部点検を実施下さい。  
5. 触媒層の点検については、前流に設置されていますガス再加熱器からの蒸気リーク等異常が発生した場合は、その都度内部点検を実施下さい。



設備名	余熱利用設備	
装置名	給湯用熱交換器	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	給湯用熱交換器	1	○	法定定期点検										○			
		2	○	自主定期点検										○			
		3	◎	定期整備（交換含む）										○			付属弁類分解・缶内機械洗浄
		4															
		5															
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	通風設備	
装置名	送風機	1 / 2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年		
1	溶融誘引送風機	1	○	軸受潤滑油量の確認		○										オイルゲージの中心ラインまで補給
		2	○	軸受振動の確認		○										振動許容値=98/1000mm以下(両振幅)
		3	○	軸受温度の確認		○										外気温+40℃以内
		4	○	軸受冷却水の確認		○										
		5	○	インペラの腐食の有無								○				
2	キルン誘引送風機	6	○	軸受グリースの補給				○								
		7	○	軸受振動の確認		○										振動許容値=120/1000mm以下(両振幅)
		8	○	軸受温度の確認		○										外気温+40℃以内
		9	○	インペラの腐食の有無								○				
		10	○	防振ゴムの変形の有無								○				
		11	○	軸受冷却水の確認		○										
3	溶融押込送風機	12	○	軸受グリースの補給				○								
		13	○	軸受振動の確認		○										振動許容値=120/1000mm以内(両振幅)
		14	○	軸受温度の確認		○										外気温+40℃以内

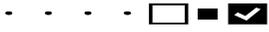
- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	通風設備	
装置名	送風機	2 / 2

整備・点検リスト /

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
3	溶融炉押込送風機	1	○	防振ゴムの変形の有無									○						
4	キルン押込送風機	2	○	軸受グリースの補給				○											
		3	○	軸受振動の確認		○												振動許容値=120/1000mm以内(両振幅)	
		4	○	軸受温度の確認		○													外気温+40℃以内
		5	○	防振ゴムの変形の有無										○					

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	通風設備	
装置名	第1燃焼用空気予熱器	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	第1燃焼用空気予熱器	1	○	空気出入口温度		○											空気出口温度が使用温度を著しく下回る時	
		2	○	蒸気空気圧力		○												圧力計の指示値が使用圧力を下回る時
		3	○	風圧損失			○											490 Pa以上となった時
		4	○	振動・異常音		○												基準値以上となった時
		5	○	流量調整装置		○												空気出入口温度及び圧力が基準値でない時
		6	○	ガスケット面のリーク			○											
		7	○	ケースの損傷				○										ケースが異常に変形した時
		8	○	保温破損				○										
		9	○	塗装の剥離				○										鉄面が見えている時
		10	○	溶接部のクラック					○									クラック発見時に補修溶接
		11	○	加熱管の変形					○									蒸気もれ時
		12	○	加熱管、スリーブのリーク					○									蒸気もれ時
		13	○	ケース内の汚れ程度					○									ダストが非常に多く付着している時
		14	○	加熱管、リードパイプの腐食					○									チューブ肉厚1mm以下に達した時

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	通風設備	
装置名	第2燃焼用空気予熱器	1/2

整備・点検リスト	1/2
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	炉本体	1		外観の著しい変化、損傷、塗装剥離等の有無		○												
		2		フランジ部のエアリー、熱風漏れ							○							
		3		炉内の耐火、耐熱材の亀裂、脱落				○										
		4		炉内の耐火、耐熱材の補修									◎					
	バーナ	5		火炎監視装置が正常に動作するか		○								◎				
		6		火炎監視装置の光電管全面ガラスの清掃			◎											
		7		電極棒の汚れ、変形、碍子割れ等			○							◎				
		8		ノズルチップの汚れ、緩み等			○							◎				
		9		油電磁弁の弁越し漏れ									○					
		10		焚口部の焼損、変形等									○					
		11		燃焼状態が通常とは、違う燃焼していないか		○												
		12		リンク装置がスムーズに作動しているか		○												
		13		リンク装置の部品の摩耗、リンクのズレの有無				○										
		14		ポンプの異常振動、異常騒音			○											

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	通風設備	
装置名	第2燃焼用空気予熱器	2/2

整備・点検リスト	2/2
----------	-----

No.	機器名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
	バーナ	15		油配管の変形、損傷、継手部からの漏れ								○							
		16		コントロールモータの動作、開閉リミットスイッチの作動		○													
		17		油流量計の流量表示		○													
		18		ストレーナのフィルター清掃									◎						
	制御盤	19		盤内、盤面の計器、スイッチ等その他部品に変形、破損がないか		○													
		20		盤面の計器の表示に異常がないか		○													
		21		盤内の部品、端子等のネジにゆるみがないか									○						
		22		盤内の各ヒューズが溶断していないこと									○						
		23		盤内の各開閉器が定位であること									○						
		24		盤内、盤面にほこりがたまっていないか				○											

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	通風設備	
装置名	溶融炉排ガス再加熱器	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	溶融炉排ガス再加熱器	1	○	ガス出入口温度		○											ガス出口温度が使用温度を著しく下回る時	
		2	○	蒸気ガス圧力		○												圧力計の指示値が使用圧力を下回る時
		3	○	風圧損失			○											490 Pa以上となった時
		4	○	振動・異常音		○												基準値以上となった時
		5	○	流量調整装置		○												ガス出入口温度及び圧力が基準値でない時
		6	○	ガスケット面のリーク			○											
		7	○	ケースの損傷				○										ケースが異常に変形した時
		8	○	保温破損				○										
		9	○	塗装の剥離				○										鉄面が見えている時
		10	○	溶接部のクラック					○									クラック発見時に補修溶接
		11	○	加熱管の変形					○									蒸気もれ時
		12	○	加熱管、スリーブのリーク					○									蒸気もれ時
		13	○	ケース内の汚れ程度					○									ダストが非常に多く付着している時
		14	○	加熱管、リードパイプの腐食					○									チューブ肉厚1mm以下に達した時

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	通風設備	
装置名	キルン燃焼用空気予熱器	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	キルン燃焼用空気予熱器	1	○	空気出入口温度		○											空気出口温度が使用温度を著しく下回る時	
		2	○	蒸気空気圧力		○												圧力計の指示値が使用圧力を下回る時
		3	○	風圧損失			○											490 Pa以上となった時
		4	○	振動・異常音		○												基準値以上となった時
		5	○	流量調整装置		○												空気出入口温度及び圧力が基準値でない時
		6	○	ガスケット面のリーク			○											
		7	○	ケースの損傷				○										ケースが異常に変形した時
		8	○	保温破損				○										
		9	○	塗装の剥離				○										鉄面が見えている時
		10	○	溶接部のクラック					○									クラック発見時に補修溶接
		11	○	加熱管の変形					○									蒸気もれ時
		12	○	加熱管、スリーブのリーク					○									蒸気もれ時
		13	○	ケース内の汚れ程度					○									ダストが非常に多く付着している時
		14	○	加熱管、リードパイプの腐食					○									チューブ肉厚1mm以下に達した時

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	通風設備	
装置名	キルン排ガス再加熱器	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
	キルン排ガス再加熱器	1	○	ガス出入口温度		○											ガス出口温度が使用温度を著しく下回る時	
		2	○	蒸気ガス圧力		○												圧力計の指示値が使用圧力を下回る時
		3	○	風圧損失			○											490 Pa以上となった時
		4	○	振動・異常音		○												基準値以上となった時
		5	○	流量調整装置		○												ガス出入口温度及び圧力が基準値でない時
		6	○	ガスケット面のリーク			○											
		7	○	ケースの損傷				○										ケースが異常に変形した時
		8	○	保温破損				○										
		9	○	塗装の剥離				○										鉄面が見えている時
		10	○	溶接部のクラック					○									クラック発見時に補修溶接
		11	○	加熱管の変形					○									蒸気もれ時
		12	○	加熱管、スリーブのリーク					○									蒸気もれ時
		13	○	ケース内の汚れ程度					○									ダストが非常に多く付着している時
		14	○	加熱管、リードパイプの腐食					○									チューブ肉厚1mm以下に達した時

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	通風設備	
装置名	溶融炉シールファン	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	キルンガス冷却室シールファン	1	○	異常振動の有無		○											振動許容値=257μ	
		2	○	軸受温度の確認		○												外気温+40℃
		3	○	防振ゴムの変形の有無										○				

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

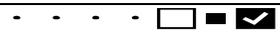


設備名	通風設備	
装置名	キルンガス冷却室シールファン	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	キルンガス冷却室シールファン	1	○	異常振動の有無		○											振動許容値=257μ	
		2	○	軸受温度の確認		○												外気温+40℃
		3	○	防振ゴムの変形の有無									○					

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	通風設備	
装置名	風道・煙道用ダンパ	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	溶融炉押込送風機入口 主燃焼室空気調整	1	○	外観、目視による点検				○									
	主燃焼室空気調整 No.1コーナー空気調整 No.2コーナー空気調整	2	○	ボルト・ナット類の緩み（機器全般）									○				緩みある場合増締め
	No.1コーナー空気調整 No.2コーナー空気調整 後燃焼バーナ空気調整	3	○	グラウンド部リークの確認									○				リークある場合増締めまたは パッキン交換
	No.1後燃焼室空気調整 No.2後燃焼室空気調整 No.1後燃焼室空気	4	○	作動音・開閉動作の確認									○				異音・動作不良の場合保修
	No.2後燃焼室空気 キルン押込送風機入口 溶融炉シールファン入口	5	○	コントロールモータ内蔵ポテンショメータの点検												○	不良の場合交換
	キルンガス冷却塔 シールファン入口 溶融炉触媒塔バイパス入・出口 溶融炉触媒塔入・出口 溶融炉触媒塔循環ファン入・出口 溶融炉触媒塔温風切替 溶融炉触媒塔外気取入 溶融炉誘引通風機入口 キルン触媒塔バイパス入・出口 キルン触媒塔入・出口 キルン触媒塔循環ファン入・出口 キルン触媒塔温風切替 キルン触媒塔外気取入 キルン誘引通風機入・出口 第2燃焼用空気予熱器排ガス																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融設備	
装置名	第1スラグコンベヤ	1/3

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	停止時					
	第1スラグコンベヤ	1	○	圧力値測定、流量値測定		○											仕様通り	
		2	○	異常音発生		○												
		3	○	異常振動		○												
		4	○	発熱			○											触手不可能 室温+30℃
		5	○	回転状態			○											
		6	○	取付ボルトの緩み						○								
		7	○	駆動スプロケットのセットボルトの緩み						○								
		8	○	駆動ローラチェンの緩み（目視）				○										
		9	○	駆動ローラチェンの緩み（スケール測定）						○								緩み スパンの2%程度
		10	○	駆動ローラチェンの伸び						○								ピッチの2%以下
		11	○	駆動ローラチェンの磨耗						○								乗上げ発生
		12	○	キーの緩み						○								
		13	○	ボルトの緩み								○						
		14	○	異物の干渉		○												

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融設備	
装置名	第1スラグコンベヤ	2/3

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2年	停止時				
		15	○	輸送物の固着			○										
		16	○	入口、排出口の摩擦									○				磨耗量 板厚の2/3以下
		17	○	コンベヤチェーン、スクレーパの磨耗、変形			○										
		19	○	スクレーパボルトの緩み						○							
		20	○	コンベヤホイルの歯の磨耗									○				磨耗量 板厚の4～5mm迄
		21	○	コンベヤホイルのセットボルトの緩み									○				
		22	○	コンベヤホイルの張り具合				○									8項目記載
		23	○	コンベヤホイルのピッチの伸び									○				ピッチの2%以下
		34	○	コンベヤチェーン全体の屈曲						○							スムーズな屈曲
		25	○	コンベヤチェーンローラの回転									○				スムーズな回転
		26	○	コンベヤチェーンローラの磨耗									○				ローラ径の30%以下
		27	○	コンベヤチェーンリンクプレートの磨耗									○				磨耗量 板厚の1/3以下
		28	○	コンベヤチェーンブッシュの磨耗									○				孔が空くまで
		29	○	コンベヤチェーンピンの磨耗									○				磨耗量 ピン径の30%以下

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融設備	
装置名	第1スラグコンベヤ	3/3

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	停止時				
		30	○	レールの磨耗										○			スクレーパと底板との干渉
		31	○	ライナーの磨耗										○			本体底板 覗いていない
		32	○	スラグダンパー							○						正常に機能しているか
		33	○	スラグ検出装置							○						正常に機能しているか

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグ計量器	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	フィルタレギュレータ	1	○	ゲージ圧は設定圧通りか			○										設定値(0.4Mpa)以上にしてください
		2	○	接続部より漏れはないか							○						緩みがあれば増し締めしてください
		3	○	ボールにドレンが溜まっていないか			○										ドレンが溜まっていれば抜いてください
2	エアシリンダー ・上部ゲート開閉用 ・排出ゲート開閉用1 ・排出ゲート開閉用2	1	○	スムーズな動作をしているか							○					動作が不規則であれば交換してください	
		2	○	異音、磨耗、発熱等ないか							○					異音、発熱等あれば交換してください	
		3	○	セットボルトの緩み、脱落はないか							○					緩みがあれば増し締めしてください	
		4	○	接続部より漏れはないか							○					緩みがあれば増し締めしてください	
		5	○	シリンダースイッチは正常に動作しているか							○					動作位置にて点灯していなければ交換してください	
3	電磁弁 ・上部ゲート、排出ゲート開閉用	1	○	接続部より漏れはないか							○				緩みがあれば増し締めしてください		
4	各部軸受	1	○	異音、磨耗、発熱等ないか							○				異音、発熱等あれば交換してください		
		2	○	セットボルトの緩み、脱落はないか							○				緩みがあれば増し締めしてください		

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	粗大スラグ除去装置	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準						
		No.	区分	3H毎	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	停止時							
1	粗大スラグ除去装置	1	○	粗大物が載っていないか。	○															
		2	○	スクリーンの目詰りはないか。		○														
		3	○	軸受部のグリスの注入の必要はないか。			○													
		4	○	シリンダに異常はないか確認				○												
		5	○	圧力は正常か。		○														
		6	○	スクリーンの変形はないか。														○		
		7	○	壁面の付着物はないか。														○		
		8	○	腐食はないか。														○		
		9	○	パイプレータの異常音、加熱はないか		○														異常な連続音、金属音がないこと
		10	○	スクリーンの板の摩耗											○					目開きが2%以下に収まっていること
		11	○	20mmスクリーンに異常振動はないか		○														
		12	○	パイプレータ本体のボルトにゆるみはないか					○											ゆるみがあった場合
		13	○	配線ケーブルの損傷					○											目視にて点検し、損傷なきこと
		14	○	スクリーン前部下受けシャフトにゆるみはないか								○								ゆるみがあった場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	粗大スラグ除去装置	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2年	停止時						
1	粗大スラグ除去装置	1	○	粗大物が載っていないか。		○													
		2	○	スクリーンの目詰りはないか。		○													
		3	○	軸受部のグリスの注入の必要はないか。			○												
		4	○	シリンダに異常はないか確認				○											
		5	○	圧力は正常か。		○													
		6	○	スクリーンの変形はないか。															○
		7	○	壁面の付着物はないか。															○
		8	○	腐食はないか。															○

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	水砕水熱交換器	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル									点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年		3ヶ年				
1	水砕水熱交換器	1	○	ウリターン内部清掃（出入口）										○				
		2	○	ウリターン肉厚測定（出入口）											○			肉厚減少が著しい場合交換
		3	○	内管漏れ確認（現状流体にて）											○			漏れがある場合交換（内外管）
		4	○	内管肉厚測定（露出部出入口）											○			肉厚減少が著しい場合交換（内外管）
		5	○	内管ヘッダー肉厚測定（出入口）											○			肉厚減少が著しい場合交換
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	水砕水ポンプ	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準							
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年								
1	水砕水ポンプ	1		軸受部：軸受温度 異常な発熱がないか（気温+40℃ 最高温度75℃）		○															
		2		軸受部：振動騒音 異常な振動騒音は発生していないか			○														
		3		軸受部：グリースの補充(潤滑油リスト参照)																	
		4		軸封部：シール 漏れの有無		○															
		5		ケーシング部：振動・騒音 異常な振動、騒音は発生していないか			○														
		6		ケーシング部：液漏れはないか				○													
		7		ケーシング部：磨耗腐食状況				○													
		8		ケーシング部：吸込・吐出圧力 圧力計を確認		○															
		9		駆動部：モーター電流値 規定電流値で運転されているか		○															
		10		駆動部：Vベルトの張り Vベルトのスリップ緩みはないか			○														
		11		機器全般：部品磨耗状況 開放時目視にて確認																	
		12		機器全般：外観 発錆・損傷の確認																	
		13		機器全般：ボルト・ナット類 緩んでいるところはないか		○															
		14																			

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	第2スラグコンベヤ (1号・2号)	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○		○												異常な振動、音、過熱があった場合
		2	○								○						チェーンのたるみが著しい場合
		3	○		○												異常な振動が生じた場合
		4	○								○						振動と摩耗が著しい場合
		5	○				○										水漏れが著しくなった場合
		6	○			○											異音と過熱を認めた場合
		7	○									○					摩耗、はがれが著しくなった場合
		8	○								○						伸びが著しい場合
		9	○								○						著しい摩耗及び搬送に支障となる欠損がある場合
		10	◎			○											堆積が多くなった場合
		11	○								○						摩耗が著しくなった場合
		12	○									○					著しい漏れを認めた場合
		13	◎				○										目詰り等が認められた場合
		14	○								○						緩みを発見した場合

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。

2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。

3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備
装置名	第3スラグコンベヤ (1号・2号) 1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	サイクロ減速機の異常な音、振動、過熱はないか。		○											異常な音、振動があった場合
		2	○	駆動チェーンの伸び、摩耗はないか。							○						チェーンのたるみが著しい場合
		3	○	チェーンホイールの摩耗はない。									○				摩耗が著しい場合
		4	○	ヘット・テール・スナップローラー軸受の異音、過熱はないか。		○											異音、過熱を発見した場合
		5	○	ヘット・テール・スナップローラー軸の曲がり、摩耗はないか。								○					曲がり、摩耗を発見した場合
		6	○	キャリヤ及びリターンローラーのきしみ音はないか。				○									きしみ音が著しい場合
		7	○	ヘットプリーゴムラッキングの摩耗、損傷はないか。									○				溝の段差が2m/m以下の時
		8	○	キャリヤ及びリターンローラーの摩耗、損傷はないか。									○				偏った摩耗等があった場合
		9	○	コンベヤベルトの走行状態に異常はないか。				○									蛇行等異常を認めた時
		10	○	コンベヤベルトの摩耗、劣化亀裂、剥れはないか。				○									劣化亀裂等著しい場合
		11	○	ベルトクリーナーチップの摩耗はないか。								○					摩耗が2/3 (4m/m) を超えた場合
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	1,2号第4スラグコンベヤ	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
1	1,2号第4スラグコンベヤ	1	<input type="radio"/>	運転時異音が生じていないか。		<input type="radio"/>												異音がないこと。	
		2	<input type="radio"/>	トラフの振幅は正常か。		<input type="radio"/>													無負荷時23～26mmのこと。
		3	<input type="radio"/>	振動機に干渉する物はないか。又、干渉しそうな物はないか。		<input type="radio"/>													振動部に干渉部がないこと。
		4	<input type="radio"/>	モーターの電流値は正常か。(負荷・無負荷)			<input type="radio"/>												無負荷運転時21.5A以下のこと。
		5	<input type="radio"/>	ボルトの緩みはないか。(基礎ボルトを含む)			<input type="radio"/>												緩んでいないこと。
		6	<input type="radio"/>	グリスアップは充分か。又、給脂ホースに破損はないか。			<input type="radio"/>												給脂がされていること。(4ヶ所) 給脂ホースの摩耗がないこと。
		7	<input type="radio"/>	ライナーの摩耗はないか。			<input type="radio"/>												摩耗、破損がないこと。
		8	<input type="radio"/>	配線の摩耗はないか。				<input type="radio"/>											摩耗がないこと。
		9	<input type="radio"/>	Vベルトのゆるみはないか。				<input type="radio"/>											規定値以上のたわみがないこと。
		10	<input type="radio"/>	ロッカーレグのゴムブッシュの摩耗はないか。				<input type="radio"/>											運転時の異音、ゴムのはみ出しがないこと。
		11	<input type="radio"/>	トラフに搬送物等の集積・付着等の現象はないか。				<input type="radio"/>											搬送物の集積・付着等がないこと。
		12	<input type="radio"/>	各シールゴムの破れ、破損はないか。				<input type="radio"/>											破れ、破損がないこと。
		13	<input type="radio"/>	各スプリングの破損はないか。					<input type="radio"/>										運転時の異音、破損がないこと。
		14	<input type="radio"/>	振動コンベヤの溶接部にクラックが発生していないか。					<input type="radio"/>										溶接部にクラックがないこと。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	1, 2号スラグ分散機	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
1	1, 2号スラグ分散機	1	<input type="radio"/>	運転時異音がしていないか。		<input type="radio"/>												異音がないこと。	
		2	<input type="radio"/>	モーターの電流値は正常か。(負荷・無負荷)			<input type="radio"/>												無負荷運転時4.3A以下のこと。
		3	<input type="radio"/>	ボルトの緩みはないか。(基礎ボルトを含む)			<input type="radio"/>												緩んでいないこと。
		4	<input type="radio"/>	グリスアップは充分か。			<input type="radio"/>												給脂がされていること。
		5	<input type="radio"/>	ドラムの摩耗、破損はないか			<input type="radio"/>												摩耗、破損がないこと。
		6	<input type="radio"/>	配線の摩耗はないか。				<input type="radio"/>											摩耗がないこと。
		7	<input type="radio"/>	溶接部にクラックが発生していないか。				<input type="radio"/>											溶接部にクラックがないこと。
		8																	
		9																	
		10																	
		11																	
		12																	
		13																	
		14																	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグクレーン	1 / 3

整備・点検リスト	1 / 3
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル							点検結果に対して 整備が必要となる基準								
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月		毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	走行レール関係	1	○	走行範囲内の障害物の確認		○													
		2	○	レールの曲がり、変形の有無				○											スパン±3mm
		3	○	ストッパの変形、取付ボルトの緩みの有無				○											
		4	○	レールの異常摩耗、傷、損傷の有無				○											
2	ワイヤロープ関係	1	○	素線の断線、キンクの有無		○													1よりの間の素線の断線数10%
		2	○	吊り上げ可動範囲内の障害物の有無		○													
		3	○	ロープエンドの異常の有無				○											
		4	○	グリースの塗布の確認				○											
		5	○	著しい形くずれ、腐食の有無				○											
		6	○	摩耗状況				○											
3	ガーダ及び、サドル関係	1	○	ガーダとサドルの取付ボルトの緩みの確認						○									
		2	○	ギヤ歯車及び車輪の給油状況の良否				○											
		3	○	走行車輪の踏み面、フランジの異常摩耗、傷の有無						○									
		4	○	サドルバッファの固定状況						○									

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグクレーン	2 / 3

整備・点検リスト	2 / 3
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル							点検結果に対して 整備が必要となる基準								
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月		毎年	2ヶ年	3ヶ年					
		5	○	走行電動機、減速機取付ボルトの緩みの有無							○								
		6	○	構造部材の亀裂、損傷									○						
4	巻上機械装置関係	1	○	カップリングの亀裂、損傷、軸芯の通りの確認									○						
		2	○	ブレーキライニングの摩耗、表面の傷の有無									○					厚さが3mmまで又は、原寸厚さの70%まで	
		3	○	ブレーキディスクの異常摩耗、損傷の有無									○					原寸の10%	
		4	○	減速機の油漏れ、油の汚れ									○						
		5	○	減速機の発熱、異音									○						
		6	○	巻上ドラム溶接部の亀裂										○					
		7	○	巻上ドラム溝部の摩耗										○					
5	油圧バケット関係	1	◎	各軸受部グリスニップル清掃後給脂		○													
		2	○	異常音の有無		○													
		3	○	作動油量の確認		○													
		4	○	吊り具の変形の有無		○													
		5	○	ケーブルの損傷の有無		○													

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグクレーン	3 / 3

整備・点検リスト	3 / 3
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル							点検結果に対して 整備が必要となる基準							
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月		毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		6	○	フレーム、シェルの変形、亀裂の有無								○						
		7	○	油圧ホース、継手類の亀裂								○						
		8	○	シリンダーの油漏れ								○						
		9	○	ボルトの緩み						○								
		10	○	爪の変形						○								
6	操作関係	1	○	コントローラの動作確認					○									
		2	○	各ブレーキ、リミットスイッチ類の動作確認					○									
7	電動機、電気品、その他	1	○	電動機軸受のグリースの状態									○					
		2	○	配電盤類の確認										○				接点の摩耗状況 締め付けネジの緩み
		3	○	警報装置、照明装置の確認										○				
		4	○	絶縁状態の確認										○				1MΩ以上

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグ供給ホッパ	1/2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
		1	○	ホッパ内ゴムライニングの剥れなどないか。														ライニングが剥れている場合
		2	◎	ホッパ内にスラグの付着、ブリッジはないか。			○											付着が著しい場合
		3	○	出口の定量供給は適切か。		○												供給量の過不足がある場合
		4	○	スカートゴムの隙間は適切か。								○						外側へのもれが多い場合
		5	○	ユーラスパイプレーターの取付ボルトの緩みはないか。				○										規定締付トルク以下の場合
		6	○	ユーラスパイプレーターの異常音の有無。			○											異常な不連続音、金属音を認めた場合
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグ供給ホッパ（切出装置）	2/2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	サイクロ減速機の異音、振動、過熱はないか。		○											異常と思われる場合
		2	○	駆動チェーンの伸び及び摩擦はないか。						○							たるみ又は摩擦が著しい場合
		3	○	チェーンホイールの摩耗はないか。								○					摩擦が著しい場合
		4	○	軸受メタルの過熱、異音はないか。			○										過熱、異音がある場合
		5	○	ヘット・テールプリー ゴムラッキングの摩擦はないか。								○					段差が2m/m以下になった場合
		6	○	ヘット・テールプリー ゴムラッキングの剥れはないか。								○					剥れを発見した場合
		7	○	スナッププリーの曲がり及び損傷はないか。								○					摩耗及び曲がりがあった場合
		8	○	受ローラーの摩耗、曲がりはないか。								○					摩耗及び曲がりがあった場合
		9	○	ベルトクリーナーチップの摩耗はないか。								○					チップが2/3（≒4m/m）摩耗した時
		10	○	コンベヤベルト剥れ（特に継目）はないか。				○									剥れが生じた場合
		11	○	コンベヤベルトの表面の傷みはないか。								○					表面の劣化、傷が甚だしい場合
		12	○	コンベヤベルトの走行状態はどうか。				○									蛇行、たるみがある場合
		13	◎	裏ドイにスラグの堆積はないか。		○											常に除去する
		14	◎	出口シュートの詰まりやブリッジはないか。		○											排出口が狭められている場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグ破砕機	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	スラグ破砕機	1	○	モーター及びパラマックス減速機の異音、過熱はないか。							○						異音、過熱が生じた場合
		2	○	軸受の異音、過熱はないか。			○										異音、過熱があった場合
		3	○	Vベルトの伸びはないか。								○					たるみがでた場合
		4	○	Vベルトの摩耗、劣化はないか。								○					劣化、ヒビ割れが著しい場合
		5	○	本体の異常振動はないか。								○					異常振動が生じた場合
		6	○	破砕機内の異常音はないか。				○									異常音が生じた場合
		7	○	ボルト・ナットの緩みはないか。				○									ボルトの緩みを発見した場合
		8	○	ライニングのチェック 本体内部に剥れ、摩耗はないか。									○				剥れ、摩耗が著しくなった場合
		9	○	ライニングのチェック 投入出口シュートの剥れ摩耗はないか。				○									剥れ、摩耗が著しくなった場合
		10	○	ライニングのチェック 給鉱機の剥れ、摩耗はないか。				○									剥れ、摩耗が著しくなった場合
		11	○	点検口の水漏れはないか。				○									水漏れが著しい場合
		12	◎	鋼球の摩耗はないか。			○										
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	アルミ選別機	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	<input type="radio"/>	ユーラスパイプレーターの負荷電流の測定。			○										定格電流値を超えた場合
		2	<input type="radio"/>	ユーラスパイプレーターの軸受の異常音の有無。			○										異常な不連続音、金属音を認めた場合
		3	<input type="radio"/>	ユーラスパイプレーターの取付ボルトの緩みはないか。				○									規定締付トルク以下の場合
		4	<input type="radio"/>	ユーラスパイプレーターの配線ケーブルの損傷はないか。				○									損傷を認めた場合
		5	<input type="radio"/>	ユーラスパイプレーターの絶縁抵抗値の測定。								○					5MΩ以下の場合
		6	<input type="radio"/>	篩網緊張ボルト（クランピングボルト）の緩みはないか。				○									緩んでいる場合（750kgf・mトルク）
		7	<input type="radio"/>	篩網の亀裂、傷はないか。			○										亀裂、傷を発見した場合
		8	<input type="radio"/>	エリゴの傾きはないか。						○							自由度の5%を超えた場合
		9	<input type="radio"/>	エリゴの異常（異常振動、高さ減少、折接、焼付）はないか。						○							異常を認めた場合
		10	<input type="radio"/>	シュートゴムライニングの剥れや損傷はないか。								○					損傷を認めた場合
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	破碎スラグ供給ホッパ	1/2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
		1	○	ホッパ内ゴムライニングの剥れなどないか。														ライニングが剥れている場合
		2	○	ホッパ内にスラグの付着及びブリッジはないか。				○										付着が著しい場合
		3	○	出口の定量供給は適切か。			○											平常と違って来た場合
		4	○	スカートゴムの隙間は適切か。								○						外側に漏れていた場合
		5	○	ユーラスパイプレーターの取付ボルトの緩みはないか。					○									規定締付トルク以下の場合
		6	○	ユーラスパイプレーターの異常音の有無。				○										異常な不連続音、金属音を認めた場合
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	破砕スラグ供給ホッパ（切出装置）	2/2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	コンベヤベルトの蛇行等はないか。				○									蛇行している場合
		2	○	コンベヤベルト表面の剥れ、劣化はないか。				○									剥れ又は劣化が著しい場合
		3	○	サイクロ減速機の異常音、振動、過熱はないか。		○											異常音、発熱がある場合
		4	○	駆動チェーンの伸び、摩耗はないか。						○							緩みが大きい場合
		5	○	チェーンホイールの摩耗はないか。								○					摩耗が著しい場合
		6	○	軸受メタルの異常音、過熱はないか。		○											異常音、過熱を認めた場合
		7	○	ヘットブリーゴムラッキングの摩耗と剥れはないか。								○					段差が2m/m以下になった場合
		8	○	テールブリー・ヘットブリーゴムラッキングの摩耗と剥れはないか。								○					摩耗、変形が著しくなった場合
		9	○	キャリヤローラー&リターンローラーの摩耗損傷ないか。								○					著しい場合
		10	○	ベルトクリーナーチップの摩耗はないか。								○					チップが4mm以下になった場合
		11	◎	受皿にスラグの堆積はないか。		○											常に除去する
		12	◎	出口シュート部の詰りやブリッジはないか。		○											排出口が狭められている場合
		13															
		14															

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。

2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。

3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	破碎スラグ分配機	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1		攪拌用サイクロ減速機の異常振動、音、過熱はないか。			○										異常振動、音及び過熱がある場合
		2		駆動シャフトの異常振動、音はないか。			○										異常振動が生じた場合
		3		駆動シャフトのライナーの剥れや著しい摩耗はないか。						○							剥れや著しい摩耗を認めた場合
		4		回転筒内のライナーの剥れ、著しい摩耗はないか。						○							剥れや著しい摩耗を認めた場合
		5		投入シュート及び分配筒内のライナーの著しい摩耗はないか。								○					剥れや著しい摩耗を認めた場合
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

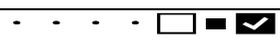


設備名	溶融物処理設備	
装置名	銅分離装置	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1															
		2															
		3															
		4															
		5															
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	第1破碎スラグコンベヤ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	スクリュー羽根とケース底部がこすれる異音はないか。							○						異常音があった場合
		2	○	水中軸受の異常音はないか。			○										異常音が発生した場合
		3	○	ブール面にグリースが浮く様なことはないか。			○										油気が浮遊した場合 シール部からの油もれが見つかった場合
		4	○	上部（駆動側）軸受の異常音はないか。			○										異常音が発生した場合
		5	○	駆動スプロケットの摩耗はないか。								○					摩耗が著しい場合
		6	○	駆動チェーンの伸びはないか。						○							緩みが著しい場合
		7	○	ギヤードモーターの異常な音、急な温度上昇はないか。								○					(表面温度-周囲温度) > (40° -45℃)
		8	○	電流値の測定。								○					測定値 > 定格値の場合
		9	○	ボルト類の緩みはないか。								○					緩みが見付かった場合
		10	○	スパイラルライナー外周部が異常に摩耗又は変形した場合。							○						摩耗、変形が著しくなった場合 外径が20mm摩耗した場合は交換
		11															
		12															
		13															
		14															

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。

2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。

3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	第2破碎スラグコンベヤ	1/1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル								点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年		2ヶ年	3ヶ年		
		1	○	モーターの異常振動、異音、過熱。		○										異常な振動、音、過熱があった場合
		2	○	駆動チェーンの伸び及び摩耗。							○					チェーンのたるみが著しい場合
		3	○	駆動シャフトの異常振動と摩耗。		○										異常な振動が生じた場合
		4	○	従動側シャフト及びスリーブの異常振動と摩耗。							○					振動と摩耗が著しい場合
		5	○	従動側軸受ハウジングの水漏れ。				○								水漏れが著しくなった場合
		6	○	全軸受の異音及び過熱。			○									異音と過熱を認めた場合
		7	○	ヘッドプーリー・ゴムライニングの摩耗、はがれ。								○				摩耗、はがれが著しくなった場合
		8	○	コンベヤバルトの伸び及び摩耗。							○					伸びが著しい場合
		9	○	バケットの摩耗及び欠損。							○					著しい摩耗及び搬送に支障となる欠損がある場合
		10	◎	オーバー樋の掃除。			○									堆積が多くなった場合
		11	○	ケーシング裏樋及び排出口周りの摩耗。							○					摩耗が著しくなった場合
		12	○	点検窓、マンホール及びケーシング接続フランジの水漏れ。								○				著しい漏れを認めた場合
		13	◎	シャワーリングが正常に散水しているか。				○								目詰り等が認められた場合
		14	○	ボルト・ナットの緩み。							○					緩みを発見した場合

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	第3破碎スラグコンベヤ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	スクリュー羽根とケース底部がこすれる異音はないか。							○						異常音があった場合
		2	○	水中軸受の異常音はないか。				○									異常音が発生した場合
		3	○	ブール面にグリースが浮く様なことはないか。				○									油気が浮遊した場合
		4	○	上部（駆動側）軸受の異常音はないか。				○									異常音が発生した場合
		5	○	駆動スプロケットの摩耗はないか。									○				摩耗が著しい場合
		6	○	駆動チェーンの伸びはないか。							○						緩みが著しい場合
		7	○	ギヤードモーターの異常な音、急な温度上昇はないか。									○				(表面温度-周囲温度) > (40° -45℃)
		8	○	電流値の測定。									○				測定値 > 定格値の場合
		9	○	ボルト類の緩みはないか。									○				緩みが見付かった場合
		10	○	スパイラルライナー外周部が異常に摩耗した場合								○					摩耗が著しくなった場合
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	第4破碎スラグコンベヤ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	サイクロ減速機の異常な音、振動、過熱はないか。		○											異常な音、振動があった場合
		2	○	駆動チェーンの伸び、摩耗はないか。						○							チェーンのたるみ著しくなった場合
		3	○	チェーンホイールの摩耗はないか。								○					摩耗著しい場合
		4	○	各ブーリ（ヘッド・テール・バンド・テンション・スナッフ）軸受の異音、過熱はないか。		○											異音、過熱を認めた場合
		5	○	各ブーリ軸の曲り、摩耗はないか。							○						曲り、摩耗を発見した場合
		6	○	ヘッドブーリゴムラッキングの摩耗はないか。								○					溝の段差が2mm以下になった場合
		7	○	キャリヤ及びリターンローラーのきしみ音はないか。				○									きしみ音が著しい場合
		8	○	キャリヤ及びリタンローラーの摩耗損傷はないか。									○				偏った摩耗等があった場合
		9	○	コンベヤベルトの走行状況に異常はないか。				○									蛇行等異常を認めた場合
		10	○	コンベヤベルトの摩耗、劣化亀裂、剥れはないか。				○									劣化亀裂等が著しい場合
		11	○	ベルトクリーナーチップの摩耗はないか。							○						摩耗が2/3（4mm）を超えた場合
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグヤード分配コンベヤ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	コンベヤ } トリッパ } のサイクロ減速機の異常な音、振動過熱はないか。		○											異常な音、振動、過熱があった場合
		2	○	コンベヤ } トリッパ } 駆動チェーンの伸び、摩耗はないか。						○							チェーンの緩みが著しい場合
		3	○	コンベヤ } トリッパ } のチェーンホイールの摩耗はないか。								○					摩耗が著しい場合
		4	○	各ブリー軸受の異音、過熱はないか。		○											異音、過熱を認めた場合
		5	○	各ブリー軸の曲り、摩耗はないか。							○						曲り、摩耗を発見した場合
		6	○	ヘットブリーゴムラッキングの摩耗、剥離はないか。								○					溝の段差が2mm以下の場合
		7	○	キャリヤ、リターンローラのきしみ音はないか。				○									きしみ音が著しい場合
		8	○	キャリヤ、リターンローラの摩耗、損傷はないか。								○					偏った摩耗等があった場合
		9	○	チルド車輪、サイドローラの偏り、摩耗はないか。						○							著しく摩耗した場合
		10	○	チルド車輪、軸受の異音、振動はないか。				○									異音、過熱を認めた場合
		11	○	コンベヤベルトの走行状況に異常はないか。				○									蛇行等異常を認めた場合
		12	○	コンベヤベルトの摩耗、劣化亀裂、剥れはないか。				○									劣化亀裂等著しい場合
		13	○	ベルトクリーナーチップの摩耗はないか。							○						摩耗が2/3 (4mm) 超えた場合
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	スラグ破碎選別装置	
装置名	スラグ破碎用処理水ポンプ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
		1	○	ポンプから異常な音、振動は出ないか。					○									異常な音、振動がある場合
		2	○	軸受部に異音、発熱はないか。					○									異常な音、発熱がある場合
		3	○	グランド部から著しい水漏れはないか。							○							著しい水漏れがある場合
		4	○	オイルシールから油漏れはないか。							○							継続して油漏れがある場合
		5	◎	潤滑油の量は適切か。			○											油面計の適正位置以下の場合
		6	◎	潤滑油は濁っていないか。				○										濁っている場合は4ヶ月毎交換
		7	○	Vベルトのたるみはないか。								○						たるみが生じた場合
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	銅分離用処理水ポンプ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
		1	○	ポンプから異常な音、振動は出ないか。					○									異常な音、振動がある場合
		2	○	軸受部に異音、発熱はないか。					○									異常な音、発熱がある場合
		3	○	グランド部から著しい水漏れはないか。							○							著しい水漏れがある場合
		4	○	オイルシールから油漏れはないか。							○							継続して油漏れがある場合
		5	◎	潤滑油の量は適切か。			○											油面計の適正位置以下の場合
		6	◎	潤滑油は濁っていないか。				○										濁っている場合は4ヶ月毎交換
		7	○	Vベルトのたるみはないか。								○						たるみが生じた場合
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグ処理給排水装置	1 / 4

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
1	No.1中継タンク	1	○	槽本体の外観検査		○											液漏れがある。	
2	No.2中継タンク	1	○	槽本体の外観検査		○											液漏れがある。	
3	クッションタンク	1	○	槽本体の外観検査		○											液漏れがある。	
4	凝集沈澱槽	1	○	処理状況の確認		○											攪拌機のトルクセンサーが異常を示していないか	
		2	○	掻寄機の運転状況			○										異常振動、異音がある。	
		3	○	掻寄機内部状況							○							片寄り、タンパツルの弛み等がある。
		4	○	槽本体の外観検査		○												液漏れがある。
5	処理水タンク	1	○	槽本体の外観検査		○											液漏れがある。	
6	処理水水中ポンプ	1	○	ポンプ吐出配管廻りの外観検査		○											液漏れがある。	
7	清水タンク	1	○	貯留水位の確認			○										ボールタップが壊れている	
		2	○	槽本体の外観点検		○											液漏れがある。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグ処理給排水装置	2 / 4

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
8	高分子凝集剤タンク	1	○	薬液残量の確認		○											下部貯槽に自動補充されているか
		2	○	攪拌機の運転状況			○										異常振動、異音がある。
		3	○	給粉器の運転状況			○										給粉状態に異常がある。
		4	○	槽本体外観検査		○											液漏れがある。
9	PACタンク	1	○	薬液残量の確認		○											
		2	○	槽本体の外観点検		○											液漏れがある。

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグ処理給排水装置	3 / 4

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
10	No. 1中継タンク用ポンプ	1	○	ポンプの運転状況			○										異常振動、異音がある。	
		2	○	ポンプ廻りの外観検査			○											液漏れがある。
		3	○	Vベルトのたわみ量・損傷の確認					○									たわみ及び損傷がある。
11	No. 2中継タンク用ポンプ	1	○	ポンプの運転状況			○										異常振動、異音がある。	
		2	○	ポンプ廻りの外観検査			○										液漏れがある。	
		3	○	Vベルトのたわみ量・損傷の確認					○									たわみ及び損傷がある。
12	スラリー引抜ポンプ	1	○	ポンプの運転状況			○										異常振動、異音がある。	
		2	○	ポンプ廻りの外観検査			○										液漏れがある。	
		3	○	Vベルトのたわみ量・損傷の確認					○									たわみ及び損傷がある。
13	高分子凝集剤注入ポンプ	1	○	ポンプの運転状況			○										異常振動、異音がある。	
		2	○	ポンプ廻りの外観検査			○										液漏れがある。	
14	PAC注入ポンプ	1	○	ポンプの運転状況			○										異常振動、異音がある。	
		2	○	ポンプ廻りの外観検査			○										液漏れがある。	

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラグ処理給排水装置	4 / 4

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
15	スラグ処理給排水装置制御盤	1	○	スイッチ選択の状態										スイッチの選択が正規通りでない。			
16	各自動弁	1	○	開閉動作の確認										開閉動作に異常がある。			

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラリータンク	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	サイクロ減速機の異常音、異常振動、過熱はないか。		○											音、振動、過熱に異常があった場合
		2	○	サイクロ減速機オイル・レベルの確認。				○									低レベルライン近く又は以下の時
		3	○	攪拌軸、羽根の音、振動に異常はないか。				○									音、振動に異常を認めた場合
		4	○	フランジユニットの異常音、振動はないか。				○									異常音、異常振動が発生した場合
		5	○	水中ゴムメタルの摩耗の程度は。								○					薄い部分 < 10m/mになった場合
		6	○	組付ボルトの緩みはないか。								○					緩みがあった場合
		7	○	タンク内塗装の劣化、剥離はないか。									○				著しくなった場合
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	スラリー打込ポンプ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	スラリー打込ポンプ	1	○	軸受に異常音、発熱があるか。				○									異常音、著しい発熱がある場合
		2	○	ポンプから異常音、振動は出てないか。				○									異常音、振動がある場合
		3	◎	ポンプの分解点検。									○				定期整備
		4	○	軸封部より、著しい水漏れはないか。							○						水漏れが著しい場合
		5	○	Vベルトのたるみはないか。								○					たるみが著しい場合
2	スラリー打込用シール水ポンプ	6	○	圧力、電流値、振動、騒音は平常通りか。				○								平常と異なる場合	
		7	○	軸受ケーシングの温度は素手で触れるか。				○								触れない程高温の場合 ( > 室温+40° )	
		8	○	軸封部は水漏れしてないか。								○				水漏れがある場合	
		9	○	組付ボルトの緩みはないか。									○			緩んでいる場合	
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。

2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。

3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	フィルタープレス	1/2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1	油圧関係	1	◎	タンクの作動油量は十分か。				○								(L) レベル以下になった場合	
		2	◎	オイルストレーナーは目詰まりしてないか。							○					詰まり過ぎている場合	
		3	○	油圧ポンプモーターの異常音、振動、過熱はないか。								○					異常音、過熱がある場合
		4	○	油圧シリンダのパッキンの油漏れはないか。									○				油漏れしている場合
		5	○	配管の油漏れはないか。				○									油漏れしている場合
2	駆動関係	1	○	開板モーターに発熱、異常音はないか。				○								発熱、異常音がある場合	
		2	○	開板爪のパネの折損等はないか。				○								欠損している場合	
		3	○	開板用ローラーチェーンのたるみはないか。						○						たるんでいる場合	
		4	○	開板テンションホイールの振れに異常はないか。						○						異常と思われる場合	
3	水受トイ関係	1	○	ギャードモータの異常音、振動、過熱はないか。				○								異音、過熱がある場合	
		2	○	駆動チェーンホイール及びチェーンの摩耗はないか。						○						摩擦が著しい場合	
4	オートリール	1	○	集電部内のケーブル及びリード線の結線に異常はないか。							○					異常がある場合	
		2	◎	集電部内のカーボンブラシの摩耗、ネジ類の緩みはないか。								○				清掃点検	
		3															

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。

2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。

3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	フィルタープレス	2/2

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準		
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年			
5	ニゴリ検出光電スイッチ	1	◎	検出部の汚れの付着はないか。			○									常に汚れがない様に
		2														
6	電気関係	1	◎	各盤内電磁開閉器ターミナルビスの緩み、接点の摩耗等はないか。								○				常にきれいに
		2	○	各L. S. 取付ネジの緩み、バネの変形等はないか。								○				作動不良がある場合
		3														
7	エアブロー関係	1	◎	SW取付ネジのゆるみはないか、ランプ点滅は正常か。							○					常に正常に
		2	○	シリンダー内外部のエア漏れ、ポート内の腐蝕はないか。								○				エア漏れのある場合
		3	◎	ルブリゲータにドレンが溜まっていないか。			○									常にドレンを溜めない様に
8	その他	1	○	μ布の過度の目詰まりはないか。							○					目詰まりしている場合
		2	○	μ布止フランジボルトの緩みはないか。								○				緩んでいる場合
		3	◎	ゴムシールとμ布の接触面のスラッジの付着はないか。								○				付着がある場合
		4	○	ゴムシールの変形、又は硬化はないか。								○				硬化、変化している場合
		5														
		6														

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

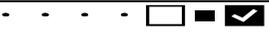


設備名	溶融物処理
装置名	フィルタープレス下コンベヤ・脱水ケーキ壊砕機(1) 1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	サイクロ減速機(2台)の異常な音、振動、過熱はないか。		○											異常音、振動、過熱がある場合
		2	○	解砕機用サイクロ減速機の油量は十分か。				○									ゲージ(L)レベル以下の場合
		3	○	駆動チェーン(2ヶ所)の緩み、摩耗はないか。						○							緩みが著しい場合
		4	○	チェーンホイールの摩耗はないか。								○					摩耗が著しい場合
		5	○	全軸受の異常音、過熱はないか。		○											異常音、過熱がある場合
		6	○	ローター円盤の摩耗及び腐蝕はないか。							○						摩耗が著しい時
		7	○	ヘット・テールプーリゴムラッキングの摩耗はないか。								○					段差が2mm以下の場合
		8	○	受ローラーの摩耗、損傷はないか。								○					摩耗、損傷が著しい時
		9	○	コンベヤベルトの走行は正常か。				○									蛇行していた場合
		10	○	コンベヤベルト表面の摩耗、劣化亀裂、剥離はないか。				○									劣化、剥離等著しい場合
		11	○	ベルトクリーナーチップの摩耗はないか。							○						摩耗が2/3(4mm)以下になった場合
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融物処理設備	
装置名	脱水ケーキ壊砕機 (2)	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準				
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年					
		1	○	サイクロ減速機 (2台) 異常振動、音、過熱はないか		○												異常な振動、音、過熱がある場合
		2	○	軸受 (4ヶ所) の異音、過熱はないか。			○											異音、過熱を認めた場合
		3	○	スプロケットの著しい摩耗はないか。								○						摩耗が著しい場合
		4	○	チェン (2ヶ所) のたるみ、異常なぶれはないか。							○							ぶれ、たるみが著しい場合
		5	○	壊砕羽根の異常な接触音はないか。				○										異音を認めた場合
		6																
		7																
		8																
		9																
		10																
		11																
		12																
		13																
		14																

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。

2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。

3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

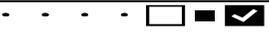


設備名	溶融物処理設備	
装置名	脱水ケーキコンベヤ	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	サイクロ減速機の異常な音、振動、過熱はないか。		○											異常な音、振動があった場合
		2	○	駆動チェーンの伸び、摩耗はないか。							○						チェーンの緩みが著しい場合
		3	○	チェーンホイールの摩耗はないか。									○				摩耗が著しい場合
		4	○	プーリー軸受の異音、過熱はないか。		○											異音、過熱を認めた場合
		5	○	ヘット・テール・スナップローラー軸の曲がり、摩耗はないか。							○						曲がり、摩耗を発見した場合
		6	○	キャリヤ・リタンローラーのきしみ音はないか。				○									きしみ音が著しい場合
		7	○	ヘット・プーリーゴムラッキングの摩耗はないか。									○				溝の段差が2mm以下の場合
		8	○	キャリヤ・リターンローラーの摩耗損傷はないか。									○				偏った摩耗等があった場合
		9	○	コンベヤベルトの走行状況に異常はないか。				○									蛇行等異常を認めた時
		10	○	コンベヤベルトの摩耗、劣化亀裂、剥れはないか。				○									劣化亀裂等著しい場合
		11	○	ベルトクリーナーチップの摩耗はないか。							○						摩耗が2/3 (4mm) を超えた場合
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

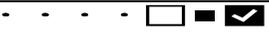


設備名	溶融物処理設備	
装置名	ろ布洗浄機	1 / 1

整備・点検リスト	/
----------	---

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
		1	○	ポンプオイルは適正量（ゲージH～L間に）入っているか。			○										ゲージで「L」より少ない場合
		2	○	ポンプオイルは白濁していないか。			○										白濁している場合
		3	○	オイル漏れはないか。			○										漏れている場合
		4	○	Vベルトの劣化、伸び過ぎはないか。						○							調整代を超えて伸びている場合
		5	○	Vベルトは緩んでないか。						○							たわみ量が4mmを超えている場合
		6	○	ポンプ・モーターの取付ボルトは緩んでいないか。							○						緩んでいる場合
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融飛灰搬送設備	
装置名	<del>第1ダスト搬送コンベキ</del>	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	<del>第1ダスト搬送コンベキ</del>	1	◎	<del>減速機</del>													
				<del>異常音・異常発熱・油もれ</del>		◎											
				<del>油量</del>				◎									
		2	◎	<del>主務チェーン・駆動チェーン</del>													
				<del>破損・汚れ・振れ・給油（駆動チェーンのみ）</del>		◎											
				<del>摩擦・伸び</del>									◎				
		3	◎	<del>スクレパ</del>													
				<del>摩擦・腐食</del>				◎									
		4	◎	<del>スプロケット</del>													
				<del>破損・片減り</del>				◎									
				<del>歯先の摩擦・軸穴の摩擦</del>									◎				
		5	◎	<del>軸・軸受</del>													
				<del>損傷</del>				◎									
				<del>摩擦</del>									◎				

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
 2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
 3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融飛灰搬送設備	
装置名	第2ダスト搬送コンベヤ	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準					
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年						
	第2ダスト搬送コンベヤ	1	○	減速機															
				異常音・異常発熱・油もれ		○													
				油量				○											
		2	○	主務チェーン・駆動チェーン															
				破損・汚れ・振れ・給油（駆動チェーンのみ）		○													
				摩擦・伸び									○						
		3	○	スクレパー															
				摩擦・腐食				○											
		4	○	スプロケット															
				破損・片減り				○											
				歯先の摩擦・軸穴の摩擦									○						
		5	○	軸・軸受															
		損傷				○													
		摩擦									○								

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融飛灰搬送設備	
装置名	キルン飛灰搬出装置	1 / 1

整備・点検リスト	1 / 1
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
	1) ロータリスクレーパ 2) ロータリフィダ 3) バグフィルタ	1	○	バイエルサイクロ減速機				○									電流値が規格値より高い時 モータ温度が異常に高い時 グリースが液面ゲージ以下の時
		2	○	サイクロ減速機				○									同常
		3	○	フランジユニット								○					異音が発生している 温度が異常に高い
		4	○	グラントパッキン				○									飛灰が漏れている
		5	○	バグフィルタ：ろ布				○									目詰まりが生じている
		6															
		7															
		8															
		9															
		10															
		11															
		12															
		13															
		14															

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融飛灰搬送設備	
装置名	溶融飛灰貯留装置・溶融飛灰スラー化装置	1 / 5

整備・点検リスト	1 / 5
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
1.	溶融飛灰貯留槽	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗等）		○											異常が認められる場合
		2	○	外面温度		○											異常に高温及び低温となっている場合
		3	◎	マンホールパッキン								○					
2.	バグフィルター	1	○	電磁弁の確認（作動不良）		○											作動不良が認められる場合
		2	◎	濾布							○						
		3	○	外面温度		○											異常に高温及び低温となっている場合
		4	◎	パイロット・ダイヤフラムバルブ等										○			
3.	溶融飛灰貯留槽 超音波レベル計	1	○	外観（配線切れ、作動状態等）		○										異常が認められる場合 配線切れが認められる場合	
4.	パドルセンサー	1	○	外観（配線切れ、作動状態等）		○											異常が認められる場合
		2	◎	パドルセンサー										◎			
5.	ヒーター	1	○	外面温度		○											異常に高温及び低温となっている場合
		2	○	外観（配線切れ）		○											異常が認められる場合
6.	ダイレクトブラスター	1	○	外観（各接続部エアー洩れ）		○											エアー洩れが認められる場合
		2	○	電磁弁の確認（作動不良）		○											動作不良が認められる場合

(注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。

2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。

3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。



設備名	溶融飛灰搬送設備	
装置名	溶融飛灰貯留装置・溶融飛灰スラー化装置	2 / 5

整備・点検リスト	2 / 5
----------	-------

No.	機 器 名	整備・点検項目		整備・点検サイクル										点検結果に対して 整備が必要となる基準			
		No.	区分	毎時	毎日	毎週	毎月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	毎年	2ヶ年	3ヶ年				
6.	ダイレクトブラスター	3	◎	バルブケース部及び周辺								○					
7.	サークルフィーダー	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗、異音等）		○											異常が認められる場合
		2	◎	軸シール部									○				
8.	ハンドバルブ	1	○	外観（各接続部エヤー洩れ）		○											エヤー洩れが認められる場合
		2	○	電磁弁の確認（作動不良）		○											動作不良が認められる場合
9.	ゲートバルブ	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗等）		○											異常が認められる場合
		2	◎	グランド部									○				
10.	ロータリーバルブ	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗、異音等）		○											異常が認められる場合
		2	◎	グランド及びベアリングユニット									○				
11.	振分スクリーコンベア	1	○	外観（歪み、腐食・摩耗、異音等）		○											異常が認められる場合
		2	◎	ベアリングユニット及びチェーン										○			
12.	エキスパンション	1	○	外観（変形、穴明き等）		○											異常が認められる場合
		2	◎	エキスパンション											◎		

- (注) 1. 「整備・点検項目」欄の「No.」は機器毎の連番です。  
2. 「整備・点検項目」欄の「区分」は整備項目の場合は「◎」、点検項目の場合は「○」で示します。  
3. 整備・点検サイクルは「○」で示しています。

